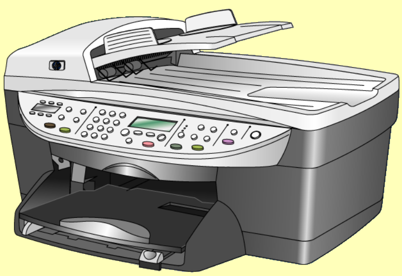
hp officejet 6150 all-in-one



リファレンス ガイド

メニュー表

＜メニュー＞ボタンを押し、メニューの機能を表示します。
 または を押し、目的の設定に移動します。表示されたオプションを選択するには ＜ Enter ＞ ボタンを押します。

1: コピー ノ セットアップ

- 1 : キョウチョウ
- 2 : ヨウシ サイズ
- 3 : カラー キョウド
- 4 : コピー ノ デフォルト トシテ セッテイ
- 5 : コウジョウ シュッカジ ノ ショキ セッテイ ニ モドス

2 : ファクス キノウ

- 1: モノクロ ノ ミデ スキャン& ファクス
- 2 : モノクロ ノ ミデ アトデ ファクス ソウシン
- 3 : メモリ ナイ ノ ファクス ヲ サイド インサツ

3 : プリント レポート

- 1 : サイゴ ノ ショリ
- 2 : ファクス ログ
- 3 : タンシュク ダイヤル イチラン
- 4 : メニュー ノ セッテイ
- 5 ; セルフ テスト レポート
- 6 : ジドウ レポート セットアップ

4 : タンシュク ダイヤル ノ セッテイ

- 1: コベツ ノ タンシュク ダイヤル
- 2 : グループ タンシュク ダイヤル
- 3: タンシュク ダイヤル ノ サクジョ
- 4 : タンシュク ダイヤル リスト ヲ インサツ

5 : ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ

- 1 : ヒヅケ ト ジコク
- 2 : ファクス ヘッダ
- 3 : オウトウ スル マデ ノ ヨビダシ カイスウ
- 4 : ヨウシ サイズ
- 5 : トーン マタハ パルス ダイヤル

6 : ファクス ノ コウドナ セッテイ

- 1 : ジドウ レポート セットアップ
- 2 : ヨビダシオン ノ パターン
- 3 : ビジー リダイヤル スル
- 4 : オウトウナシ リダイヤル スル
- 5 : ジドウ シュクショウ
- 6 : バックアップ ファクス ジュシン
- 7 : エラー ホセイ モード
- 8 : サイレント ケンシュツ

7 : メンテナンス

- 1 : プリントカートリッジ ノ クリーニング
- 2 : プリントカートリッジ ノ チョウセイ
- 3 : シュッカジ デフォルト ニ モドス
- 4 : ゲンゴ クニ / チイキ ノ セッテイ
- 5 : ヨビダシオン ノ オンリョウ
- 6 : ショウデンリョク ノ ジカン ヲ セッテイ
- 7 : スクロール ソクド ノ セッテイ
- 8 : ヒョウジ カクド ノ セッテイ

Adobe と Acrobat ロゴ Adobe Systems Incorporated の米国および / または他の国 / 地域での登録商標または商標です。

部分的著作権 © は 1989-2003 Palomar Software Inc に属します。HP OfficeJet 6150 All-in-One は Palomar Software, Inc. www.palomar.com から許可されたプリンタードライバ技術を含んでいます。

Copyright © 1999-2001 Apple Computer, Inc.

Apple、Apple ロゴ、Mac、Mac ロゴ、Macintosh、および Mac OS は、米国および他の国における Apple Computer, Inc. の登録商標です。

出版番号：Q1643-90157

二版：2003 年 1 月

アメリカ、メキシコ、ドイツ、シンガポールまたは中国で印刷

Windows®、Windows NT®、Windows ME®、Windows XP®、および Windows 2000® は米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Intel® および Pentium® は Intel Corporation の登録商標です。

ご注意

本書に記載されている内容は事前の通知なしに変更されることがあり、Hewlett-Packard Company がその内容を保証するものではありません。

Hewlett-Packard は本書の内容に瑕疵があった場合でもそれについて責任を負いません。また、特定目的のための市場商品力および適合性に関する暗黙の保証を含め、ただしこれに限らず、本製品の内容に関する明示的あるいは暗黙の保証もいたしません。

Hewlett-Packard Company は、本製品の設置やパフォーマンス、あるいは本ドキュメントおよび本ドキュメントに記載されているプログラムの使用に関係する、あるいは起因する付帯的なあるいは結果的な損害について責任を負わないものとします。

注意 : 規制に関する情報については『リファレンスガイド』の「技術情報」セクションに記載されています。

多くの地域において、次のものを複製することは法律で禁じられています。疑問がおありの場合は、まず法務担当者に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書：
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙
  - 郵便切手
  - 食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- 紙幣、トラベラーズ チェック、郵便為替
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

安全に関する情報

警告！ 発火や感電を防止するために、本製品を雨やその他の水分にさらさないよう注意してください。

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。

警告：感電の危険あり

1. セットアップ手順ポスターに記述されている指示すべてをお読みの上、内容を理解するようにしてください。
2. 本体を電源に接続する際は、接地されているコンセントのみを使用してください。コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。
3. 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。
4. 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。
5. 水の近くに本製品を設置したり、あるいは濡れた手で本製品を使用したりしないでください。
6. 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。
7. だれかが電源コードを踏みつたりつまずいたりすることのない、また電源コードが損傷することのない、安全な場所に本製品を設置してください。
8. 本製品が正常に動作しない場合については、オンラインヘルプのトラブルシューティングの項を参照してください。
9. お客様ご自身で分解修理しないでください。修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。
10. 風通しのよいところでご使用ください。

目次

1 パッケージ内容と部品

本章では、HP Officejet に付属している品目と部品を示します。

パッケージ内容

パッケージを開き、次のすべてのアイテムがあることを確認してください。アイテムがないか、または壊れている場合、カスタマ ケア センターに連絡してください。

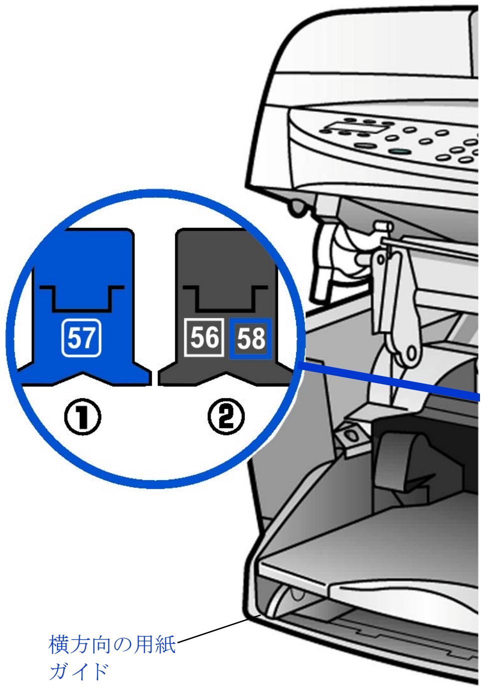
ご注意： 将来プリンタを送る場合に備えて、すべてのパッケージ部材を保管しておいてください。

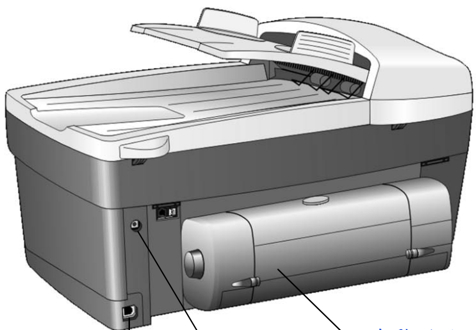


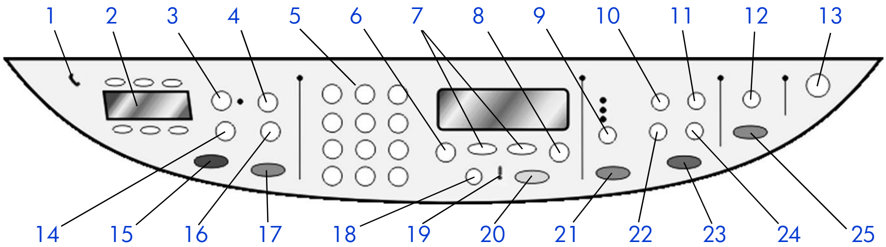
ご注意： USB ケーブルを接続する前に、HP OfficeJet 6150 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入してください。

部品

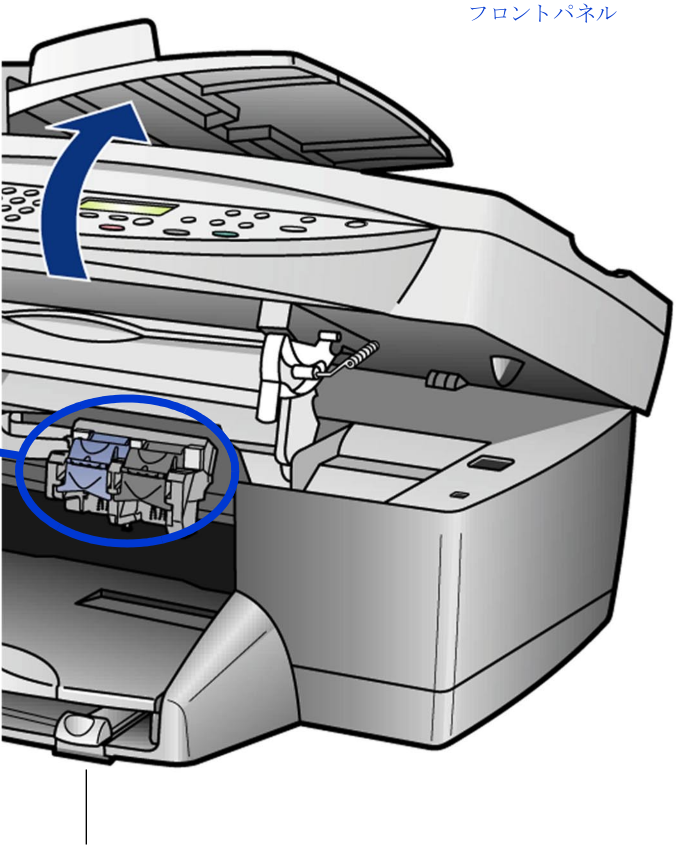

コピー ガラス
カバー
コピー ガラス
原稿をここに
セットする


1 カラー プリント
カートリッジ ラッチ
2 黒プリント
カートリッジ ラッチ
57
56
58
①
②
横方向の用紙
ガイド


自動両面
印刷モジュール
USB ポート
電源コネクタ



フロントパネル



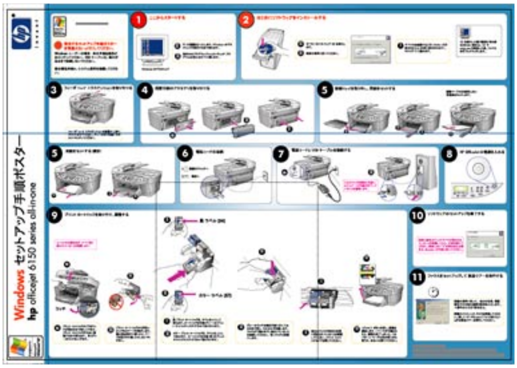
縦方向の用紙ガイド

1	電話フック
2	ワンタッチ短縮ボタン
3	自動応答
4	短縮ダイヤル
5	キーパッド
6	メニュー
7	矢印
8	Enter
9	品質
10	用紙タイプ
11	縮小 / 拡大
12	スキャンの送信先
13	電源
14	FAX 解像度
15	START FAX - モノクロ
16	ポーズ / リダイヤル
17	START FAX - カラー
18	ウスク / コク
19	要注意
20	キャンセル
21	START コピー - モノクロ
22	コピー枚数
23	START コピー - カラー
24	特殊機能
25	START スキャン

2 ヘルプの表示

ダイアログ ボックスでの作業中にヘルプを表示したい場合は［ヘルプ］をクリックしてください。

セットアップ手順ポスター



セットアップ手順ポスターには、HP Officejet のセットアップおよび設定の手順が説明されています。お使いのオペレーティング システム（Windows あるいは Macintosh）に合ったセットアップ手順ポスターを使用するようにしてください。

リファレンス ガイド



リファレンス ガイドには HP Officejet の使用法、およびインストールの際のトラブルシューティングに関する追加情報が掲載されています。また、リファレンス ガイドにはサプライやアクセサリの注文方法、技術的仕様、サポート情報、保証情報も掲載されています。

製品ツアー



Windows コンピュータの［スタート］メニューから、または Macintosh の［finder］から、ツアーが HP Officejet の概要と機能を提供しますから、それをすぐに利用することができます。HP Officejet ソフトウェアをインストールすると、［スタート］ボタンをクリックすると、すぐにツアーを開始できます。

hp イメージング ディレクタ (Windows)



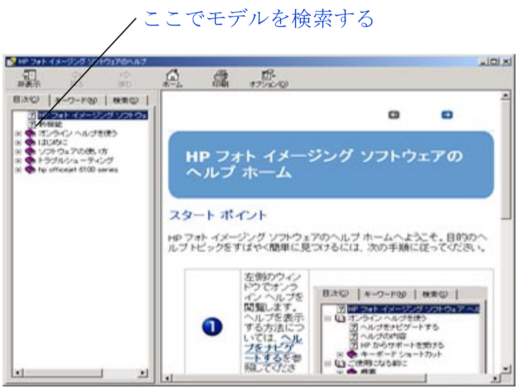
ご使用のコンピュータでは、HP イメージング ディレクタ コントロール パネルを使って、すべての hp イメージング デバイスにアクセスできます。フロントパネル メニューから利用できない高度な機能もディレクタを使えば利用できます。詳細については、デスクトップのアイコンまたはプログラム フォルダからディレクタを開始し、［ヘルプ］をクリックします。

hp イメージング ディレクタ (Macintosh)



HP イメージング ディレクタのコントロール パネルを使って、すべての hp イメージング デバイスにアクセスできます。フロントパネル メニューから利用できない高度な機能もディレクタを使えば利用できます。

HP フォト イメージング ヘルプ



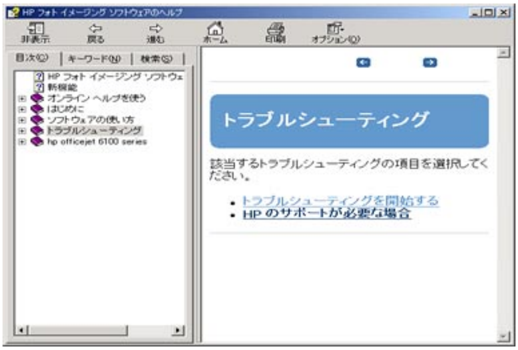
HP フォト イメージング ヘルプには、hp ソフトウェアを使用するための詳細情報が載せられています。

Windows ユーザーの場合：［HP ディレクタ］から［ヘルプ］をクリックします。

Macintosh ユーザーの場合：［HP ディレクタ］から［ヘルプ］をクリックし、それから［HP フォト イメージング ヘルプ］をクリックます。

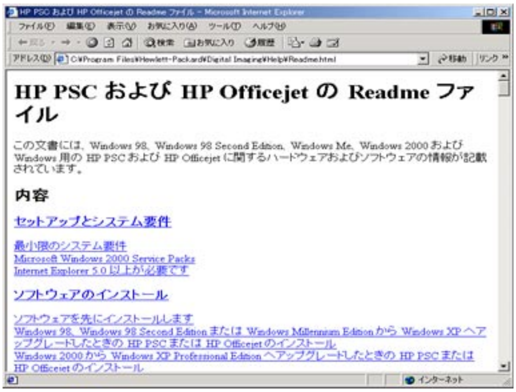
モデル HP Officejet に特定のヘルプについては、サイド メニューで製品のモデル番号を探してください。

トラブルシューティング ヘルプ（**Windows** のみ）



トラブルシューティング情報を呼び出すには、［HP ディレクタ］から［ヘルプ］をクリックします。HP フォト イメージング ヘルプの［トラブルシューティング］の項を開き、HP Officejet に関するトラブルシューティングのヘルプのリンク、そして全般的なトラブルシューティングのリンクを参照してください。また、エラー メッセージによっては［ヘルプ］ボタンが表示される場合があり、そのボタンからトラブルシューティングを参照することもできます。

readme ファイル



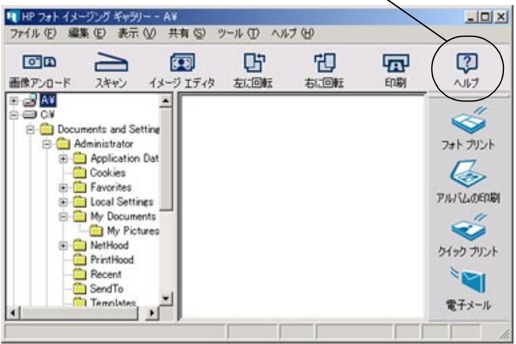
ソフトウェアをインストールしたら、HP OfficeJet 6150 CD-ROM あるいは［HP OfficeJet 6150］プログラム フォルダから Readme ファイルを呼び出すことができます。この Readme ファイルには、リファレンス ガイドやオンラインヘルプには掲載されていない最新情報が掲載されています。Readme ファイルを呼び出すには、次の手順に従います。

Windows の場合：Windows のタスクバーで、［スタート］をクリックし、［プログラム］あるいは［すべてのプログラム］（XP の場合）をポイントします。それから［Hewlett-Packard］、［HP Officejet 6100 Series］、［Readme］の順にクリックします。

Macintosh の場合：［HD:Applications:HP Officejet Software］フォルダを開きます。

ダイアログボックス ヘルプ（Windows のみ）

ダイアログ ボックスでの作業中にヘルプを表示したい場合



Windows の場合：ダイアログ ボックスの［ヘルプ］ボタンをクリックすることで、そのダイアログ ボックス内のオプションや設定に関する情報が表示されます。

インターネット上のヘルプおよびテクニカル サポート



インターネットにアクセス可能な場合は、次の HP Web サイトから情報を入手することができます。

http://www.hp.com/jp

また、この Web サイトは、よくあるお問い合わせの回答を提供します。

3 クイック スタート

フロントパネルまたは HP Officejet のソフトウェアを使用すると、多くの機能を利用できます。

HP Officejet をコンピュータに接続していなくても、フロントパネルを使用して文書のコピーやファクスをしたり、写真の印刷をしたりすることが可能です。また、フロントパネルのボタンやメニュー システムを使用して、さまざまな設定を変更することもできます。

「クイック スタート」では次のトピックが記載されています：

- **フロントパネル メニュー機能**
- **フロントパネルの機能**
- **コンピュータからの hp officejet の使用**

フロントパネル メニュー機能

各メニューオプションに対応する番号を押してメニューの機能にアクセスしてください。例：言語と国 / 地域を設定するには、＜メニュー＞を押し、[7] それから [4] を押します。これで [メンテナンス] メニューが自動的に選択され、それから [ゲンゴ ト クニ / チイキ ノ セッテイ] オプションを選択します。

1: コピー ノ セットアップ

- 1 : キョウチョウ
- 2 : ヨウシ サイズ
- 3 : カラー キョウド
- 4 : コピー ノ デフォルト トシテ セッテイ
- 5 : コウジョウ シュッカジ ノ ショキ セッテイ ニ モドス

2 : ファクス キノウ

- 1: モノクロ ノ ミデ スキャン& ファクス
- 2 : モノクロ ノ ミデ アトデ ファクス ソウシン
- 3 : メモリ ナイ ノ ファクス ヲ サイド インサツ

3 : プリント レポート

- 1 : サイゴ ノ ショリ
- 2 : ファクス ログ
- 3 : タンシュク バンゴウ イチラン
- 4 : メニュー ノ セッテイ
- 5 ; セルフ テスト レポート
- 6 : ジドウ レポート セットアップ

4 : タンシュク ダイヤル ノ セッテイ

- 1: コベツ ノ タンシュク ダイヤル
- 2 : グループ タンシュク ダイヤル
- 3: タンシュク ダイヤル ノ サクジョ
- 4 : タンシュク ダイヤル リスト ヲ インサツ

5 : ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ

- 1 : ヒヅケ ト ジコク
- 2 : ファクス ヘッダ
- 3 : オウトウ スルマデ ノ ヨビダシ カイスウ
- 4 : ヨウシ サイズ
- 5 : トーン マタハ パルス ダイヤル

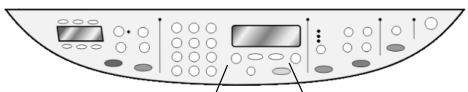
6 : ファクス ノ コウドナ セッテイ

- 1 : ジドウ レポート セットアップ
- 2 : ヨビダシオン ノ パターン
- 3 : ビジー リダイヤル スル
- 4 : オウトウナシ リダイヤル スル
- 5 : ジドウ シュクショウ
- 6 : バックアップ ファクス ジュシン
- 7 : エラー ホセイ モード
- 8 : サイレント ケンシュツ

7 : メンテナンス

- 1 : プリントカートリッジ ノ クリーニング
- 2 : プリントカートリッジ ノ チョウセイ
- 3 : シュッカジ デフォルト チ ニ モドス
- 4 : ゲンゴ クニ / チイキ ノ セッテイ
- 5: ヨビダシオン ノ オンリョウ
- 6 : ショウデンリョク ノ ジカン ヲ セッテイ
- 7 : スクロール ソクド ノ セッテイ
- 8: ヒョウジ カクド ノ セッテイ

フロントパネル

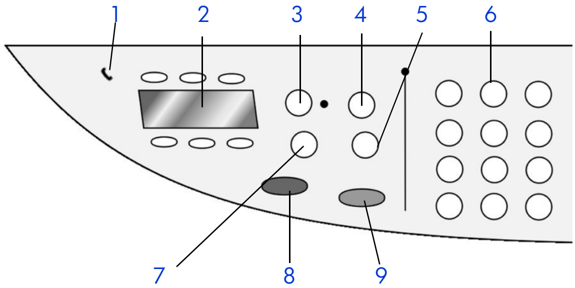


＜メニュー＞ボタンを押し、メニューの機能を表示します。
◀ または ▶ を押し、目的の設定に移動します。
表示されたオプションを選択するには ＜ Enter ＞ ボタンを押します。

フロントパネルの機能

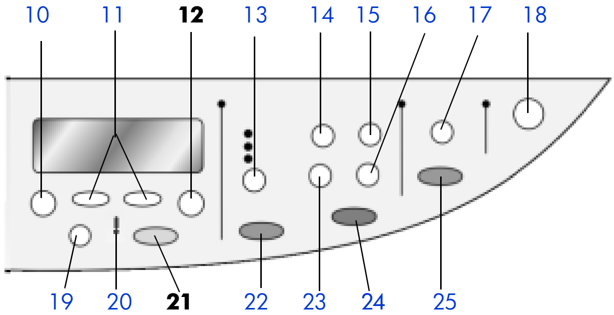
次の図を参照し、フロントパネルのボタンの配置を確認してください。

フロントパネルの左側



番号	機能	用途
1	電話フック	電話マークの緑の LED の点灯時は、ファクス回線が使用中であることを示しています。
2	ワンタッチ短縮ダイヤルボタン	6 件の短縮ダイヤルを登録できます。
3	自動応答	緑のランプが点灯していると、ファクス受信が可能です。
4	短縮ダイヤル	フロント パネルまたは HP ディレクタ ソフトウェアで設定された短縮ダイヤル番号にアクセスするのに使用します。
5	ポーズ / リダイヤル	準備完了状態で、最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。ダイヤル状態で、ポーズ (ハイフン) を挿入します。
6	キーパッド	ファクス番号をダイヤルしたり、コピー枚数、縮小率、拡大率を入力するのに使用します。キーパッドを使用してファクス ヘッダーを入力したり、短縮ダイヤルを使用したり、メニュー項目を指定したりすることもできます。
7	FAX 解像度	ファクスの解像度を［コウヒンシツ］、［ヒョウジュン］、［300 dpi］または［シャシン］に設定することができます。変更の指定をしない限り、最後に設定した値がそのまま残ります。
8	START FAX - モノクロ	モノクロ ファクスを開始します。
9	START FAX - カラー	カラー ファクスを開始します。

フロントパネルの右側



番号	機能	用途
10	**メニュー**	システム設定するときに使用します。メニュー オプションには：[コピー ノ セットアップ]、[ファクス キノウ]、[プリント レポート]、[タンシュク バンゴウ ノ セッテイ]、[ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ]、[ファクス ノ コウドナ セッテイ]、[メンテナンス] があります。
11	**矢印ボタン**	メニューの設定内容のスクロール、設定値のオプションのスクロール、あるいは、文字見出しを消去するのに前後に移動するのに使用します。
12	**Enter**	表示されている設定を選択または保存するときに使用します。
13	**品質**	コピーの品質を ＜高画質＞、＜きれい＞、または ＜はやい＞ から選択するときに使用します。
14	**用紙タイプ**	(コピーの場合のみ) 用紙タイプを設定するときに使用します。用紙トレーは普通紙と特殊用紙をサポートします
15	**縮小 / 拡大**	トレイに入れた用紙に指定サイズで画像を出力するために縮小、拡大するのに使用します。原稿はコピー ガラス板あるいは自動ドキュメント フィーダ (ADF) から給紙されます。
16	**特殊機能**	トレイに入れた用紙に指定サイズで画像を縮小、拡大して出力するためのオプションを選択するのに使用します。オプションは [ツウショウ]、[リョウメンコピー]、[ページ ニ アワセル]、[ガゾウ サイズ]、[ポスタ]、[1 マイ 2 p]、[ヨハク シフト] です。
17	**スキャンの送信先**	画像がスキャン対象となるソフトウェア プログラムの一覧にアクセスするのに使用します。この機能を使用するにあたって、必ず PC の HP Officejet ソフトウェアで [スキャンの送信先] リストを設定してください。
18	**電源**	HP Officejet の電源をオン / オフにします。

番号	機能	用途
19	ウスク / コク	＜ウスク / コク＞を使用してコピーやファクスの濃度を調節します。
20	要注意	感嘆符マークの黄色の LED は、装置になんらかの問題が発生していることを示しています。
21	キャンセル	ジョブの停止、メニューの終了、ボタンの設定の終了を行うときに使用します。
22	START コピー - モノクロ	モノクロのコピーを開始するときに使用します。
23	コピー枚数	コピー枚数を変更するときに使用します。このボタンと矢印キーあるいはキーパッドを使用して付加的なコピーを作成することもできます。
24	START FAX - カラー	カラー コピーを開始するときに使用します。
25	START スキャン	ガラス板から、＜スキャンの送信先＞で指定された送り先に原稿をスキャンするときに使用します。HP Officejet ソフトウェアがインストールされている場合に、＜スキャンの送信先＞ の送り先を変更していない場合は、画像は HP フォト イメージング ギャラリ (Windows またはマッキントッシュ コンピュータ) にスキャンされます。

コンピュータからの hp officejet の使用

セットアップ手順ポスターに従って、HP Officejet 用ソフトウェアをコンピュータにインストールしていれば、HP ディレクタを使用して HP Officejet のすべての標準機能と追加の高度な機能にアクセスすることができます。

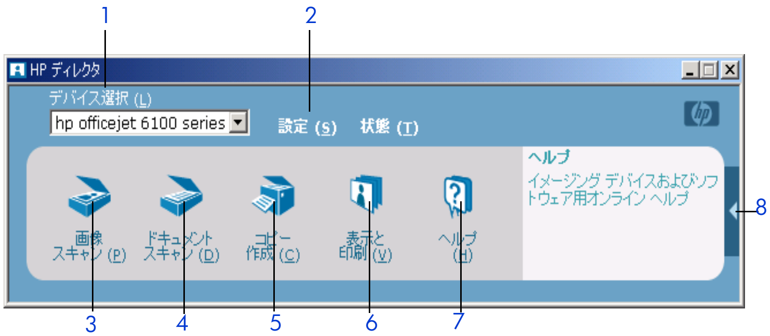
hp フォト イメージング ディレクタを参照

HP ディレクタはデスクトップ ショートカットから利用できます。

Windows ユーザーの場合

1 以下のどちらかの操作を実行します。
   - デスクトップで［hp ディレクタ］アイコンをダブルクリックします。
   - Windows のタスクバーで、［スタート］ボタンをクリックして、［プログラム］または［すべてのプログラム］（XP の場合）をポイントし、［Hewlett-Packard］をポイントしてから［HP Officejet 6100 series］をポイントし、［HP フォト イメージング ディレクタ］をクリックします。
2 ［デバイス選択］ボックスでクリックし、インストール済みの HP デバイスのリストを表示します。
3 ［hp officejet 6100 series］を選択します。

   ディレクタでは、選択したデバイスに対して適切なボタンのみが表示されます。



Windows hp フォト イメージング ディレクタ

番号	機能	用途
1	デバイス選択 (L)	使用する製品をインストール済みの HP 製品のリストから選択するには、この機能を使用します。
2	設定 (S)	印刷、スキャンまたはコピーなどの、HP デバイスのさまざまな設定を確認または変更するには、この機能を使用します。
3		画像をスキャンし、HP ギャラリに表示します。
4		文字をスキャンし、選択した送り先のテキスト編集ソフトウェアに表示します。
5		[コピー] ダイアログ ボックスを表示します。ここでは、コピー品質、コピー部数、カラー、サイズの選択およびコピーの開始を実行することができます。
6		HP ギャラリを表示します。ここでは、画像の表示や編集、HP フォトプリントの使用、フォト アルバムの作成や印刷、画像の電子メール送信、および Web へのイメージのアップロードを行うことができます。
7		HP フォト イメージング ヘルプにアクセスできます。ソフトウェアのヘルプおよびトラブルシューティングの情報が用意されています。

番号	機能	用途
8		この矢印をクリックすると、ヒントが表示されます。ヒントでは、ディレクタの各オプションの説明が表示されます。

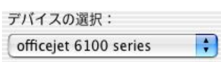
Macintosh ユーザーの場合

- 次のいずれかを行います。
  - OS 9 では、デスクトップの［HP ディレクタ］アイコンをダブルクリックします。
  - OS X では、Dock の［HP ディレクタ］アイコンをクリックします。

次の図は、Macintosh の［HP ディレクタ］から使用可能な機能のいくつかを示しています。特定の機能の概要説明については、凡例を参照してください。



Macintosh (OS9 と OS X) の hp フォト イメージング ディレクタ

番号	機能	用途
1		画像をスキャンし、HP フォト イメージング ギャラリに表示します。
2		使用する製品をインストール済みの HP 製品のリストから選択するには、このプルダウン リストを使用します。
3		モノクロまたはカラーでコピーします。
4		プリンタ ユーティリティを開きます。

番号	機能	用途
5		デバイスの設定にアクセスします。
6		HP フォト イメージング ギャラリを表示します。ここでは、画像の表示や編集をすることができます。

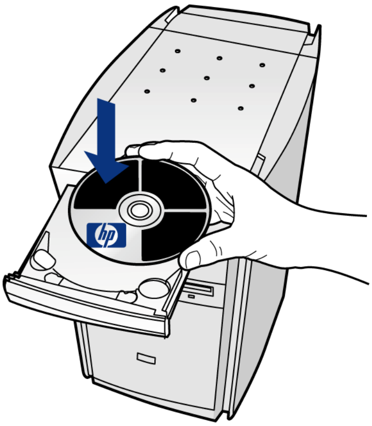
4 設定

all-in-one ユニットをセットアップするには、CD-ROM にあるソフトウェアをインストールして、ユニット自体をセットアップする必要があります。次の手順を順序どおりに行ってください。USB ケーブルは、指示があるまで接続しないでください。ソフトウェアを正しくインストールできない可能性があります。箱の梱包内容と、システム要件を確認してください。

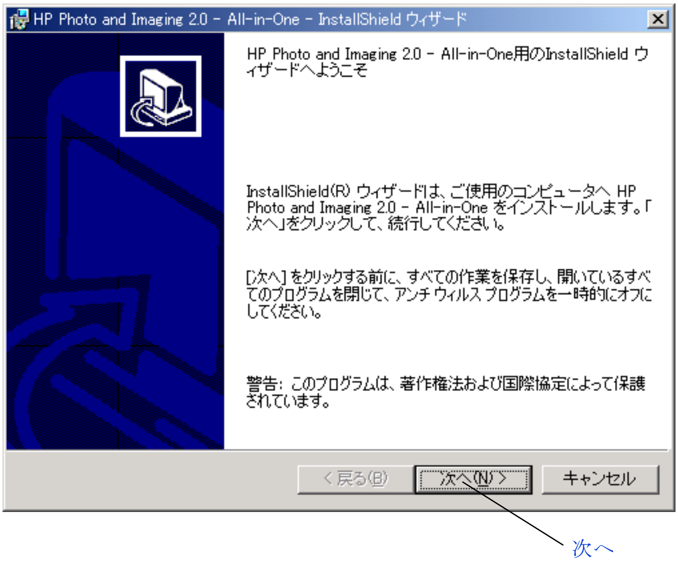
このセクションでは PC のセットアップ方法について説明します。Macintosh の場合は、**40 ページの「Mac のセットアップ」**を参照してください。

PC のセットアップ

1 Windows を起動して CD-ROM を挿入します。

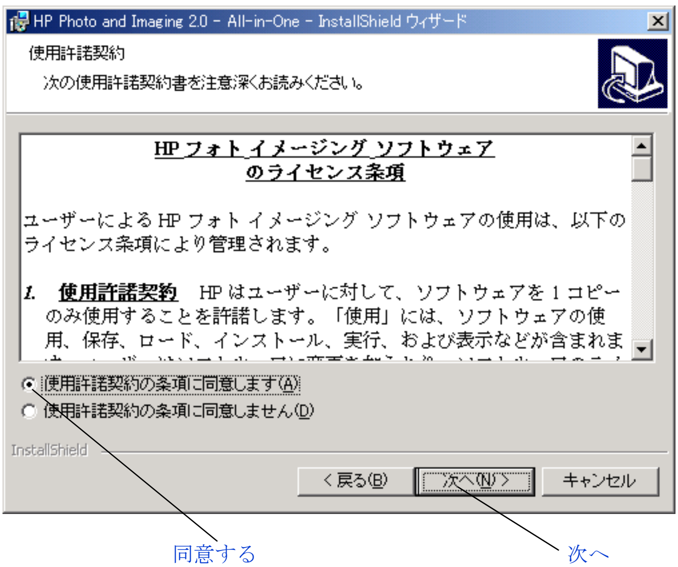


CD-ROM は自動的に起動し、ファイルをコンピュータにコピーし始めます。

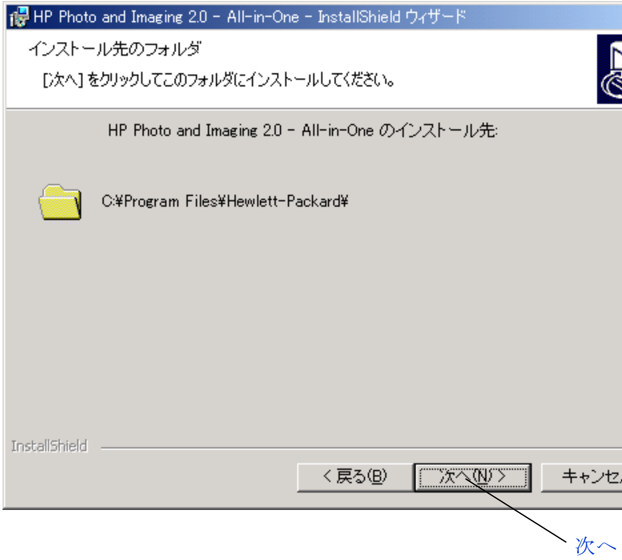


ご注意： これは Windows XP の画面です。

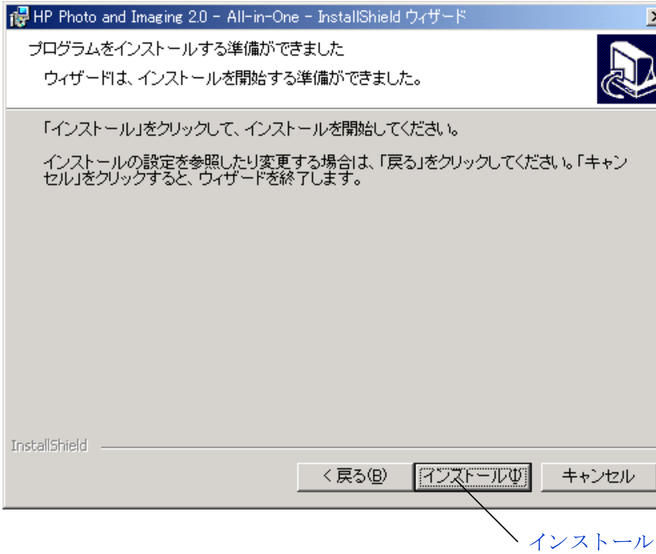
2　［次へ］をクリックします。
HP フォト イメージング ソフトウェア ライセンスを表示します。



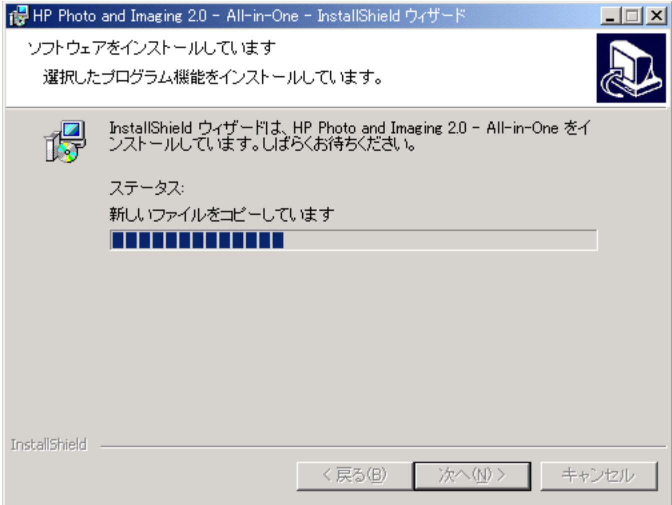
3 条項を読み終わったら、[使用許諾契約の条項に同意します] をクリックして、[次へ] をクリックします。



4 [次へ] をクリックして、デフォルトのフォルダにインストールします。

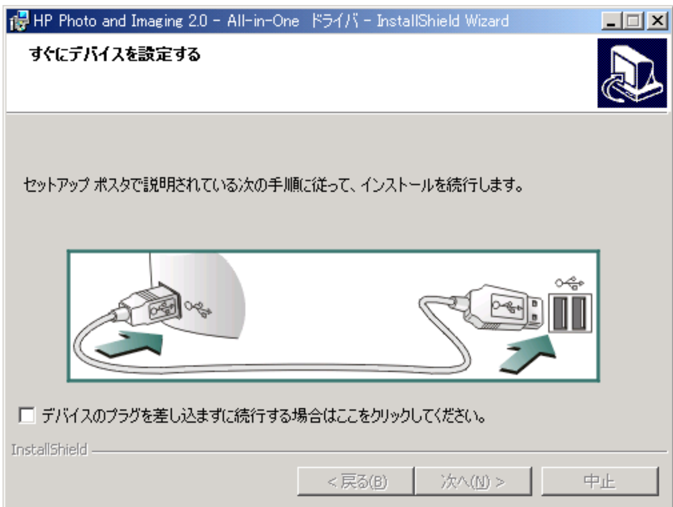


5 ［インストール］をクリックします。
ソフトウェアのインストールが始まります。



ご注意：ソフトウェアのインストールには、おおよそ 20 分から 30 分かかります。

ソフトウェアのインストールが完了したら、デバイスのセットアップウィザードが表示されます。



6 次のセクション「設備のセットアップ」の説明に従って、設備をセットアップ、電源をオンにします。

設定

設備のセットアップ

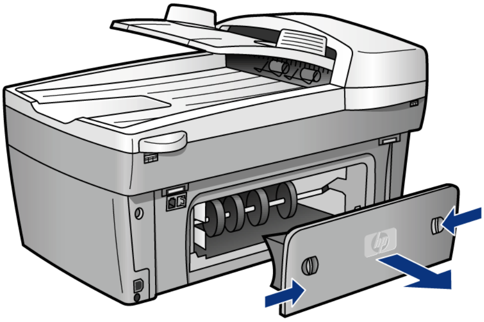
1 フィーダ トレイ エクステンションを取り付けます。



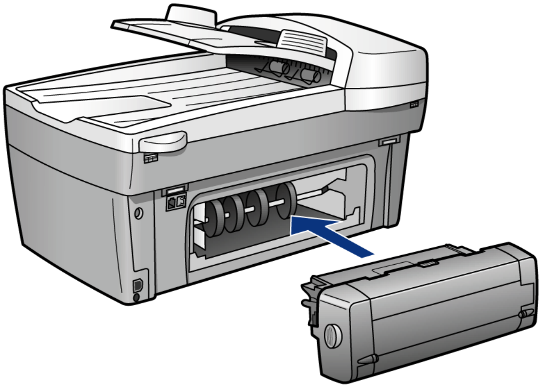
ヒント： フィーダ トレイ エクステンションを装置の上部にスライドさせてください。グレーのタブを黒いスロットにマッチしてください。

2 両面印刷のアクセサリがある場合、次の手順に従ってアクセサリを取り付けます：

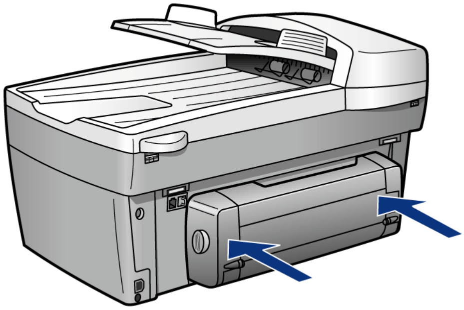
a. サイドパネルを外します。



b. 自動両面印刷アクセサリを装着します。



c. アクセサリが完全に固定されるまで奥に押し込みます。



3 次の手順に従って、排紙トレイを外し、用紙をセットします。
a. トレイを取り外します。



b. 用紙ガイドを引き出します。

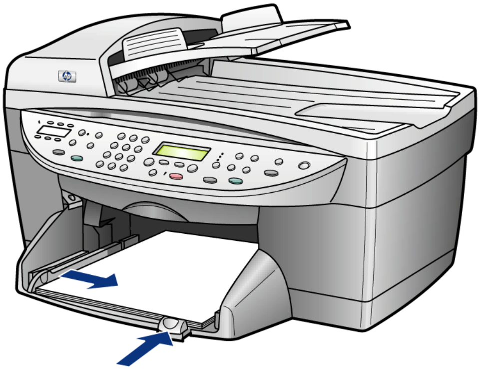


c. 用紙をセットします。



ヒント： 調整ページを印刷するために白い普通紙をセットします。

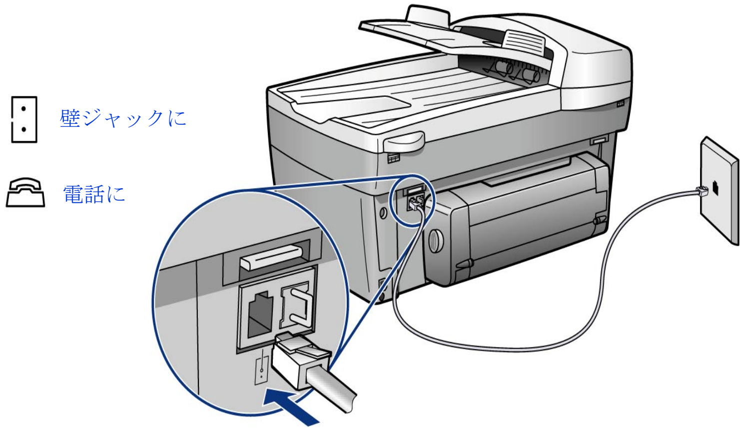
d. 用紙ガイドを用紙にあわせて、ゆっくり押し込みます。



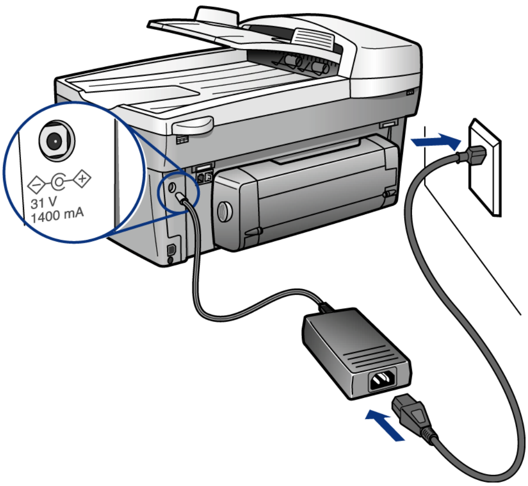
e. 排紙トレイを交換して、エクステンションを引っ張り出します。



4 電話コードを接続します。



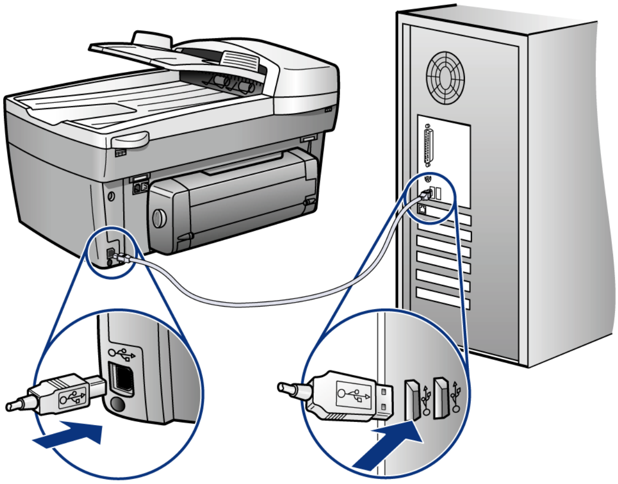
5 電源コードを接続します。



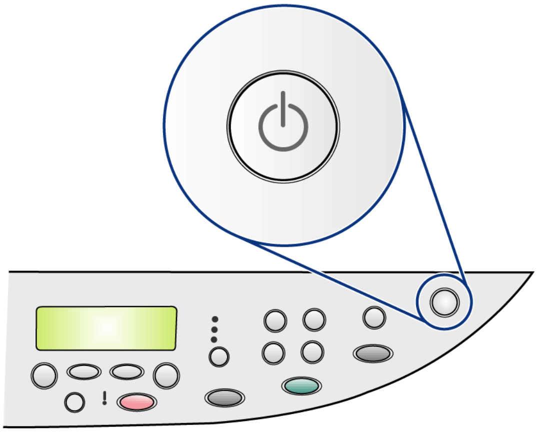
6 USB ケーブルを接続します。

ご注意： USB ケーブルを接続する前に、22 ページの USB を繋ぐ段階までインストールが進んでいることを確認してください。完了していない場合は、すべてのソフトウェア機能にアクセスできない可能性があります。

設定



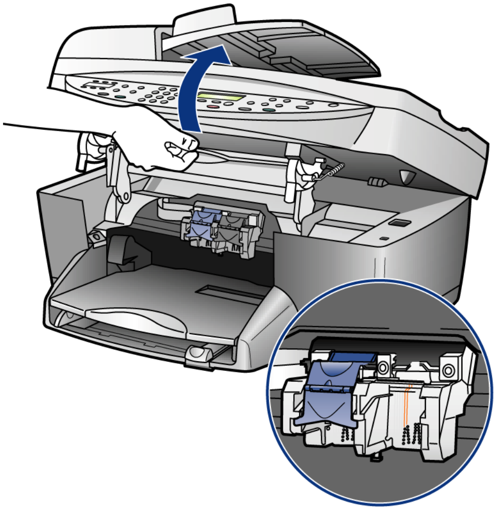
7 HP Officejet の電源をオンにします。



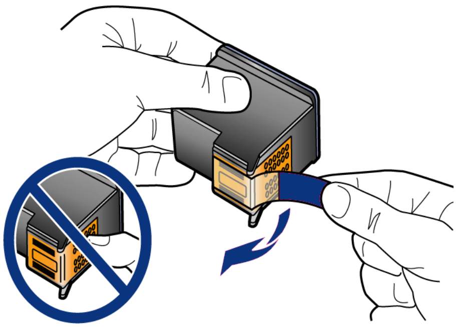
プリント カートリッジの挿入と調整

ご注意： ユニット内の梱包材が、すべて取り除かれていることを確認します。

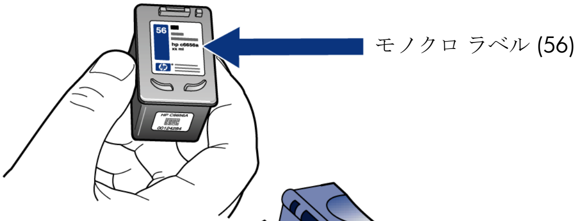
1 プリント キャリッジのドアをラッチが留まるまで持ち上げます。プリント キャリッジが中央に移動するまで待ちます。青とグレーのラッチを上げます。

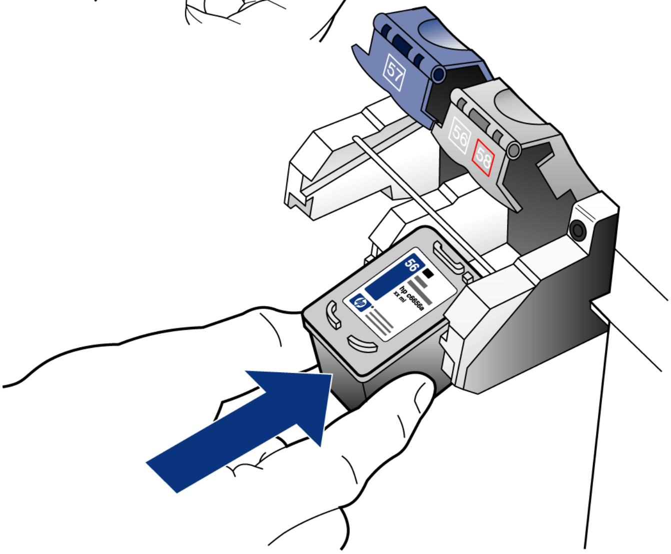


2 プリント カートリッジから明るいピンク色のテープを剥がします。金色の電気接点に触ったり、テープを貼り付け直したりしないでください。



3 プリントカートリッジのラッチを開きます。モノクロ プリント カートリッジを、ラベルを上にして持ちます。カートリッジを右側（グレーのラッチ）のプリント キャリッジにスライドさせて取り付けます。

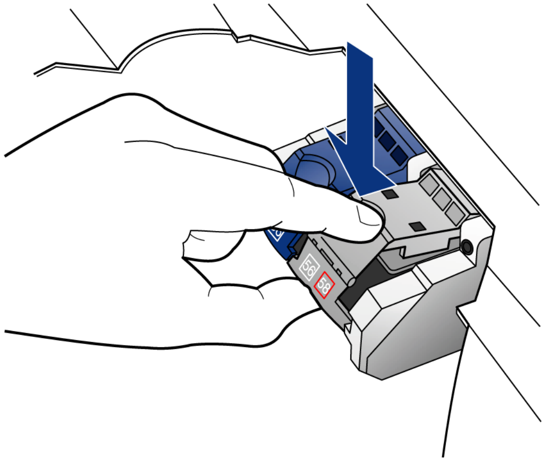




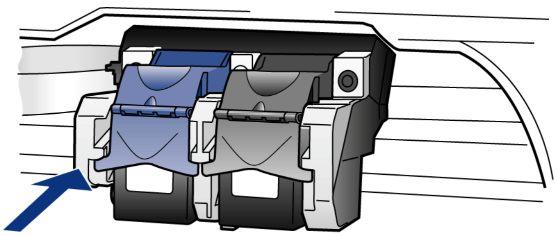
4 カラー プリント カートリッジを、ラベルを上にして持ちます。カートリッジを左側（青）のプリント キャリッジにスライドさせて取り付けます。



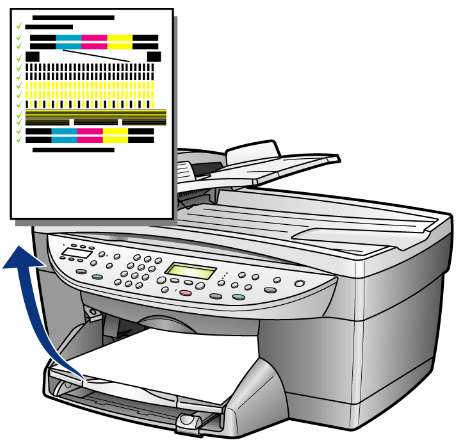
5 グレーのラッチの端を手前に引いて止まるまで押し、それから手を離します。ラッチが下側のタブに留まっていることを確認してください。青いラッチも同様にします。



6 両方のラッチが所定の位置に固定されていることを確認してください。プリント キャリッジのドアを閉じてください。



7 フロントパネルの < **Enter** > ボタンを押し、調整を開始します。。一ページが印刷されたら、調整は完了しました。



ソフトウェアのセットアップを終了する

ご使用のオペレーティング システムの説明については、次に示します。

windows Me/2000/XP の場合

次の画面は自動的に表示します。



1　［次へ］をクリックします。

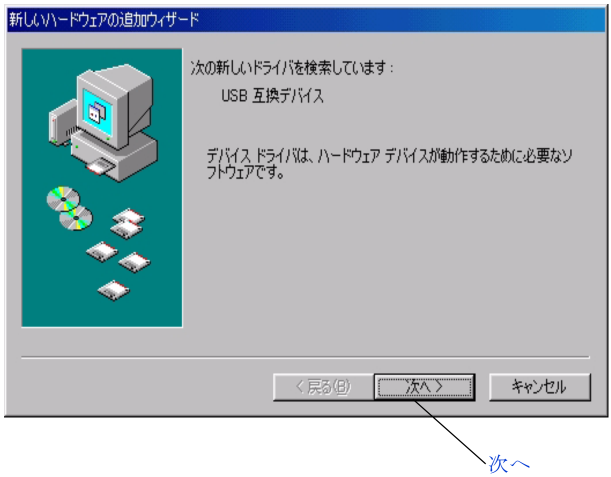


2　緑で OK とチェックマークが表示されると、［完了］をクリックしてください。いくつかの追加ソフトウェアが、コンピュータにコピーされます。しかし、赤い “X” が表示される場合は、readme ファイルの手順に従ってください。続いて Windows Me/2000 ではページ 34 のシステムの再起動となります。

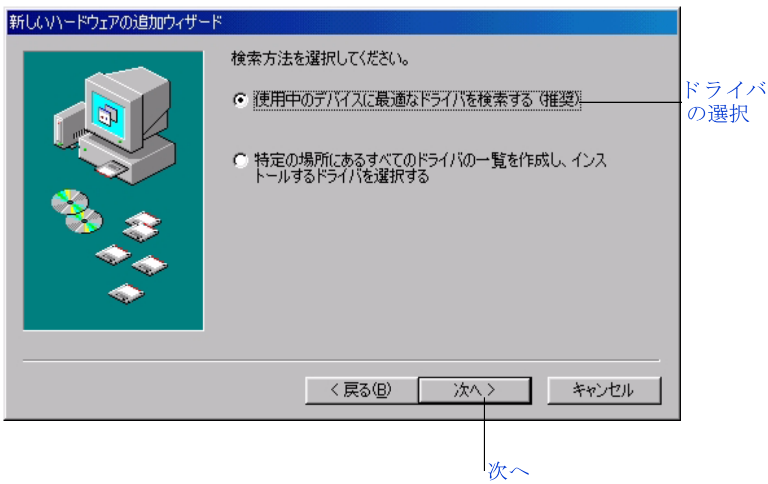
ご注意： Windows XP では再起動せずにページ 35 へと進みます。ただし、コンピュータによっては先に再起動を促すメッセージが表示される場合がありますが、本章の最後にある「登録」セクションの説明が表示されるまでは、再起動しないでください。

windows 98 の場合

Windows 98 に次の画面が表示されます。



1　［次へ］をクリックします。



設定

2 「使用中のデバイスに最適なドライブを検索する（推奨）」を選択して、［次へ］をクリックします。



3 CD-ROM ドライブ チェックボックスだけを選択して、［次へ］をクリックします。

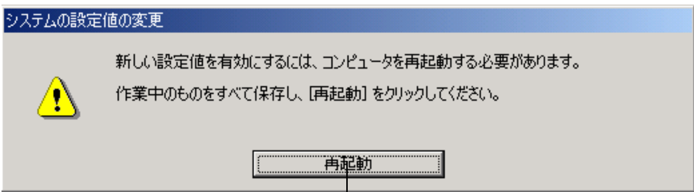


4 ［次へ］をクリックします。



完了

5 ［完了］をクリックします。
いくつかの追加ソフトウェアが、コンピュータにコピーされます。
次の画面が表示されると、［**再起動**］をクリックします。再起動後にインストールは続行されます。

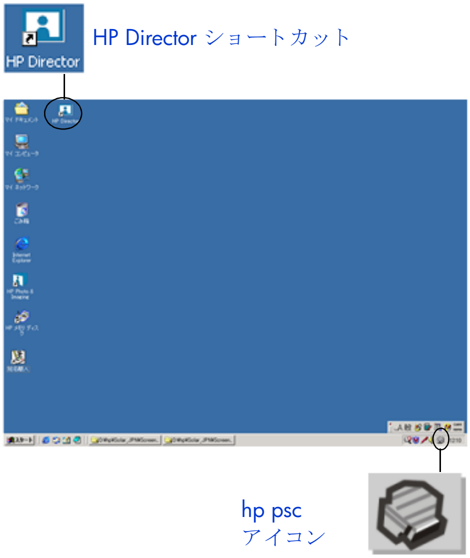


再起動

注意！ 再起動するとき、CD-ROM をコンピュータから取り出さないでください。CD-ROM を取り出すと、インストールが正常に終了しなくなります。

設定

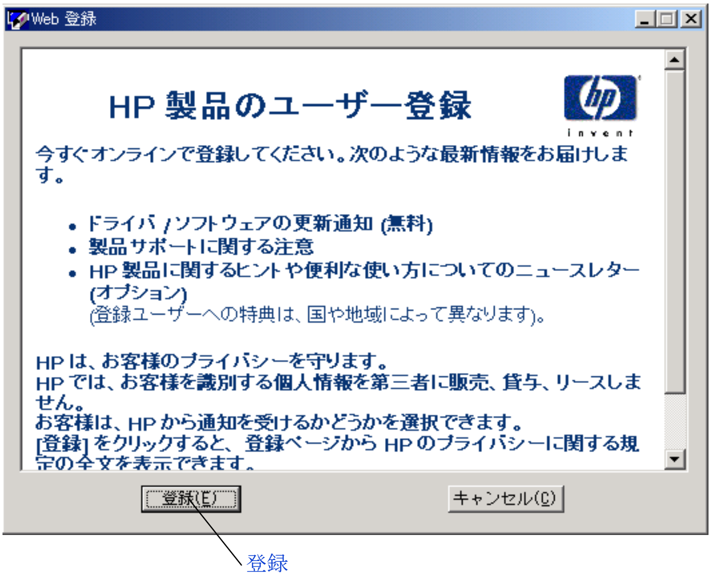
HP イメージング ディレクタへのショートカットがデスクトップ上に表示され、hp psc のアイコンが画面右下のタスク バーに追加されます。



続いてファクスのセットアップが続きます。

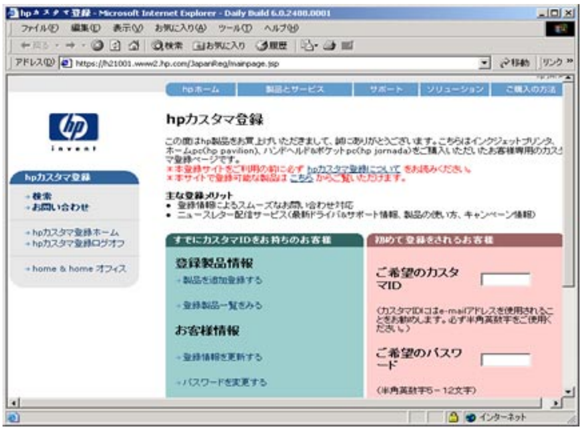
ファクスのセットアップは「キャンセル」してもインストール後に HP ディレクターから行うことができます。ファクスセットアップを「キャンセル」した場合は登録に移ります。ファクスセットアップを行う場合は、ページ 37 からの説明に従って行います。

登録



1　［登録］をクリックすると、オンライン登録に進みます。

HP は製品のオンライン登録をお勧めします。製品を登録すると、HP の最新ニュースやキャンペーン情報、サポート情報などを受け取ることができます。



ご注意： Windows プログラム メニューを使えば、製品をいつでも登録できます。

これでソフトウェアのインストールが完了します。CD-ROM をコンピュータから取り出してください。

設定

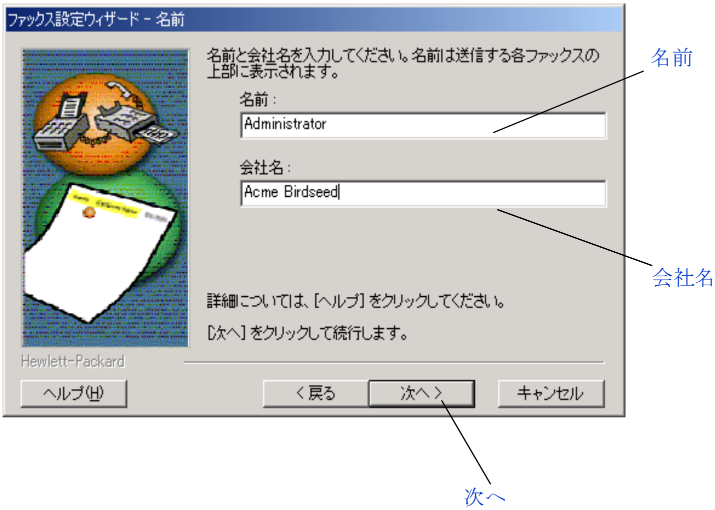
ファクスをセットアップして、製品ツアーを実行する

画面の指示に従って、自分の名前、電話番号やその他の重要な設定を入力します。

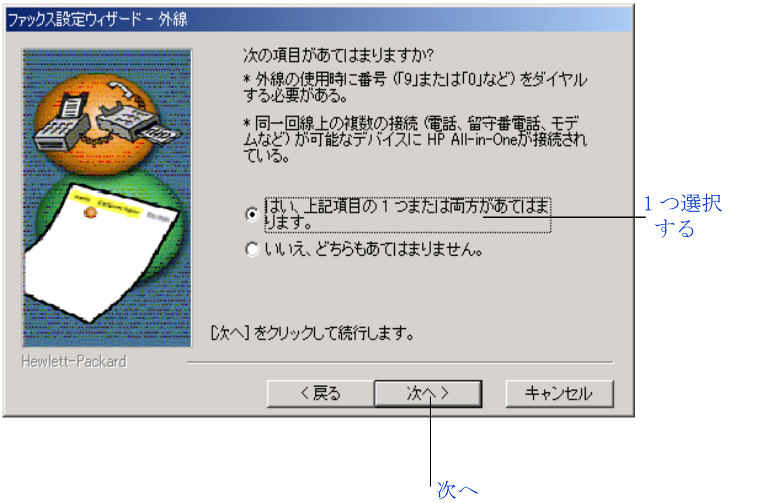
詳細はリファレンス ガイドを参照してください。新しい hp officejet について知りたいときは製品ツアーを実行してください。



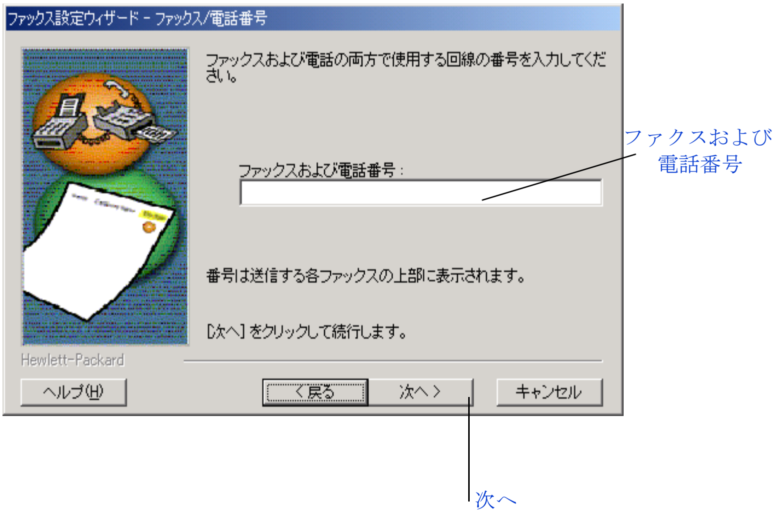
1 ［次へ］をクリックします。［名前］画面が表示します。



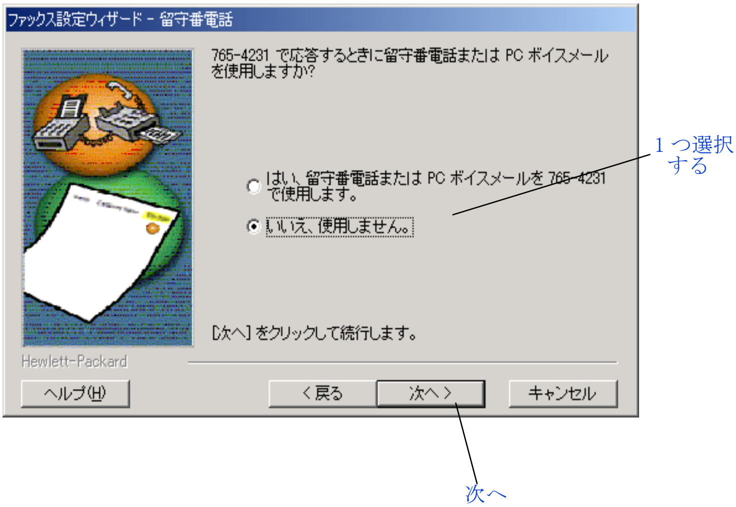
2 お名前や会社の名前を入力して、［次へ］をクリックします。外線画面が表示されます。



3 外線番号が必要な場合や、複数接続が可能なデバイスに all-in-one を接続する場合には、[**はい**] を選択します。それ以外の場合は、[**いいえ**] を選択します。それから [**次へ**] をクリックします。



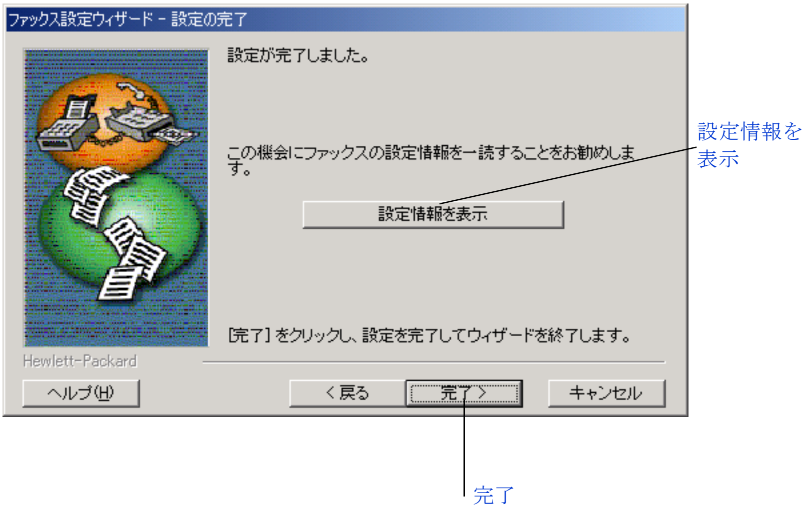
4 ファクスと電話番号を入力します。それから [**次へ**] をクリックします。



5 留守番電話またはボイスメールをファクス回線に使用する場合は、[**はい**] を選択して、[**次へ**] をクリックします。使用しない場合は [**いいえ**] を選択して、[**次へ**] をクリックします。



6 テストページを印刷する場合は、[**テストページの印刷**] をクリックして、[**次へ**] をクリックします。これは、ソフトウェアが正常にインストールされたかを検証します。テストページを印刷しない場合は、[**次へ**] をクリックするだけです。

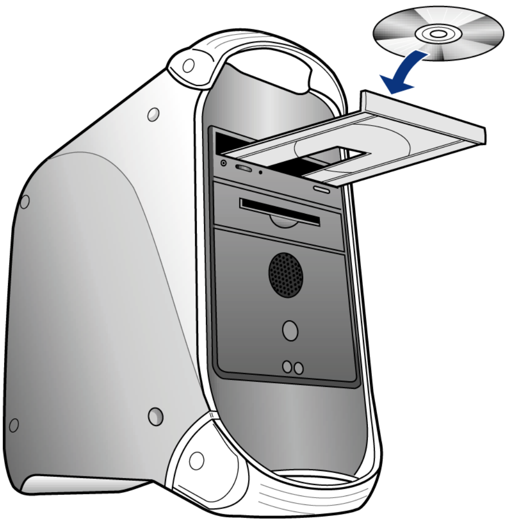


7 セットアップ情報を表示するには、[設定情報を表示] ボタンをクリックして、[完了] をクリックします。入力したすべてのセットアップ情報を示すテキスト ファイルが表示されます。これらの情報を表示しない場合は、[完了] をクリックするだけです。

登録ページが表示されます。詳しくは、**36 ページの「登録」**を参照してください。

Mac のセットアップ

1 CD-ROM を挿入します。

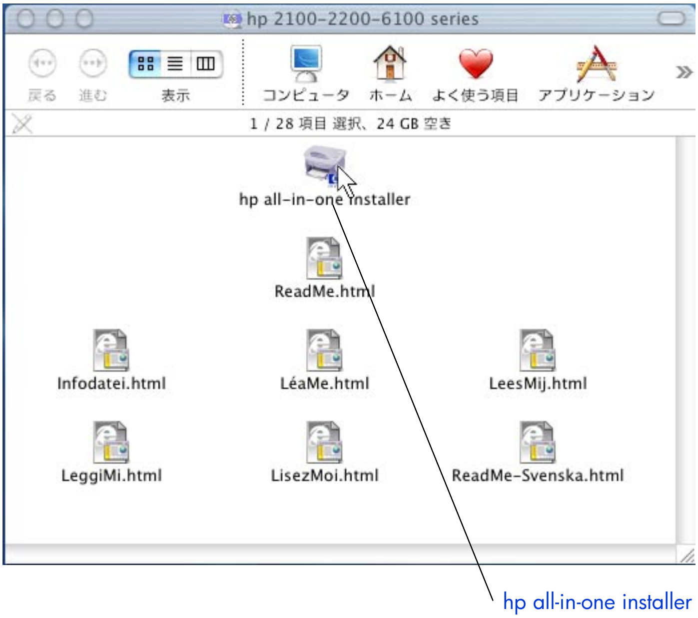


hp 2100-2200-6100 series アイコンがデスクトップに表示されます。

設定



2 デスクトップで hp アイコンをダブルクリックします。インストーラ ウィンドウを開きます。



hp all-in-one installer アイコン

3 [**hp all-in-one installer**] アイコンをダブルクリックします。[認証] ダイアログ ボックスが表示されます。

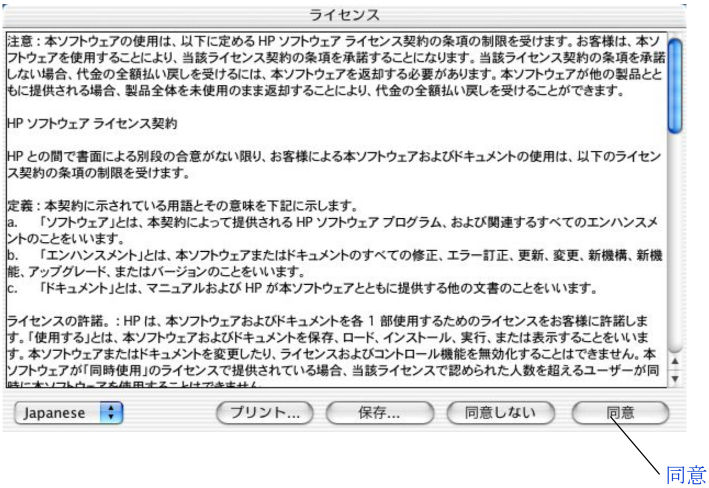


OK

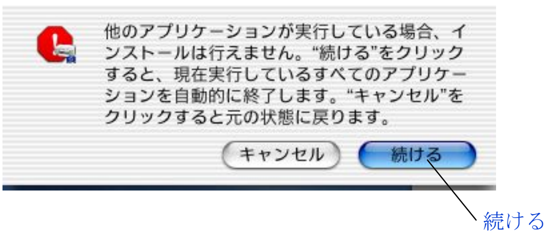
4 名前とパスワードまたはフレーズを入力して、[**OK**] をクリックします。



5 ［officejet 6100 series］を選択して、［続ける］をクリックします。



6 ライセンス同意書を読み、［同意］をクリックして、先に進みます。
起動中のすべてのプログラムを閉じるよう、警告が表示されます。

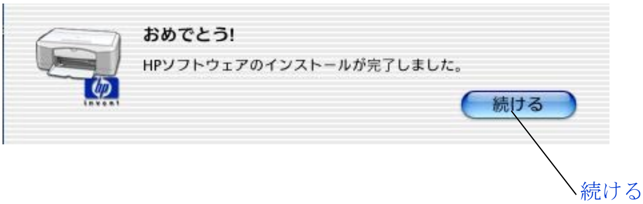


7 ［続ける］をクリックします。ほかのプログラムはすべて終了します。
（＜キャンセル＞ボタンを押すと、ファイルを何もインストールせずにインストールを中止します。）
インストールが始まります。

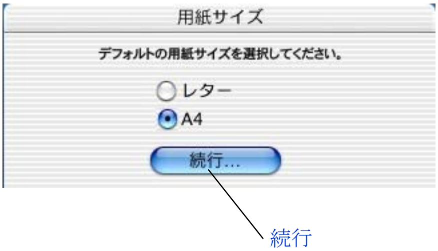
設定



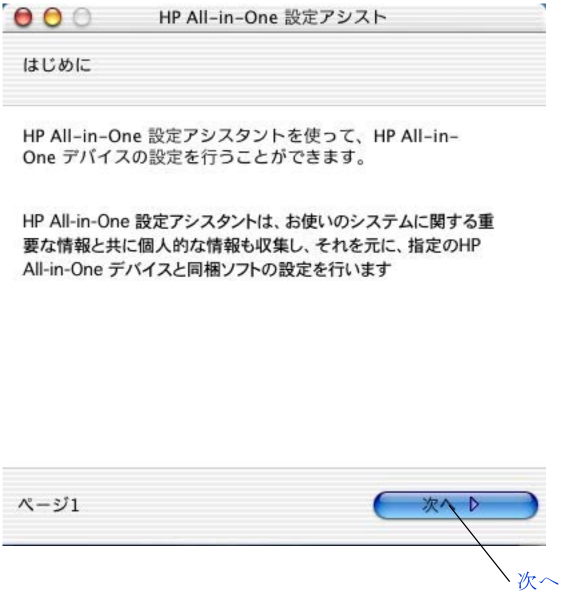
インストールが完了したら、次の画面が表示されます。



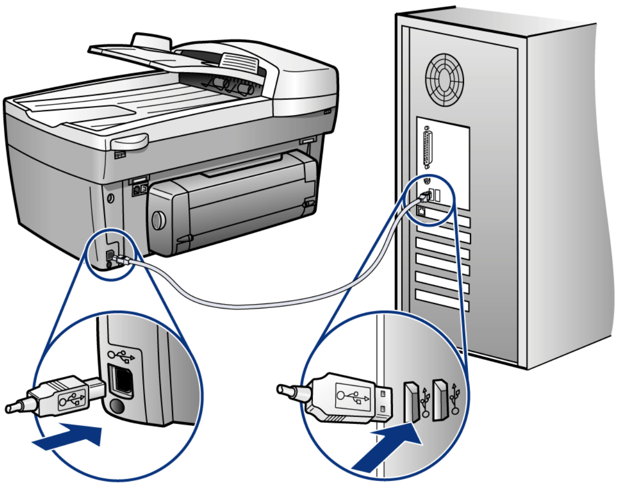
8 ［続ける］をクリックして、ソフトウェアを構成します。



9 デフォルトの用紙サイズを選択して、［続行］をクリックします。hp all-in-one 設定アシストの 1 ページ目が表示されます。［次へ］をクリックする前に、ステップ 10 の手順が完了していることを確認します。



10 6100 の電源をオンにし、USB ケーブルを使ってコンピュータに接続します。

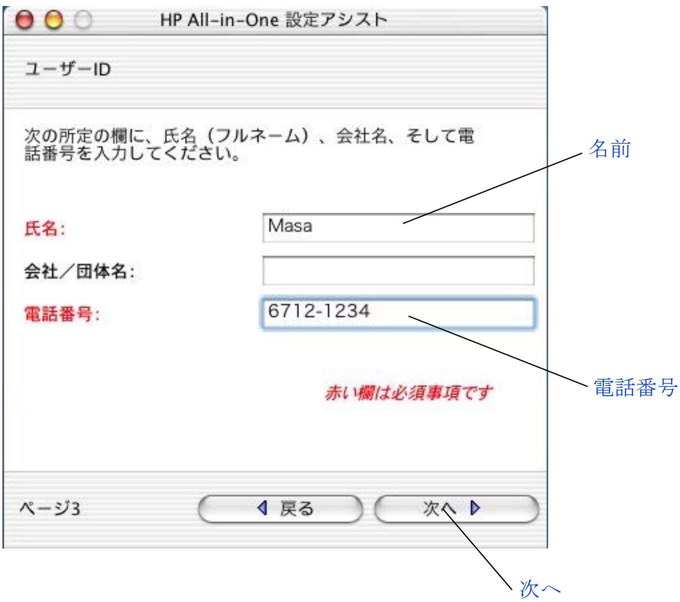


11 設定アシストの 1 ページ目で、［次へ］をクリックします。



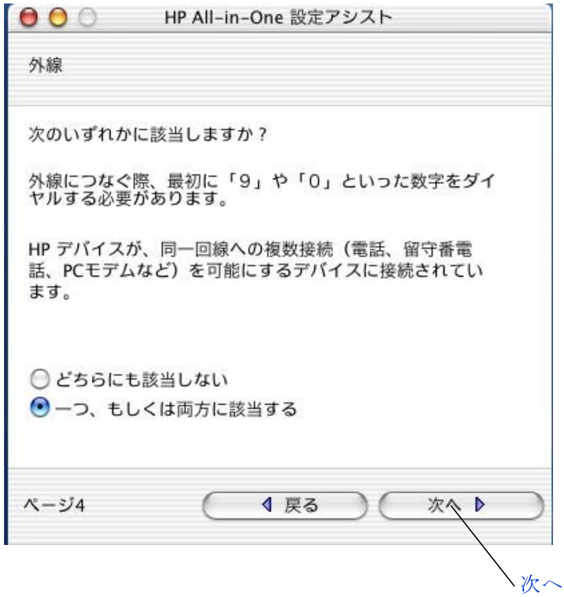
12 OfficeJet 6100 Series を選択して、［次へ］をクリックします。

ご注意： 6100 が一覧に表示されなかった場合、プラグが繋がれて、スイッチがオンになっており、コンピュータに接続されているかを確認してください。それから［**USB を再度チェックします。**］をクリックします。6100 が一覧に表示される場合、それを選択して［**次へ**］をクリックします。

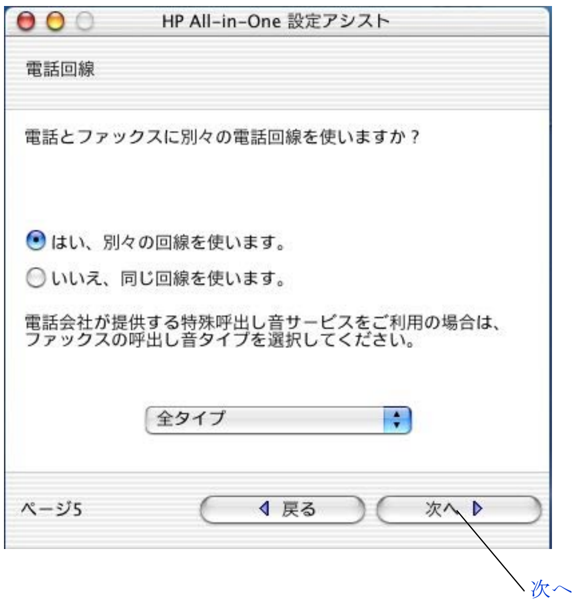


設定

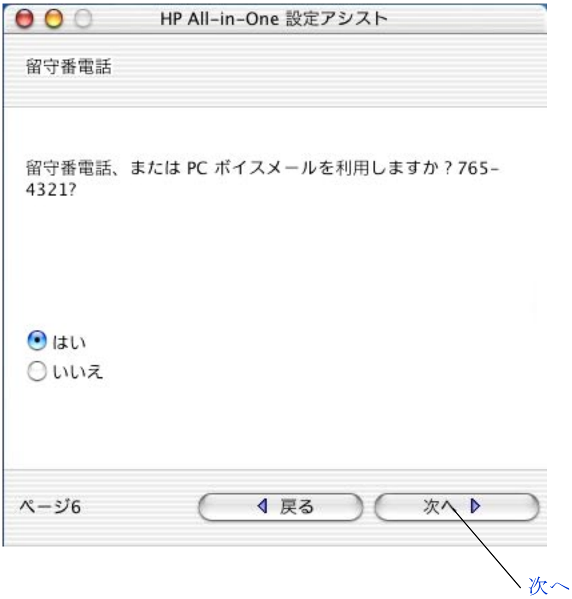
13 3 ページから 7 ページまで、必要情報を入力して、[次へ] をクリックします。



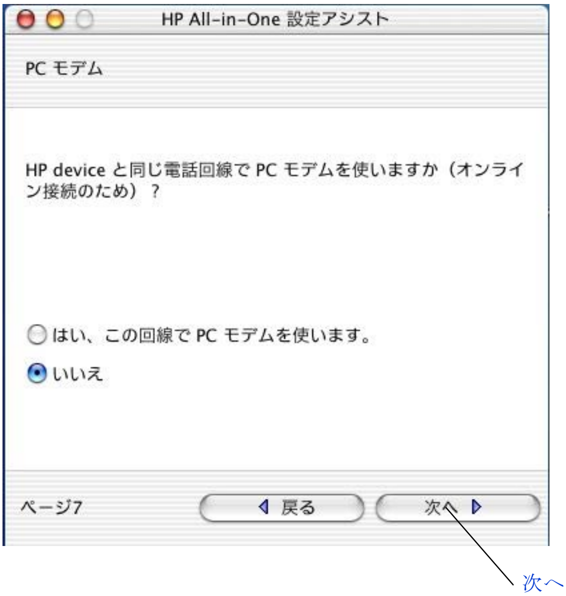
a. ページ 4 を完了したら、[次へ] をクリックします。



b.　ページ 5 を完了したら、[次へ] をクリックします。



c.　ページ 6 を完了したら、[次へ] をクリックします。



設定

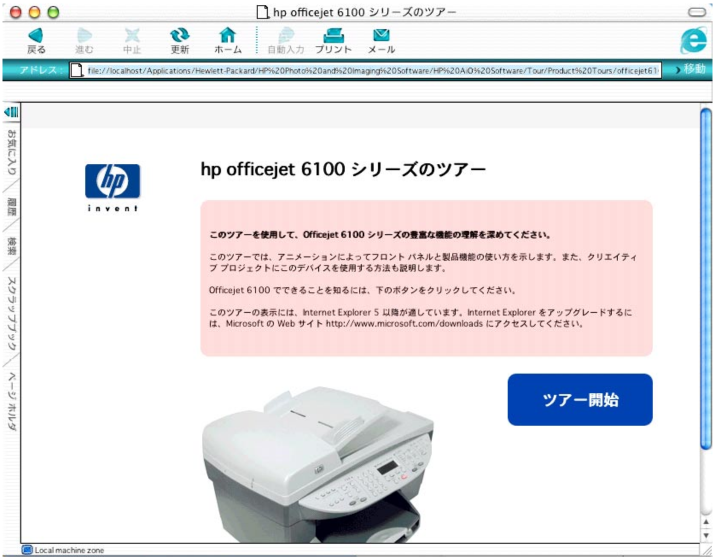
d. ページ 7 を完了したら、[次へ] をクリックします。



14 ページ 8 の [完了] をクリックします。



15 [終了] をクリックします。hp officejet 6100 series ツアーが表示されます。



16 新しい hp officejet について知りたいときは製品ツアーを実行してください。

17 **23 ページの**「設備のセットアップ」の手順に従って、6150 のセットアップを完了します。

設定

5 原稿および用紙のセット

ガラス板あるいは自動ドキュメント フィーダにセットした原稿からコピーを作成することができます。また、さまざまな種類や重さ、サイズの用紙、OHP フィルムに印刷したり、コピーしたりすることも可能です。ただし、用紙を正しく選択することと、用紙が正しくセットされ、破損していないのを確認することが重要です。

本章では、以下の方法について説明します :

- 原稿のセット
- 用紙のセット
- はがきのセット
- 封筒のセット
- カードのセット
- フォト用紙のセット
- ほかの種類の用紙のセット
- 用紙タイプの設定
- 用紙のサイズの設定

原稿のセット

HP Officejet には、原稿をセットする 2 つの方法があります。

- コピー ガラス板に原稿をセットする
- 自動ドキュメント フィーダに原稿をセットする

コピー ガラス板に原稿をセットする

原稿のコピーやファクスやスキャンを行うときは、コピー ガラス板に原稿をセットします。

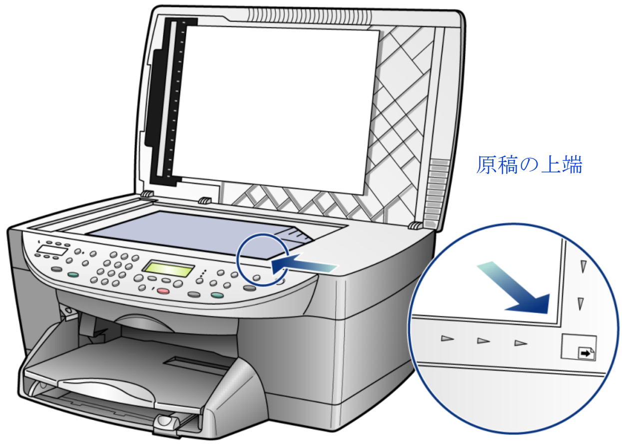
ご注意 : コピー ガラスおよびカバーの裏側が汚れていると、[ガゾウ サイズ] や [ポスタ] といった <特殊機能> オプションの多くは正しく動作しません。詳しくは、**「コピー ガラス板のクリーニング」**および **142 ページの「カバーの裏側のクリーニング」**の項を参照してください。

1. カバーを上げ、原稿の辺をガラス板の右辺と下辺に合わせて、表を下にしてガラスの右下隅に乗せます。

   コピー機能を使用する際は原稿を右下隅に乗せることが重要となります。

   ヒント : OHP フィルムからコピーする場合（つまり原稿が透明フィルムに印刷されている場合）は、OHP フィルムの上に白紙の用紙を重ねてください。

セット



2　カバーを閉じます。

自動ドキュメント フィーダに原稿をセットする

次の種類の用紙を使用するときは、最大 35 枚まで自動で原稿を送ることができる自動ドキュメント フィーダ (ADF) が HP Officejet にあります。

- 普通紙

  60 g/m2 (16 ポンド) ～ 90 g/m2 (24 ポンド) 縦目用紙のみ
- 特殊用紙
  - プレミアムインクジェット専用紙
  - インクジェット用上質普通紙（両面）

一シートのみ：

- Real Estate 用紙

ADF からスキャン、コピー、またはファクスする

1　印刷面を上にして、すべての原稿を ADF にセットします。

2　横方向の用紙ガイドを原稿のサイズに合わせて調整します。
原稿はセットされたというメッセージがディスプレイに表示されます。



セット

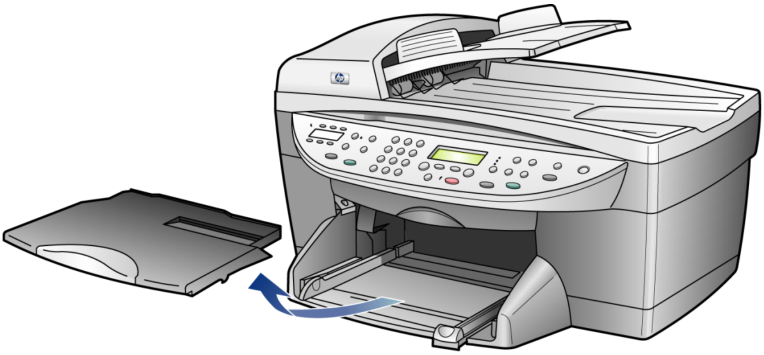
用紙のセット

ここでは、白紙のセットの基本手順について説明します。特定の種類の用紙（OHP フィルム、封筒）をセットする場合については、それぞれ念頭に置いておくべき点があります。ここに示す手順に目を通した後、**58 ページの「ほかの種類の用紙のセット」**と **56 ページの「封筒のセット」**を参照してください。

最高の印刷結果を得るには、用紙タイプや用紙サイズを変更するたびに用紙設定を調整してください。詳しくは、**55 ページの「用紙タイプの設定」**を参照してください。

用紙トレイをセットするには

1 排紙トレイを取り外し（引っ張り出す）、横方向の用紙ガイドと縦方向の用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。



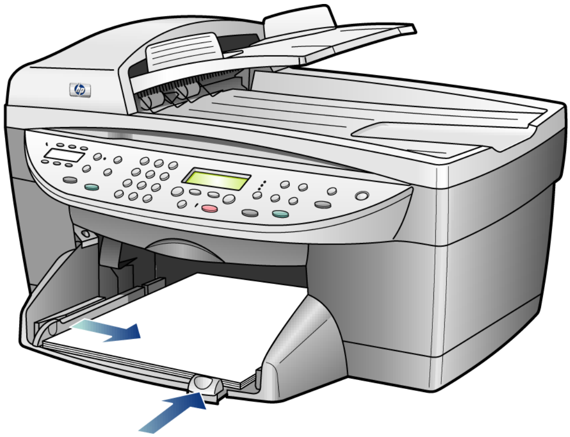
2 平らな面で用紙の端を揃え、それから用紙について次の点をチェックします。
   - 破れや汚れ、しわがないか、あるいはカールしていたり角が折れたりしていないか確認します。
   - フォト用紙を使用している場合を除いて、セットする用紙のサイズおよび種類がすべて同じであることを確認します。

3 用紙を給紙トレイに、印刷面を下にして一番奥までセットします。レターヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れてください。

   ある程度の枚数の用紙があるか、そして用紙の束が縦方向の用紙ガイドの上端より高くなっていないかチェックしてください。

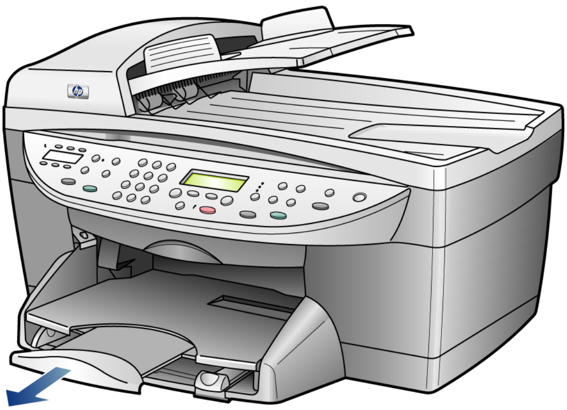


4 用紙の端に当たって止まるまで横方向の用紙ガイドと縦方向の用紙ガイドをスライドします。用紙の束が給紙トレイ内で平らに収まり、縦方向の用紙ガイドのタブより下にあるかを確認します。



5 排紙トレイを元の位置に戻します。

6 印刷済みの用紙がトレイから落ちてしまわないよう、排紙トレイ エクステンダをいっぱいに伸ばします。



はがきのセット

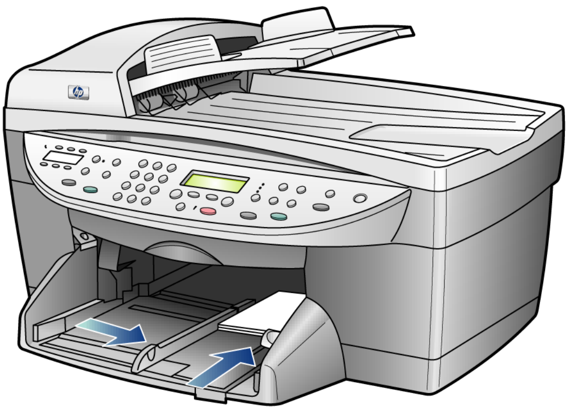
はがきをセットする基本的な手順を次に示します。

ご注意： はがきをセットするときに、封筒用スロットを使わないでください。

1 排紙トレイを取り外し、横方向用紙ガイドと縦方向用紙ガイドガイドを一番外側の位置までスライドさせます。

2 用紙トレイから用紙をすべて除去し、カードをトレーの奥までセットします。
   – 片面印刷の場合、郵便番号側を奥にしてはがきをセットします。印刷面が下になっていることを確認してください。
   – 手動で両面印刷をする場合、郵便番号側を奥にしてはがきをセットします。宛名面が下になっていることを確認してください。
   – 自動で両面印刷をする場合、郵便番号側を手前にしてはがきをセットします。宛名面が下になっていることを確認してください。

3 横方向の用紙ガイドをカードに合わせて調整し、それから縦方向の用紙ガイドを止まるまでスライドさせます。- カードがトレイに収まっていることを確認してください（セットする数が多すぎないようにしてください）。



用紙タイプの設定

フォト用紙や OHP フィルム、バナー用紙、封筒などの特別な用紙を使用する場合は、普通にその用紙を用紙トレイにセットしてください。それから、最高品質で印刷できるよう用紙タイプの設定を変更する必要があります。

コピー設定は、フロントパネルまたは HP ディレクタから変更できます。フロントパネルで設定を変更する場合、装置がコピー ジョブを完了してから 2 分後にコピー設定はリセットされます。

1 ＜用紙タイプ＞ボタンを押します。

2 目的の用紙タイプが表示されるまで  を押します。

3 ＜ Enter ＞ ボタンを押して、表示された用紙タイプを選択します。

セット

用紙のサイズの設定

詳細については , HP フォト イメージング ヘルプの［印刷に推奨する用紙サイズの設定］を参照してください。

コピーの場合：

1 ＜メニュー＞ボタンを押します。
2 ［1］を押し、次に［2］を押します。
  これで［コピー ノ セットアップ］そして［ヨウシ サイズ］が選択されます。
3 目的のサイズが表示されるまで ▶ を押し、表示されたオプションを＜ Enter ＞ボタンを押して選択します。

ファクスの場合：

1 ＜メニュー＞ボタンを押します。
2 ［5］を押し、次に［4］を押します。
  これで［ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ］メニューが選択され、それから［ヨウシ サイズ］が選択されます。
3 目的のサイズが表示されるまで ▶ を押し、表示されたオプションを＜ Enter ＞ボタンを押して選択します。

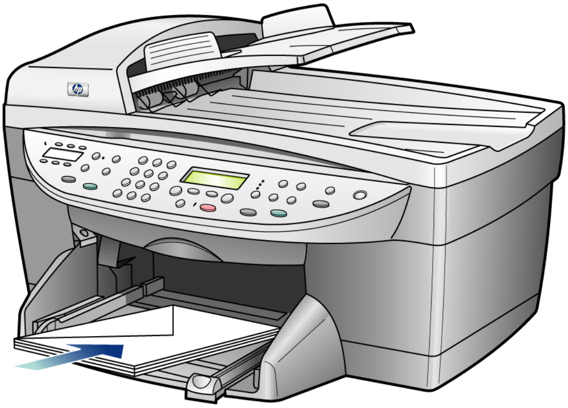
封筒のセット

HP Officejet で封筒を印刷するには、次の 2 種類の方法があります。光沢のある封筒やエンボス加工がされている封筒、留め金がついていたり窓がついていたりする封筒は使用しないでください。

- 封筒を 1 枚だけ印刷する場合は、封筒を封筒用スロットに差し込んでください。封筒用スロットは排紙トレイの後に向かって右側の位置にあります。図のように、封筒のふたを上側にし、ふたを左側または奥に向けて挿入します。封筒を奥まで差し込んでください。



- 複数の封筒を印刷する場合は、用紙トレイにある用紙をすべて除去し、それから封筒をトレイの奥までセットします。その際、封筒のふたは上側にし、ふたを左側または奥に向けて（印刷面を下にして）ください。



横方向の用紙ガイドを封筒に合わせて調整します（封筒が折れてしまわないように注意してください）。封筒がトレイに収まっていることを確認してください（セットする数が多すぎないようにしてください）。

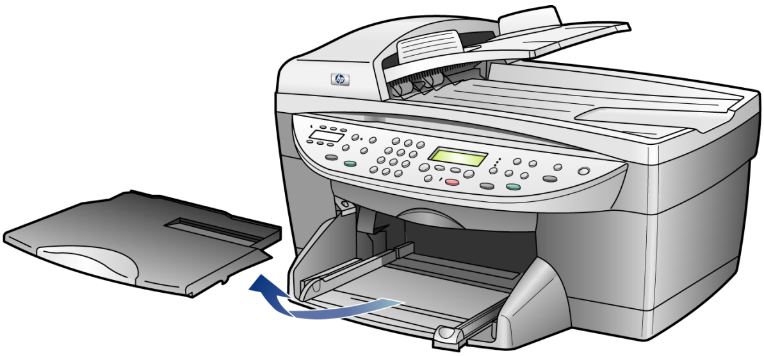
封筒に印刷できるようテキストをフォーマットする方法の詳細については、お使いのワード プロセッシング ソフトウェアのヘルプ ファイルを参照してください。

カードのセット

カードをセットする基本的な手順を次に示します。

ご注意： カードをセットするときに、封筒用スロットを使わないでください。

1 排紙トレイを取り外し（引っ張り出す）、横方向の用紙ガイドと縦方向の用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。



2 用紙トレイから用紙をすべて除去し、カードをトレーの奥までセットします。

印刷面が下になっていることを確認してください。

3 横方向の用紙ガイドをカードに合わせて調整し、それから縦方向の用紙ガイドを止まるまでスライドさせます。-

カードがトレイに収まっていることを確認してください（セットする数が多すぎないようにしてください）。

セット

フォト用紙のセット

10x15cm（4x6 インチ）のフォト用紙をセットする基本的な手順を次に示します。

1 用紙トレイから用紙をすべて除去し、フォト用紙をトレイの奥までセットします。

印刷面が下になっていることを確認してください。

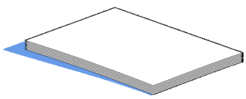
お使いのフォト用紙にミシン目付きのタブがある場合は、そのタブが自分のほうに向くようにフォト用紙をセットしてください。

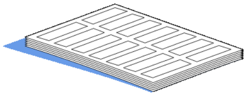
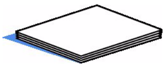
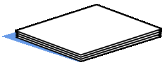
2 横方向の用紙ガイドをフォト用紙に合わせて調整し、それから縦方向の用紙ガイドを止まるまでスライドさせます。

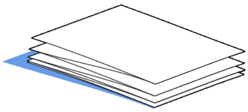
カードがトレイに収まっていることを確認してください（セットする数が多すぎないようにしてください）。

ほかの種類の用紙のセット

特定の種類の用紙や OHP フィルムをセットするときのガイドラインを次の表に示します。最高の印刷結果を得るには、用紙タイプや用紙サイズを変更するたびに用紙設定を調整してください。詳しくは、**55 ページの「用紙タイプの設定」**を参照してください。日本で入手できる用紙の種類について、下記の Web サイトでご確認ください：**www.hp.com/jp**

用紙	ヒント
HP 用紙 	• プレミアムインクジェット用紙：用紙の非印刷面に表示されているグレーの矢印を見つけ、その矢印が表示されてる側を上にして用紙を挿入します。 • プレミアムまたはプレミアムプラスフォト用紙：光沢のある（印刷）面を下してセットします。いつも用紙トレイにまず通常の用紙を 5 枚以上セットし、その通常の用紙の上にフォト用紙を置くようにしてください。 • プレミアム OHP フィルムまたはプレミアムプラス OHP フィルム：（矢印と HP のロゴが表示されている）OHP フィルムの白いストリップが上になるように、ストリップの側から先にトレイにフィルムを挿入します。 • インクジェットアイロンプリント紙 ：使用する前に転写シートを完全に伸ばすようにしてください。カールのついたシートはセットしないでください。（シートがカールするのを防ぐには、使う直前まで転写シートを最初のパッケージに入れて封をしたままにしておきます)。非印刷面を下にして（青い縞にある面を上にして)、一度に 1 枚のシートを手動で給紙します。 • グリーティングカード、リネングリーティングカード、フェルト テクスチャ グリーティングカード ：グリーティング カード用紙は少量を、印刷面を下にして一番奥までセットします。

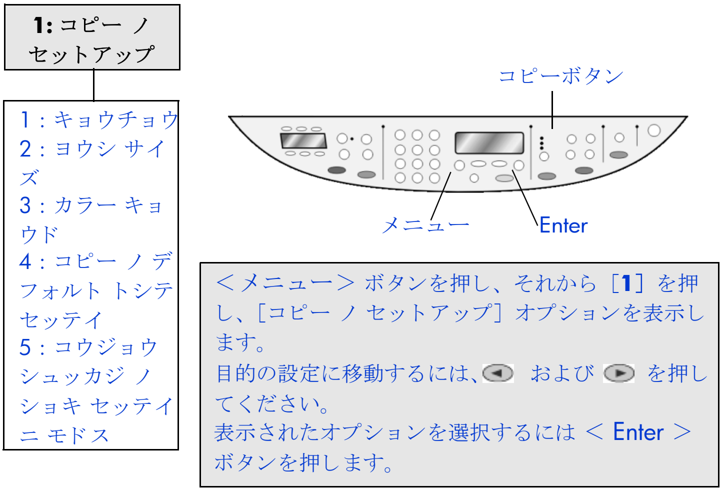
用紙	ヒント
ラベル （印刷の場合のみ） 	• HP インクジェット製品で使用できるよう設計されている、レター サイズあるいは A4 サイズのラベル シート（Avery Inkjet Label など）をいつも使用してください。また、製造後 2 年以上たったラベルは使用しないでください。 • ページどうしがくっついていることがないよう、ラベルを広げてください。 • ラベル シートを標準の用紙の上に重ねて、印刷面を下にして用紙トレイにセットします。ラベルを 1 シートずつセットすることは*しない*でください。
カードやはがき（印刷の場合のみ） 	カードやはがきは、印刷面を下にして用紙トレイの一番奥までセットします。カードは用紙トレイの右側に揃えて置き、横方向の用紙ガイドをカードの左側に向けて上にスライドさせます。それから縦の用紙ガイドをいっぱいまで内側にスライドさせます。
10x15cm（4x6 インチ）のフォト用紙（印刷の場合のみ） 	フォト用紙は、印刷面を下にして用紙トレイの一番奥までセットします。フォト用紙の長い辺を用紙トレイの右側に揃えて置き、横方向の用紙ガイドをフォト用紙の長い辺に向けて上にスライドさせます。それから縦方向の用紙ガイドをいっぱいまで内側にスライドさせます。お使いのフォト用紙にミシン目付きのタブがある場合は、そのタブが自分のほうに向くようにフォト用紙をセットしてください。

用紙	ヒント
連続（バナー）用紙 （印刷の場合のみ） 	連続バナー用紙はコンピュータ用紙や Z 折りの用紙とも呼ばれます。 • バナー用紙をセットする前に用紙トレイから他のすべての用紙を除去し、それから排出トレイを除去します。 排紙トレイを取り外します。 用紙の連続していないほうの端を用紙トレイに挿入します。  • HP 以外のバナー用紙を使用する場合は 75g/m2（20-lb.）用紙を使用し、用紙をさばいてからセットするようにしてください。 • バナー用紙は最低 5 ページ以上あることを確認してください。 • ミシン目の入ったストリップが両端にある場合はそれを注意深く切り離します。そしてページ同士がくっつかないよういったん用紙を開いてからもう一度折り畳みます。 • 連続していないほうの端が用紙の束の一番上に来るように用紙トレイに用紙をセットします。上の図のように、用紙の最初の端を用紙トレイに最後まで挿入します。

6 コピー機能の使用

本章では、以下の方法について説明します：

- コピーの作成
- コピーの中止
- 写真のコピー
- 1 ページに複数のコピーを印刷する
- 両面コピーを作成する
- ポスタの作成
- カラー アイロンプリント紙の作成



コピー機能を使用してできることは次のとおりです。

- カラー コピーおよびモノクロ コピーを、アイロンプリント紙を含め、さまざまな種類およびサイズの用紙で作成する。
- オリジナル サイズの 25% ～ 400% の範囲で縮小 / 拡大コピーする。(この倍率の範囲はモデルによって異なります)。
- コピーを薄くするまたは濃くする。色の濃度を調整する。コピー部数、およびコピーの品質を指定する。
- 特別なコピー機能を使用し、ポスターを作成したり多様なサイズの写真を作成したり、特別なフォト用紙を使用して高品質な写真のコピーを作成したり、透明フィルムを作成したりする。

  ご注意： 写真をコピーするときは、用紙の種類および写真の画質向上設定について正しいオプションを選択する必要があります。また、フォト プリント カートリッジを使用することでさらに印刷品質を高めることもできます。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カート

リッジをインストールすることで、6 色インクシステムが実現されます。詳しくは、**143 ページの「プリント カートリッジの保守」**を参照してください。

コピーの作成

コピーの作成は、HP Officejet のフロントパネルを使って行うこともできますし、コンピュータ上の HP Officejet ソフトウェアを使って行うこともできます。コピー機能のほとんどはどちらの方法ででも利用できます。しかし、特別なコピー機能を使用するにはソフトウェアを利用するほうが簡単でしょう。

フロントパネルで選択したコピー設定はすべて、その設定をデフォルト設定として保存するよう設定した場合以外は、HP Officejet によるコピーが終了した 2 分後にリセットされます。詳しくは、**64 ページの「すべてのコピータスクの設定の変更」**を参照してください。

コピーの作成

1. 原稿をコピー ガラス板あるいは自動ドキュメント フィーダ(ADF)にセットします。
2. ＜START コピー＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜START コピー＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

コピー速度を速くするまたはコピーの品質を高める

HP Officejet には、コピー速度およびコピーの品質に関する 3 つのオプションがあります。

- ＜高画質＞ はあらゆる用紙を高画質で印刷し、塗りつぶし領域に縞模様が発生しないように仕上げます。＜高画質＞ でコピーを行った場合は、他の品質設定の場合よりも印刷に時間がかかります。
- ＜きれい＞ は印刷を高品質で仕上げます。ほとんどのコピーに推奨される設定です。＜きれい＞設定だと、＜高画質＞ 設定の場合よりも早くコピーできます。
- ＜はやい＞設定だと、＜きれい＞設定の場合よりも早くコピーできます。テキストの印刷品質は＜きれい＞設定とそれほど変わりませんが、グラフィックスの品質は低下します。また、＜はやい＞ 設定を選択するとインクの使用量が少なくなるため、カートリッジの交換回数も減ります。

1. 原稿をコピー ガラス板あるいは自動ドキュメント フィーダにセットします。
2. 設定したい品質の正面にある緑の光が点灯するまで ＜品質＞ を押します。
3. ＜START コピー＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜START コピー＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

コピー枚数の設定

フロントパネルを使って、コピー枚数を設定することができます。

1 ＜コピー枚数＞ を押し、コピー枚数モードに入ります。目的のコピー枚数を設定する方法として、次の 3 つの方法があります。
   – ＜コピー枚数＞ を再度 (または繰り返し) 押すと、表示数を増やすことができます。
   – を押すと、表示番号が増え、 を押すと、表示番号が減ります。
   – キーパッドを使って、目的のコピー枚数を入力します。

2 ＜START コピー＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜START コピー＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

コピーを縮小または拡大する

＜縮小 / 拡大＞ ボタン、あるいは＜特殊機能＞ ボタンを選択して、原稿を縮小または拡大したコピーを作成することができます。ここでは、縮小 / 拡大機能についてのみ説明します。

特殊機能のオプションの詳細は、[ツウジョウ]、[ページ ニ アワセル]、[ガゾウ サイズ]、[ポスタ]、[1 マイ 2 p]、[リョウメン コピー] または [ヨハク シフト] の使用方法に関する情報を述べた **65 ページの「特別なコピー ジョブの実行」**を参照してください。

1 ＜縮小 / 拡大＞ を押し、次のいずれかを実行します。
   – カスタム 100% — 倍率を入力してコピーを縮小または拡大することができます。
   – ヨウシサイズ 91% — 原稿を元のサイズの 91% にすることができるので、100% フルサイズ コピーをするのに比べて、ページの一部が途切れるのを防ぐことができます。
   – リーガル / レター 72% — 原稿を元のサイズの 72% にすることができるので、リーガル サイズの原稿をレター サイズの用紙に出力することができます。

2 [カスタム] オプションを使用している場合は、 または を押して、コピーを縮小または拡大します。
   キーパッドを使って部数を入力することもできます。

3 ＜START コピー＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜START コピー＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

コピーを薄くするまたは濃くする

＜ウスク / コク＞ を使ってコピーの濃さを調節します。

1 ＜ウスク / コク＞を押します。

2 コピーを薄くするには を、濃くするには を押します。
   押したボタンに応じて円が左右に動きます。

3 ＜START コピー＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜START コピー＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

色の濃度の変更

色の濃度を調整することで、コピーの色をより鮮やかに、あるいはより落ち着いたものにすることができます。

1 ＜メニュー＞ボタンを押します。

2 [1] を押し、次に [3] を押します。

これで［コピー ノ セットアップ］そして［カラー キョウド］が選択されます。

3 画像をもっと淡くするには を、より鮮やかにするには を押します。

色の濃度の値の範囲は、フロントパネル ディスプレイに表示されるスケールに円として表示されます。

4 ＜START コピー＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜START コピー＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

文字をシャープにし、写真の色を強調する

［モジ］の品質向上を使用すると、モノクロ文字のエッジがシャープになります。写真や画像に対して［シャシン］を使用すると、白に見えてしまうような薄い色が強調されます。

デフォルトのオプションは［モジ］の品質向上です。次のような場合は、［シャシン］または［ナシ］を選択して［モジ］の品質向上をオフにすることができます。

- コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーで細いオブジェクトまたは線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレイがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

1 ＜メニュー＞ を押し、次に［1］を押し、それから、［1］をもう一度押します。

これで［コピー ノ セットアップ］そして［キョウチョウ］が選択されます。

2 目的の品質向上設定（［モジ］、［シャシン］、［コンゴウ］、または［ナシ］）が表示されるまで を押します。

3 ＜START コピー＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜START コピー＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

すべてのコピー タスクの設定の変更

最もよく使用するコピー設定をデフォルトに設定することで、そのコピー設定を保存しておくことができます。これには、［コピー ノ セットアップ］オプションについて、必要な設定変更はもちろんですが、その他のフロントパネル コピー エリア設定も含まれます。

1 ［コピー ノ セットアップ］オプションについて必要な設定変更を行います。

2 コピー領域のボタン設定値は、任意の変更を加えることができます。

3 ＜メニュー＞ボタンを押します。

4 ［1］を押し、次に［4］を押します。

これで［コピー ノ セットアップ］そして［コピーノ デフォルト トシテ セッテイ］が選択されます。

これで設定が保存されました。

特別なコピー ジョブの実行

標準のコピー機能に加えて、HP Officejet では次のことも実行可能です。

- 写真のコピー
- ページに合わせたコピー
- 1 ページに複数のコピーを印刷する
- 1 シートに 2 ページの原稿を印刷する
- マージンを増やすために画像を変更する
- ポスタの作成
- カラー アイロンプリント紙の作成

写真のコピー

1 写真をコピー ガラスにセットします。

2 フォト用紙を使用する場合は、用紙トレイに用紙をセットします。

3 ＜用紙タイプ＞ を押し、目的のフォト用紙オプションが表示されるまで を押します。それから ＜ Enter ＞ ボタンを押して選択します。

デフォルトの用紙タイプは［ジドウ］で、この設定では用紙の種類の検出および判断が HP Officejet によって自動的に行われます。目的の用紙の種類が表示されるまで を押し、特定の用紙の種類を選択することもできます。

詳細については , HP フォト イメージング ヘルプの［コピーに推奨する用紙タイプの設定］を参照してください。

ヒント： ページに合わせて写真を自動的に拡大するには、［ページ ニ アワセル］が表示されるまで、＜特殊機能＞ を押し、それから、＜ Enter ＞ ボタンを押します。詳細については、次に示します。

4 ＜メニュー＞ を押し、次に ［1］ を押し、それから、［1］ をもう一度押します。

これで ［コピー ノ セットアップ］ そして ［キョウチョウ］ が選択されます。＜ Enter ＞ を押して選択を確定します。

5 ［シャシン］が表示されるまで を押し、それから ＜ Enter ＞ ボタンを押して選択します。

6 ＜ START コピー＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜ START コピー＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

ページに合わせたコピー

セットした用紙のサイズに合わせて原稿を自動的に拡大 / 縮小する場合は、［ページ ニ アワセル］ を選択します。このようにして、下の図に示すように小さな写真を用紙のサイズに合わせて拡大することができます。また、［ページ ニ アワセル］ を使うことで、端のほうの文字や画像が不必要にトリミングされてしまうのを防ぐこともできます。

ヒント： コピー ガラスが汚れていないこと、および原稿がガラスの右下隅に合わされているかどうかを確認してください。この機能には、自動ドキュメント フィーダ (ADF) を使用することはできません。



1 原稿をコピー ガラス板にセットします。
2 適切な用紙をセットします。
3 ［ページ ニ アワセル］が表示されるまで、＜特殊機能＞を押します。
4 ＜ Enter ＞を押します。
5 ＜START コピー＞ - ＜モノクロ＞ボタンまたは＜START コピー＞ - ＜カラー＞ボタンを押します。

1 ページに複数のコピーを印刷する

写真のサイズを選択し、そしてコピー部数を選択することにより、1 ページに複数のコピーを配置することができます。

［ガゾウ サイズ］オプションで利用可能な一般的な写真サイズには何種類かあります。このオプションは＜特殊機能＞ボタンを使って呼び出せます。



1 原稿をコピー ガラス板にセットします。
2 目的の用紙を用紙トレイにセットします。
3 ［ガゾウ サイズ］が表示されるまで、＜特殊機能＞を押します。
4 目的の写真サイズが表示されるまで ▶ を押し、それから＜ Enter ＞ボタンを押します。
5 ［マイスウ ハ？］という表示が出ると、▶ を押して、ページに合う画像の枚数を選択します。

   ページにつき、1 を選択するか、ページに合った最大数を選択することができます。画像のサイズが大きい場合は、画像の数を選択するよう表示されることはありません。
6 ＜ Enter ＞ボタンを押し、ページに表示される写真の数を選択します。
7 ＜START コピー＞ - ＜モノクロ＞ボタンまたは＜START コピー＞ - ＜カラー＞ボタンを押します。

ヒント： 1 ページにコピーされる写真のコピー数が指定と違う場合は、原稿をガラス上で 90 度回転させてもう一度コピーしてみてください。

1 シートに 2 ページの原稿を印刷する

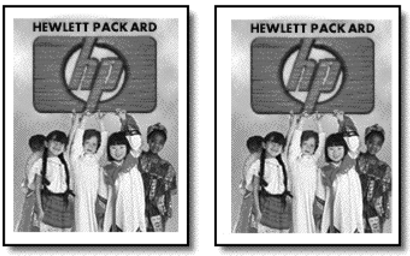
1 シートに 2 ページ機能を使うと、1 ページにレター サイズや A4 サイズなど異なったサイズの原稿を出力することができます。用紙を横長にすると、コピーされた画像を 2 つ並べて出力させることができます。原稿を自動ドキュメント フィーダ (ADF) あるいはコピー ガラス板にセットします。

1. 最初の原稿をコピー ガラス板にセットします。ADF を使用している場合は、そこに両方の原稿をセットしてください。
2. ［1 マイ 2 p 5 9 %］が表示されるまで、＜特殊機能＞を押し、それから ＜ Enter ＞ ボタンを押します。
3. ＜START コピー＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜START コピー＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。
4. 最初の原稿をコピー ガラス板にセットしたら、［2 バン メ ノ ゲンコウ ヲ ガラス バン ニ オイテ センタク ボタン ヲ オシテクダサイ］ というメッセージが表示されます。それから、＜ Enter ＞ ボタンを押します。

マージンを増やすために画像を変更する

余白シフト機能で画像を左右いずれかにシフトさせることによって、結合時のマージンを広くすることができます。このモードで数字キーパッドから縮小率 / 拡大率を調整することもできます。

原稿　　　　マージン シフト



1. 原稿をコピー ガラス板あるいは自動ドキュメント フィーダにセットします。
2. ［ヨハク シフト 100%］が表示されるまで、＜特殊機能＞を押します。
3. ◀ あるいは ▶ を押し、マージンを左右に移動させます。

   6.35 mm (1/4 インチ) ごとにずらすことができます。
4. 縮小率、拡大率も変更したいときに、キーパッドを使って番号を入力し、それから ＜ Enter ＞ ボタンを押して選択します。

   ヒント： 縮小率 / 拡大率を変更したくないときは、必要な余白シフト量を選択後、＜ Enter ＞を押してください。
5. ＜START コピー＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜START コピー＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

両面コピーを作成する

両面コピー機能では、レターサイズまたは A4 サイズの片面か両面の原稿から、自動的に両面コピーにすることが可能です。

ご注意 : 両面コピーについては、コピーの枚数は 1 枚に設定することしかできません。例えば 10 ページのドキュメントを両面コピーで作ることができますが、一部しか作れません。片面コピーについては、99 部までコピーすることができます。

1 自動ドキュメント フィーダ (ADF) にレターまたは A4 サイズの原稿をセットします。

   自動ドキュメント フィーダ (ADF) にセットされたリーガル サイズの原稿から両面コピーを作成することはできません。

   ご注意 : ご使用の HP Officejet が HP 両面印刷アクセサリを備えている場合にのみ、両面コピーが自動的に作成できます。いくつかのモデルでは両面印刷アクセサリは標準装備ですが、別途購入することもできます。

2 ［リョウメン コピー］が表示されるまで、＜特殊機能＞ボタンを押してください。

3 目的の設定が表示されるまで を押し、次のいずれかを選択します。それから、＜ Enter ＞を押します。
   - リョウメン コピー 1 -> 1
     このオプションでは片面原稿から標準の片面コピーを作成することができます。
   - リョウメン コピー 1 -> 2
     このオプションでは 2 枚の片面原稿を、1 枚の両面コピーにすることができます。
   - リョウメン コピー 2 -> 1
     このオプションでは両面原稿から片面コピーを作ることができます。
   - リョウメン コピー 2 -> 2
     このオプションでは両面原稿から両面コピーを作ることができます。

4 ＜START コピー＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜START コピー＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

ポスタの作成

ポスタ機能を使うときは、原稿をセクションに分割し、分割したセクションを拡大し、それを組み合わせて 1 枚のポスタを作ります。

原稿　　　　ポスタ





ヒント： コンピュータに保存されているファイルからポスタを印刷できます。

詳細については、HP フォト イメージング ヘルプの［ポスタの印刷］を参照してください。

1　原稿をコピー ガラス板にセットします。

　ヒント： ポスタを作成する場合は、自動ドキュメント フィーダ (ADF) を使うことはできません。

2　目的の用紙を用紙トレイにセットします。

3　［ポスタ］が表示されるまで、＜特殊機能＞を押します。
　［2 ページ ハバ］オプションがデフォルトで表示されます。

4　 を押し、ポスタの幅を選択します。

5　＜ Enter ＞を押して選択を確定します。

6　＜ START コピー＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜ START コピー＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

　ヒント： ポスタの幅を選択したら、HP Officejet では原稿の縦横比を維持するよう自動的に高さを調整します。選択したポスタ サイズまで原稿を拡大できない場合は、拡大可能なページ幅の数を知らせるエラーメッセージが表示されます。もう少し小さいポスタ サイズを選択し、もう一度コピーしてください。

カラー アイロンプリント紙の作成

画像またはテキストをアイロン プリント紙にコピーし、それからアイロン プリント紙にアイロン転写することができます。

原稿　　　　アイロン





ヒント： 古着を使って アイロン プリント紙のアイロン転写を練習することをお奨めします。

1 原稿をコピー ガラス板あるいは自動ドキュメント フィーダにセットします。

2 アイロン プリント紙を用紙トレイにセットします。

3 ＜用紙タイプ＞ を押し、[アイロン プリントシ] が表示されるまで ▶ を押します。それから ＜ Enter ＞ ボタンを押して選択します。

このオプションを選択すると、アイロンプリント紙に正しい画像が表れるよう、自動的に原稿の鏡像がコピーされます。

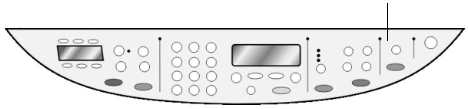
4 ＜START コピー＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜START コピー＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

コピーの中止

▶ コピーを中止するには、フロントパネルの ＜キャンセル＞ ボタンを押します。

7 スキャン機能の使用

スキャンはコンピュータから行うこともできますし、HP Officejet から行うこともできます。



HP Officejet ソフトウェアから文書や写真をスキャンする方法について、詳しくは HP フォト イメージング ヘルプの［写真と文書のスキャン］の項目を参照してください。

スキャンした画像とその使い方について、詳しくはこの章の最後の「スキャンの情報」と「さらに詳しく知りたい場合」を参照してください。

ヒント： スキャン機能を使用するには、HP Officejet とコンピュータとを接続して電源をオンにする必要があります。また、スキャンを実行するに先だってコンピュータに HP Officejet ソフトウェアをインストールし、そして実行しておく必要もあります。Windows において HP Officejet ソフトウェアが実行されているかどうかを確認するには、システム トレイにステータス アイコンがあるかどうかを調べてください。Macintosh の場合、HP Officejet ソフトウェアは常に実行されています。

画像のスキャン

フロントパネルを使ってスキャンする

1 原稿をコピー ガラス板あるいは自動ドキュメント フィーダ(ADF)にセットします。

   詳しくは、51 ページの「原稿のセット」を参照してください。

2 ＜スキャンの送信先＞を押し、画像の対象ソフトウェアプログラムを選択します。

   選択したプログラムは新しいデフォルトになります。

3 ＜ START スキャン＞ボタンを押します。

   原稿をスキャンした画像が［HP プレビュー］ウィンドウに表示されます。



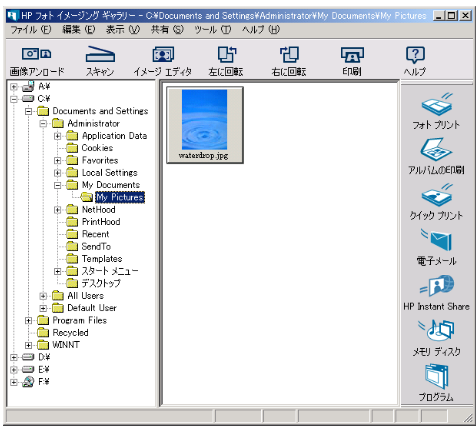
HP プレビュー ウィンドウ

4 ［HP プレビュー］では、最後のスキャン処理を行う前に画像を変更することができます。

詳細については、HP フォト イメージング ヘルプの［写真と文書のスキャン］の［プレビュー中の画像の調整］を参照してください。

5 編集が終了したら、［適用］をクリックします。

原稿はもう一度スキャンされ、ステップ 2 に選択されたプログラム（たとえば HP フォト イメージング ギャラリ）に送信します。



HP フォト イメージング ギャラリ

HP フォト イメージング ギャラリの使用方法については、HP フォト イメージング ギャラリ ヘルプの［ソフトウェアの使い方］の［画像の管理］を参照してください。

ステップ 2 で、ほかのプログラムを選択した場合（たとえば、ここで示した Microsoft ペイント）、画像がそのプログラムで表示されます。



Microsoft ペイント

Windows コンピュータで［HP ディレクタ］を使用してスキャンする

1 原稿をコピー ガラス板あるいは自動ドキュメント フィーダ(ADF)にセットします。
詳しくは、51 ページの「原稿のセット」を参照してください。

2 ［HP フォト イメージング ディレクタ］を起動します。ディレクタは普通 Hewlett-Packard プログラムグループにあります。

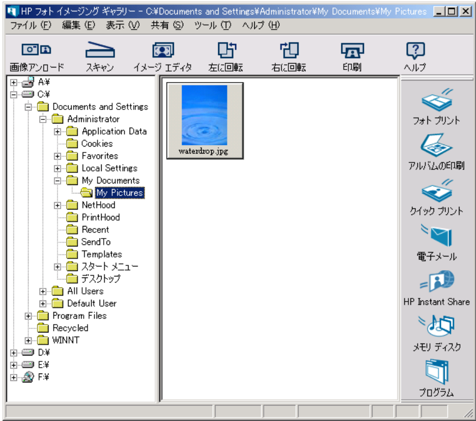
3 <スキャンの送信先>を押し、画像の対象ソフトウェアプログラムを選択します。

4 < START スキャン >ボタンを押します。
原稿をスキャンした画像が［HP プレビュー］ウィンドウに表示されます。



5 スキャンした画像は［HP プレビュー］で編集可能です。
プレビューの際に画像を修正する方法について、詳しくは HP フォト イメージング ヘルプの［写真と文書のスキャン］の［プレビュー中の画像の調整］の項目を参照してください。

6 画像の変更が終了したら、［適用］をクリックします。
原稿はもう一度スキャンされ、ステップ 2 に選択されたプログラム（たとえば HP フォト イメージング ギャラリ）に送信します。



HP フォト イメージング ギャラリ

詳細については、HP フォト イメージング ヘルプの［ソフトウェアの使い方］の［画像の管理］の項目を参照してください。

Macintos コンピュータで［HP ディレクタ］を使用してスキャンする

1 原稿をセットします。
詳しくは、51 ページの「原稿のセット」を参照してください。

2 ＜ START スキャン＞ボタンを押します。
HP Officejet で原稿のスキャンが行われ、画像が HP フォト イメージング ギャラリに送られます。
詳細については、HP フォト イメージング ヘルプを参照してください。

スキャンの中止

フロントパネルにある＜キャンセル＞ボタンを押せば、スキャンを中止することができます。

スキャンの情報

スキャンとは、コンピュータで使用できるよう、テキストや写真を電子的な形式に変換する過程のことです。次に挙げるとおり、ほとんどすべてのものがスキャン可能です。

- テキスト文書
- 写真
- 雑誌の記事
- カタログや広告に取り込む 3D オブジェクト（ガラス板を傷つけないように注意してください）

スキャンされた画像やテキストは電子フォーマットであるため、ワード プロセッサやグラフィックス プログラムに取り込み、必要に合わせて修正することが可能です。たとえば次のようなことが可能です。

- 記事からテキストをワード プロセッサにスキャンして記事の内容をレポートに取り込むことで、タイプし直す手間を大幅に省く。
- ロゴをスキャンしてパブリッシング ソフトウェアで使用することで、名刺やカタログを自分で印刷する。
- 写真をスキャンして同僚や友達に E メールで送付することや、オフィスや家庭の写真目録、電子スクラップブックを作成することができます。

HP Officejet ソフトウェアから文書や写真をスキャンする方法について、詳しくは HP フォト イメージング ヘルプの［写真と文書のスキャン］の項目を参照してください。

さらに詳しく知りたい場合

Windows であれば、次の点についてさらに詳しくお知りになりたい場合、HP フォト イメージング ヘルプの［ソフトウェアの使い方］にある［写真と文書のスキャン］の項目を参照してください。

- 写真や文書のスキャン
- 光学文字認識（OCR）を使って文書をスキャンし、編集可能なテキストを作成する
- 他のプログラムからのスキャン
- スキャンした画像の調整
- スキャン設定の変更

Macintosh であれば、次の点についてさらに詳しくお知りになりたい場合、HP フォト イメージング ヘルプの HP OfficeJet 6150 セクションにある「スキャン」の章を参照してください。

- 写真や文書のスキャン
- 他のプログラムからのスキャン
- スキャンした画像の調整
- スキャン設定の変更

8 ファクス機能の使用

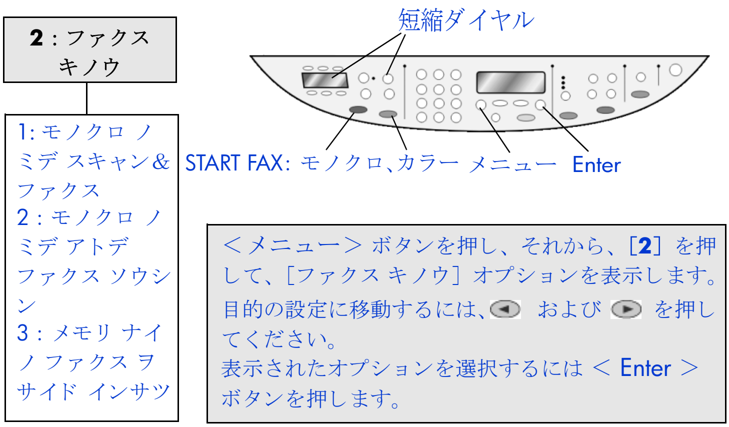
HP Officejet では以下のことができます。

- ファクスの送信
- ファクスの受信
- メモリ内のファクスを再印刷する

さらに、次の方法についても説明します。

- 短縮ダイヤル エントリを使って、ファクスを送信する
- 複数の受信者を対象にファクスのグループ通信を行う
- ファクスのスケジューリング
- コンピュータ ファイルをファクスとして送信する

フロントパネルのメニューボタンとその他のファクスボタンを使って、すべての機能にアクセスできます。



ご使用の HP Officejet はファクス セットアップ オプションもたくさん提供されています。詳細については、次の章を参照してください。

- ファクスの標準設定
- ファクスの高度な設定

ファクスを電話やその他のオフィス デバイスと共有する方法については、「ファクス接続オプション」を参照してください。

HP フォト イメージング ディレクタを使って、ドキュメントをコンピュータからファクスすることができます。詳細については、HP フォト イメージング ヘルプを参照してください。

ファクスの送信

ファクスを送信するとき、次のことができます。

- hp officejet からファクスを送信する
- 短縮ダイヤル エントリを使って、ファクスを送信する
- カラー ファクスの送信
- 複数の受信者を対象にファクスのグループ通信を行う
- ファクスのスケジューリング
- スケジュールされたファクスをキャンセルする
- コンピュータ ファイルをファクスとして送信する
- ファクスを自動的に受信する
- ファクスを手動で受信する

各機能の簡単な説明を以下に表示します。

ご注意 : デフォルトでは、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、HP Officejet でレポートが印刷されます。ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージは、送信処理後にフロントパネル ディスプレイに簡単に表示されます。ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを紙に印刷する必要がある場合、**97 ページの**「レポートの印刷」を参照してください。

hp officejet からファクスを送信する

ご使用の HP Officejet からファクスを送信するには、次の手順に従ってください。

1 原稿をセットします。

ご注意 : 複数ページのファクスを送信するには、自動ドキュメント フィーダ (ADF) を使う必要があります。

2 キーパッドを使ってファクス番号を入力します。

3 < START FAX > - <モノクロ> ボタン、または < START FAX > - <カラー> ボタンを押します。

4 自動ドキュメント フィーダに原稿がないときは、[ゲンコウガラスカラソウシン ?] というメッセージが表示されます。[ハイ] の場合は [1]、[イイエ] の場合は [2] を押してください。

[ハイ] の場合は [1] を押し、 コピー ガラスから文書がスキャンされます。[イイエ] の場合は [2] を押し、フロント パネルに [ゲンコウヲ セットシテ Enter ボタン ヲ オシテクダサイ] というメッセージが表示されたら、< Enter >を押します。文書がセットされた後、HP Officejet はファックスの送信を開始します。。

短縮ダイヤル エントリを使って、ファクスを送信する

同じところに何度もファクスを送信するときは、短縮ダイヤルを設定すると、便利です。短縮ダイヤル エントリを使って、ファクスが送信できます。短縮ダイヤル番号が先に設定されていなければ、短縮ダイヤル エントリは表示されません。短縮ダイヤルの詳細については、**87 ページの**「日付と時刻の設定」を参照してください。

1　原稿をセットします。

2　＜短縮ダイヤル＞ ボタンを押します。

ヒント： 短縮ダイヤルの数が 6 つ以内の場合は、それらをワンタッチ短縮ダイヤルとすることができます。＜ START FAX ＞ - ＜モノクロ＞ ボタン、または ＜ START FAX ＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

3　以下のどちらかの操作を実行し、目的の番号を探します。
- 目的の短縮ダイヤルが表示されるまで ▶ を押し続けます。
- キーパッドから短縮ダイアル エントリの番号を入力します。

4　目的の短縮ダイヤル番号が表示されたら、＜ START FAX ＞ - ＜モノクロ＞ ボタンまたは ＜ START FAX ＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

カラー ファクスの送信

他のカラー ファクス機との間でカラー ファクスを送受信することができます。モノクロのファクス マシン相手にカラー ファクスを送ろうとすると、HP Officejet は、モノクロで送信します。

カラー ファクスを最良の品質で送るときは、カラーのコピー原稿ではなく、可能な限り、オリジナル原稿を使われることをお勧めします。

また、短縮ダイヤル機能を使って、グループにカラーファクスを送信することはできません。

1　原稿をセットします。

2　キーパッド、短縮ダイヤルボタン、ワンタッチ 短縮ダイヤルボタンを使ってファクス番号を入力します。

3　＜ START FAX ＞ - ＜カラー＞ ボタンを押します。

複数の受信者を対象にファクスのグループ通信を行う

HP Officejet からファクスによるグループ通信を行うときは、1 つのグループ内はすべてモノクロになります。そのグループに対しては、20 件まで短縮ダイヤルの使用が可能です。ファクスによるグループ通信を行うときは、送信内容は、HP Officejet のメモリに収まるようにしてください。

1　原稿をセットします。

2　目的のグループ 短縮ダイヤルが表示されるまで ＜短縮ダイヤル＞を押し続けます。

3　＜ START FAX ＞ - ＜モノクロ＞ ボタンを押します。

ファクスのスケジューリング

モノクロによるファクスは、同じ日の範囲内で送信時刻の設定を行うことができます (回線が空いている時間帯など)。フロント パネルで、送信先が 1 つか、グループかを選択することができます。

ご注意： この機能を使うに先だって、日付と時刻を設定する必要があります。

指定時刻になると、回線が接続状態になり次第、ファクスは自動送信されます。

1 原稿をコピー ガラス板あるいは自動ドキュメント フィーダにセットします。
2 ＜メニュー＞ボタンを押します。
3 ［2］を押し、そしてもう一度［2］を押します。
   これで、［ファクス キノウ］、［モノクロ ノミ デアトデ ファクス ソウシン］が選択されます。
4 数値キーパッドを使って［ソウシン ジコク］を入力します。
5 AM の場合は［1］を、PM の場合は［2］を押してください。
6 ［ファクスバンゴウニュウリョク］が表示されたら、受信者の番号を入力し、または＜短縮ダイヤル＞ボタンを使って、グループを選択します。＜ Enter ＞を押します。
7 ［スグ ファクス ヲ ホゾン］が表示されると、［1］を押し、［ハイ］を選択するか、または［2］を押し、［イイエ］を選択します。
   ［1］を選択すると、原稿は、メモリに取り込まれ、指定時刻に送信されます。［2］を選択すると、［ソウシン ジカン マエニ ゲンコウ ヲ セット］、という旨のメッセージが表示されます (自動ドキュメント フィーダに置かれているときは、このメッセージは表示されません)。

スケジュールされたファクスをキャンセルする

メモリ内のファクスあるいは現在送信中のファクスをキャンセルすることができます。

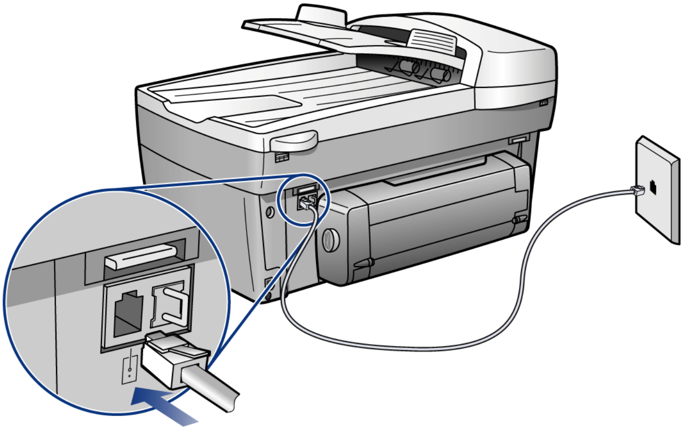
1 ＜メニュー＞ボタンを押します。
2 ［2］を押し、そしてもう一度［2］を押します。
   これで、［ファクス キノウ］、［モノクロ ノミ デアトデ ファクス ソウシン］が選択されます。
   コントロール パネルには、［スケジュール ファクス ハ メモリ ニ アリマス］、スケジュールされた日時、ファクス番号が表示されます。
3 ［キャンセル？ 1 = ハイ　2= イイエ］が表示されたら［1］を押し、スケジュールされたファクスをキャンセルします。
   ［ハイ］が選択されたら、［スケジュール ファクス ハ キャンセル サレマシタ］がフロントパネル ディスプレイに表示されます。

コンピュータ ファイルをファクスとして送信する

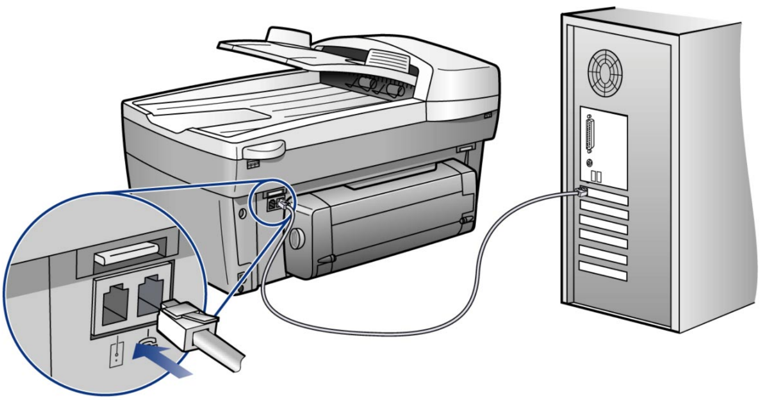
HP Officejet では、ワープロや表計算ソフトのプログラムから直接ファクス送信することはできません。電子ファイルをファクスとして送信するには、ファクス モデムとファクス ソフトウェアがコンピュータにインストールされている必要があります。ご使用のファクス モデムに使用するファクス ソフトウェアはすでに OS にインストールされていることがあります。

コンピュータのファクスと HP Officejet ファクスの双方を 1 つの電話回線で使用することができます。接続の変更を行わずに両方のファクスを使用することができます。下記のようにコンピュータのファクスを HP Officejet に接続してください。

1 壁側のモジュラー ジャックから出ている電話のコードを HP Officejet ジャック 1 に接続してください。



2 コンピュータのファクス モデムの電話コードを HP Officejet ジャック 2 に接続します (事前にジャックからプラスチックのカバーを外しておきます)。



3 HP Officejet ソフトウェアからファクス設定ウィザードを立ち上げて、ご使用のコンピュータのファクス モデムと HP Officejet をセットアップします。［HP ディレクタ］で、［設定］を選択し、［ファクスの設定とセットアップ］をポイントし、［ファクス セットアップ ウィザード］を選択します。

ファクスの受信

HP Officejet がどのようにセットアップされているかによって、ファクスを自動で受信できるかそれとも手動で受信する必要があるかが決まります。

（自動応答機能がオフになっている場合を除いて、）HP Officejet は、受信したファクスを受信、印刷するよう自動的に設定されています。リーガル サイズのファクスを受信した場合で、リーガルサイズの用紙は HP Officejet でセットされていなければ、セットされている用紙に収まるようファクスのサイズが自動的に縮小されます（自動縮小機能が無効になっている場合を除く）。

詳細については、HP フォト イメージング ヘルプの **「自動縮小機能の設定」** を参照してください。

ファクスを自動的に受信する

HP Officejet を立ち上げると、HP Officejet が前回シャットダウン時に自動応答機能がオンかオフであったかによって、オンかオフの状態になります。

- 自動応答をオンにするには、緑の光が点灯するまで ＜自動 応答＞ ボタンを押します。

ファクスを手動で受信する

HP Officejet でファクスを手動受信する前に、コピー ガラス板に原稿がセットされていればそれを除去しておくようお奨めします。

1. 緑の光が消えるまで、＜自動応答＞ボタンを押します。
   これは自動応答機能を無効にします。
2. HP Officejet の呼び出し音が鳴ったら、HP Officejet と同じ電話線につながっている電話の受話器を取ってください（受話器は RJ-11 アクセサリ ポートを使用して、HP Officejet の背面に接続されています）。
3. ファクスのトーン信号が聞こえたら、次のいずれかの操作を実行します。
   – ＜ START FAX ＞ - ＜モノクロ＞ ボタンを押します。
   – （HP Officejet と同じ電話線につながっているものの直接つながってはいない）内線電話で電話を取った場合は、電話の ［1］［2］［3］ を押してください。ファクスのトーン信号を待ち、それから受話器を置きます。

メモリ内のファクスを再印刷する

HP Officejet ではファクス ページを一定の数までメモリに保存しておくことができます。この保存しておけるページ数はお使いのモデルによって異なります。HP Officejet のファクス保存用メモリがいっぱいになったら、保存されているファクスを印刷するまでは、それ以上ファクスを受信することはできません。

［メモリ ナイ ノ ファクス ヲ サイド インサツ］を使用すると、メモリ内に保存されているファクスを再印刷することができます。たとえば、ファクスの受信中にプリント カートリッジのインクがなくなったり、ファクスを印刷しているとき、用紙が詰まったりした場合です。しかしこのオプションではメモリ内のすべてのファクスをすべて印刷するため、＜キャンセル＞ ボタンを押して必要ないファクスの印刷を中止してください。

1 ＜メニュー＞ボタンを押します。

2 ［2］を押し、次に［3］を押します。

これで、［ファクス キノウ］メニューが選択されます。それから、［メモリ ナイ ノ ファクス ヲ サイド インサツ］オプションを選択します。メモリ内のファクスは印刷されました。

9 ファクスの標準設定

この章で記載されたファクスの標準設定オプションは：

- 用紙のサイズの設定
- 解像度とコントラストの調整
- ボリュームの調整
- 日付と時刻の設定
- ファクス ヘッダの設定

短縮ダイヤルやエラー訂正モードなど、ファクスの高度な設定については、89 ページの「ファクスの高度な設定」を参照してください。

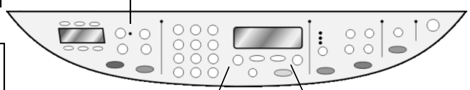
フロントパネルの［ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ］メニュー、［プリント レポート］メニュー、＜ FAX ＞ボタンを使って、すべてのファクスの標準設定オプションにアクセスできます。

5：ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ

1：ヒヅケ ト ジコク
2：ファクス ヘッダ
3：オウトウ スルマデ ノ ヨビダシ カイスウ
4：ヨウシ サイズ
5：トーン マタハ パルス ダイヤル

3：プリント レポート

1：サイゴ ノ ショリ
2：ファクス ログ
3：タンシュク バンゴウ イチラン
4：メニュー ノ セッテイ
5；セルフ テスト レポート
6：ジドウ レポート セットアップ



＜メニュー＞を押し、それから［**5**］を押せば、［ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ］オプションを表示するか、または、［**3**］を押し、［プリント レポート］メニューを表示します。
目的の設定に移動するには、◀ および ▶ を押してください。
表示されたオプションを選択するには＜ Enter ＞ボタンを押します。

用紙のサイズの設定

フロント パネルから、コピーに使用できる用紙タイプを選択することができます。選択肢はレター サイズ、リーガル サイズ、または A4 サイズの用紙

1 ＜メニュー＞ボタンを押します。

2 ［5］を押し、次に［4］を押します。

これで［ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ］メニューが選択され、それから［ヨウシ サイズ］が選択されます。

3 目的のサイズが表示されるまで を押し、表示されたオプションを ＜ Enter ＞ ボタンを押して選択します。

解像度とコントラストの調整

送信する文書の解像度やコントラストを変更することが可能です。行った変更は再び変更を行うまで有効です。何もせず 2 分が経過した場合は、設定はデフォルト値に戻ります。

> ご注意 : コピー設定がファクス設定に影響することはありません。また、ファクスの解像度設定がコピー設定に影響することもありません。

解像度の変更

解像度の変更は、送信速度およびファクス送信された文書の品質に影響を及ぼします。

1 FAX 領域で、＜解像度＞ ボタンを押します。

2 を押し、設定したいオプションが表示されるまで、利用可能なオプションの一覧をスクロールします。

HP Officejet では、受信側のファクスでサポートされている最も高い解像度でのみファクス送信を行います。

［シャシン］ を選択した場合は、ファクス送信が完了するまでに通常よりも時間がかかります。写真をファクスするときは ［シャシン］ を選択するようお奨めします。

3 ＜ Enter ＞ ボタンを押して目的のオプションを選択します。

コントラストの変更

モノクロ ファクスをオリジナルよりも暗くあるいは明るく送信したい場合は、この設定を変更します。

1 ＜ウスク / コク＞ ボタンを押します。

コントラストの値の範囲は、ディスプレイに表示されるスケールに円として表示されます。

2 ファクスを明るくするには を、暗くするには を押します。

押したボタンに応じて円が左右に動きます。

3 選択した設定を使用するには ＜ Enter ＞ ボタンを押します。

ボリュームの調整

HP Officejet では、呼び出し音およびビープのボリュームを 3 段階で調整できます。デフォルトの設定は ［チイサイ］ です。

1 ＜メニュー＞ボタンを押します。

2 ［7］ を押し、次に ［5］ を押します。

これで ［メンテナンス］ が選択され、それから ［ヨビダシオン ノ オンリョウ］ オプションが選択されます。

3 を押し、オプションのいずれかを選択します。［チイサイ］、［オオキイ］、または ［オフ］。

4 ＜ Enter ＞を押します。

日付と時刻の設定

フロントパネルから日付と時刻を設定することができます。ファクス送信時に、この現在の日付と時刻がファクスのヘッダに印刷されます。この日付と時刻のフォーマットは言語と国 / 地域の設定に基づいて決まります。

通常は、日付と時刻の設定はコンピュータのソフトウェアで自動的に行われます。

1 ＜メニュー＞ボタンを押します。

2 ［5］を押し、次に［1］を押します。

これで［ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ］メニューが選択され、それから［ヒヅケ ト ジコク］オプションが選択されます。

3 キーパッドの適切な数字を押して、年、月、日（下 2 桁のみ）を入力してください。

初めは最初の桁の下にあるアンダーライン カーソルは、ボタンを押すたびに自動的に次の桁に進みます。また、日付の最後の桁を入力するとタイム プロンプトが自動的に表示されます。

4 時間と分を入力してください。

時刻の最後の桁を入力すると AM/PM プロンプトが自動的に表示されます。

5 AM の場合は［1］、PM の場合は［2］を押してください。

日付と時刻をリセットする場合だけ、新しい時刻と日付の設定がフロントパネルに表示されます。

初めて日付と 時間を設定するとき (現在、日付も 時間も 設定されていない) は、新しい日付の後に［OK？ 1= ハイ 2= イイエ］を表示します。［ハイ］、日付 / 時刻を設定します。［イイエ］、日付 / 時刻をリセット することができます。

ファクス ヘッダの設定

通常、ファクス ヘッダのセットアップは、インストール時にファクス設定ウィザードを使用して行います。変更の必要のあるときは、［HP ディレクタ］のファクス設定ウィザードを使用するか、この手順でフロント パネルから名前とファクス番号を入力します。［HP ディレクタ］から［ファクス セットアップ ウィザード］を開始するには、［設定］を選択し、［ファクスの設定とセットアップ］をポイントし、［ファクス セットアップ ウィザード］を選択します。

ご注意： ファクスヘッダを作成するとき、漢字はサポートされておりません。片仮名または平仮名を使用してください。また平仮名で入力しても片仮名に変換されます。漢字を使用すると、画面上及びフロントパネルで ？？？と表示されます。

1 ＜メニュー＞ボタンを押します。

2 ［5］を押し、次に［2］を押します。

これで［ファクス ノ ヒョウジュン セッテイ］メニューが選択され、それから［ファクス ヘッダ］オプションが選択されます。

3 ［ソウシンシャ メイ］が表示されたら、次のセクション **88 ページの「文字入力のヒント」**で説明されている方法に従って、数値キーパッドを使って名前を入力してください。

4 < Enter >を押します。

5 プロンプト表示が出たら、キーパッドでファクス番号を入力します。

6 ファクス番号の入力が終わったら、< Enter > を押してください。

文字入力のヒント

フロントパネルのキーパッドを使って文字を入力する方法を次のリストに示します。

- 名前の文字に対応するキーパッドの数字を押します。

  ABC 2　これらの文字はこの数字に対応しています。他の文字に関しても同様です。

- 複数回ボタンを押すとまずカタカナが出てきて、それから大文字で出てきます。単語の最初の文字は自動的に大文字になります。

  JKL 5

この文字を出すには：	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5
［5］をこれだけの回数押す：	1	2	3	4	5	6	7	8	9

- 正しい文字が出てきたら ▶ を押し、それから、名前でその次にくる文字に対応する数字ボタンを押します。正しい文字が出てくるまでまた何回か数字ボタンを押してください。
- カーソルは、最後にボタンが押されてから 1．5 秒後に自動的に右に移動します。
- スペースを挿入するには <スペース（#）> ボタンを押してください。
- @ などの記号を入力するには、<記号（*）> ボタンを繰り返し押して、使用可能な記号のリストをスクロールします。記号は *, -, &, ., / (), ', =, #, @, _, !。
- 間違えた場合は、◀ を押してクリアし、それから正しく入力してください。
- 文字の入力が終わったら、< Enter > ボタンを押して入力内容を確定してください。

10 ファクスの高度な設定

本章で説明するファクスの高度なセットアップ・オプションには、以下のものがあります：

- **番号を自動的にリダイヤルする**
- **エラー訂正モード（ECM）の使用**
- **自動縮小機能の設定**
- **応答呼び出し音のパターン（着信識別音）の変更**
- **短縮ダイヤルのセットアップ**
- **日付と時刻の設定**
- **レポートの印刷**

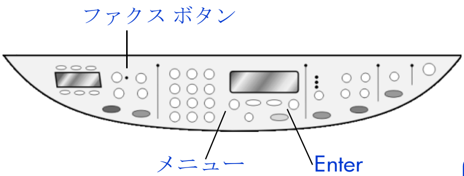
フロントパネルの［ファクス ノ コウドナ セッテイ］メニュー、［タンシュク ダイヤル ノ セッテイ］メニュー、＜ FAX ＞ボタンを使って、すべてのファクスの高度な設定オプションにアクセスできます。

6：ファクス ノ コウドナ セッテイ

1：ジドウ レポート セットアップ
2：ヨビダシオン ノ パターン
3：ビジー リダイヤル スル
4：オウトウナシ リダイヤル スル
5：ジドウ シュクショウ
6：バックアップ ファクス ジュシン
7：エラー ホセイ モード
8：サイレント ケンシュツ

4：タンシュク ダイヤル ノ セッテイ

1: コベツ ノ タンシュク ダイヤル
2：グループ タンシュク ダイヤル
3: タンシュク ダイヤル ノ サクジョ
4：タンシュク ダイヤル リスト ヲ インサツ



＜メニュー＞を押し、それから［**6**］を押せば、［ファクス ノ コウドナ セッテイ］オプションを表示するか、または、［**4**］を押し、［タンシュク ダイヤル ノ セッテイ］メニューを表示します。
目的の設定に移動するには、◀ および ▶ を押してください。
表示されたオプションを選択するには＜ Enter ＞ボタンを押します。

番号を自動的にリダイヤルする

HP Officejet を、ビジー状態あるいは応答のない番号に自動的にリダイヤルするよう設定できます。［ビジー リダイヤル スル］のデフォルト設定は［リダイヤルスル］です。［オウトウ ナシ リダイヤル スル］のデフォルト設定は［リダイヤルシナイ］です。ビジー リダイヤル時のリダイヤル回数は、5 回、応答なし リダイヤル時のリダイヤル回数は、1 回です。

1 ＜メニュー＞ボタンを押します。
2 ［6］を押し、次に［3］を押します。
  これで［ファクス ノ コウドナ セッテイ］メニューが選択され、それから［ビジー リダイヤル スル］オプションが選択されます。
3 を押して［リダイヤルスル］または［リダイヤルシナイ］を表示します。
4 目的の設定が表示されたら、＜ Enter ＞を押して選択します。
5 ＜メニュー＞ボタンを押します。
6 ［6］を押し、次に［4］を押します。
  これで［ファクス ノ コウドナ セッテイ］メニューが選択され、それから［オウトウ ナシ リダイヤル スル］オプションが選択されます。
7 を押して［リダイヤルスル］または［リダイヤルシナイ］を表示します。
8 目的の設定が表示されたら、＜ Enter ＞を押して選択します。

エラー訂正モード（ECM）の使用

ECM を使用すると、データ伝送中に発生したエラーを検出し、誤った部分を再伝送するよう自動的に要求するため、品質の悪い電話回線が原因でデータが欠落してしまうのを防ぐことができます。品質の悪い電話回線を使っている場合、ECM を使うことで送信時間と電話料金は増えますが、送信するデータの信頼性が上がります。ECM を使うことで電話料金が増えますが、電話料金を安く押さえるためならデータの品質が下がってもよいという場合は ECM をオフにしてください（デフォルト設定はオンです）。

1 ＜メニュー＞ボタンを押します。

2 ［6］を押し、次に［7］を押します。

これで［ファクス ノ コウドナ セッテイ］が選択され、それから［エラー ホセイ モード］が選択されます。

3 ［オフ］と［オン］を切り替えるには  を押してください。

4 選択した設定を使用するには＜ Enter ＞ボタンを押します。

ファックスの高度な設定

自動縮小機能の設定

この設定では、受信したファクスがデフォルトの用紙サイズよりも大きい場合に HP Officejet で行われる処理を決定します。この設定をオンにすると (デフォルト)、1 ページに収まるよう画像が縮小されます。この機能がオフになっている場合は、1 ページ目に収まりきらなかった情報が 2 ページ目に印刷されます。

1 ＜メニュー＞ボタンを押します。

2 ［6］を押し、次に［5］を押します。
これで［ファクス ノ コウドナ セッテイ］が選択され、それから［ジドウ シュクショウ］が選択されます。

3 ［オフ］と［オン］を切り替えるには を押してください。

4 選択した設定を使用するには＜ Enter ＞ボタンを押します。

応答呼び出し音のパターン（着信識別音）の変更

着信識別音とは、1 つの回線に複数の電話番号を持たせることを可能にする機能で、通常は電話会社が提供していて追加料金を払うことで利用できます。すべての地域で利用できるわけではありません。各番号にはそれぞれ特有の呼び出し音のパターンが割り当てられます。このサービスを利用しない場合は、HP Officejet の設定はデフォルトの［スベテ ノ ヨビダシ］のままにしておいてください。

着信識別音が設定されている電話回線に HP Officejet を接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音のパターンとファクス着信の呼び出し音のパターンをそれぞれ別に割り当ててもらってください（ファクス番号にはダブル呼び出し音あるいはトリプル呼び出し音を割り当てるのが一番よいでしょう）。

1. HP Officejet が自動的に応答するよう設定されていることを確認してください。
2. ＜メニュー＞ボタンを押します。
3. ［6］を押し、次に［2］を押します。

   これで［ファクス ノ コウドナ セッテイ］が選択され、それから［ヨビダシオン ノ パターン］が選択されます。
4. 設定オプションをスクロールするには ▶ を押します。［スベテ ノ ヨビダシ］，［ヨビダシ 1 カイ］、［ヨビダシ 2 カイ］、［ヨビダシ 3 カイ］、および［2 カイ & 3 カイ］。
5. 電話会社がこの電話番号に割り当てた呼び出し音のパターンが表示されたら、＜ Enter ＞ ボタンを押してください。

   ヒント： ［ヨビダシ 2 カイ］または［ヨビダシ 3 カイ］を使用するようお奨めします。

短縮ダイヤルのセットアップ

HP Officejet あるいはコンピュータを使って、よく使うファクス番号を登録しておくことができます。これにより、フロント パネルの <短縮ダイヤル> ボタン、またはワンタッチ短縮ダイヤルボタンを押して、登録しておいたファクス番号をダイヤルすることができます。短縮ダイヤルのエントリは最大で 100 件まで作成できます(HP Officejet モデルによって異なります)。

詳細については、HP フォト イメージング ヘルプの［ファクス機能を使用する］の［短縮ダイヤルの設定］の項目を参照してください。

ご注意： ファクスヘッダを作成するとき、漢字はサポートされておりません。片仮名または平仮名を使用してください。また平仮名で入力しても片仮名に変換されます。漢字を使用すると、画面上及びフロントパネルで ？？？と表示されます。

ご注意： 片仮名は［短縮ダイヤルレポート］では表示されません。

個々の短縮ダイヤル エントリの作成

頻繁に使用するファクス番号のために個別短縮ダイヤル エントリを入力することができます。

1 <メニュー>ボタンを押します。
2 ［4］を押し、次に［1］を押します。

   これで［タンシュク ダイヤル ノ セッテイ］メニューが選択され、それから［コベツ ノ タンシュク ダイヤル］オプションが選択されます。

   まだ登録されていない短縮ダイヤル エントリがディスプレイに表示されます。
3 表示された短縮ダイヤル エントリを選択するには <Enter> ボタンを押します。
4 その短縮ダイヤル番号に登録するファクス番号を入力し、< Enter > ボタンを押します。

   ヒント： ファクス番号の中に 2 秒ポーズを入れるには、<記号> ボタンをダッシュ［-］が表示されるまで押してください。
5 個人の、あるいは企業の名前を入力し、< Enter > ボタンを押します。

   詳しくは、**96 ページの「文字入力のヒント」**を参照してください。
6 ［マダ ニュウリョク シマスカ？］が表示されたら、別の番号をセットアップする場合は［1］（はい）を、終了する場合は［2］（いいえ）を押します。

短縮ダイヤル グループの作成

この機能を使用すると、個別の短縮ダイヤル エントリを使用して、20 件までグループ　エントリを作成することが可能です。短縮ダイヤルのボタンを押下するだけで、特定のグループに対してファクスを送信することができます。

短縮ダイアル グループのファクス番号を使用する前に、このファクス番号に対して短縮ダイヤル エントリをあらかじめ割り当てる必要があります。個別の短縮ダイヤル エントリを追加することは可能ですが、ある短縮ダイヤル グループを別の短縮ダイアル グループに追加することはできません。

1　<メニュー>ボタンを押します。

2　[4] を押し、次に [2] を押します。

　これで [タンシュク ダイヤル ノ セッテイ] が選択され、それから [グループ ノ タンシュク ダイヤル] が選択されます。

3　次のいずれかを選択します。

- これが最初のグループである場合、まだ登録されていない番号が表示されます。< Enter >を押して選択を確定します。
- これが最初のグループでない場合、[1= シンキ 2= ヘンシュウ] が表示されます。[1] を押し、新しいグループを作成します。まだ登録されていない番号がディスプレイに表示されます。< Enter >を押して選択を確定します。

4　[1 ノ 20 ヲ ツイカ] が表示されたら、目的な番号が表示されるまで を押し、< Enter > を押して選択します。

　選択された番号と対応する名前がディスプレイに表示されます。

5　次のいずれかを選択します。

- 追加するエントリが表示されたら、< Enter > を押し、グループに追加します。
- 別のエントリを選択するには、目的の番号が表示されるまで、 を押し、< Enter > を押して選択します。

6　[マダ ツイカシマスカ ?] が表示されたら、グループに別の番号を追加する場合は [1] を押し、[はい] を選択し、または [2] を押し、[いいえ] を選択します。

7　グループに短縮番号を追加した場合、グループの名前を入力してください。

　詳しくは、96 ページの「**文字入力のヒント**」を参照してください。

8　< Enter >を押してグループを保存します。

9　[ベツ グループ サクセイ ?] が表示されたら、別のグループを作成する場合は [1]（はい）を、終了する場合は [2]（いいえ）を押します。

グループに受信者を追加するか削除する

既存のグループの番号を追加することもできますし、削除することもできます。

1　<メニュー>ボタンを押します。

2　[4] を押し、次に [2] を押します。

　これで [タンシュク ダイヤル ノ セッテイ] メニューが選択され、それから [グループ タンシュク ダイヤル] メニューが選択されます。

3　[1= シンキ 2= ヘンシュウ] が表示されたら、[2] を押します。

4　編集するグループが表示されるまで、 を押し、それから < Enter >を押します。

　そのグループの最初の短縮ダイヤルが表示されます。

5　グループのエントリを削除するには、[1] を押します。エントリを削除しない場合は、[2] を押します。

6 ［シンキ ニ ツイカ？］が表示されると、次のいずれかを選択します。
   - グループに新しいエントリを追加する場合、［1］を押し、それから **94 ページの「個々の短縮ダイヤル エントリの作成」**を参照してください。
   - 個別の番号を追加しない場合は、［2］を押し、グループ名を編集するか、< Enter > を押し、現在の名前で保存します。

短縮ダイヤル エントリの削除

1 <メニュー>ボタンを押します。
2 ［4］を押し、次に［3］を押します。
   これで［タンシュク ダイヤル ノ セッテイ］メニューが選択され、それから［タンシュク ダイヤル ノ サクジョ］オプションが選択されます。
   登録した短縮ダイヤル エントリがディスプレイに表示されます。
3 次のいずれかを選択します。
   - 削除したいエントリまたはグループが表示されると、< Enter > を押して削除します。
   - 別の番号を選択するには、目的の短縮-ダイヤル エントリまたはグループが表示されるまで、◄ または ► を押し、それから、< Enter > を押して選択を確認します。

文字入力のヒント

フロントパネルのキーパッドを使って文字を入力する方法を次のリストに示します。

- 名前の文字に対応するキーパッドの数字を押します。

  ABC (2)　これらの文字はこの数字に対応しています。他の文字に関しても同様です。

- 複数回ボタンを押すとまずカタカナが出てきて、それから大文字で出てきます。単語の最初の文字は自動的に大文字になります。

  JKL (5)

この文字を出すには：	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5
［5］をこれだけの回数押す：	1	2	3	4	5	6	7	8	9

- 正しい文字が出てきたら ► を押し、それから、名前でその次にくる文字に対応する数字ボタンを押します。正しい文字が出てくるまでまた何回か数字ボタンを押してください。
- カーソルは、最後にボタンが押されてから 1．5 秒後に自動的に右に移動します。
- スペースを挿入するには <スペース（#）> ボタンを押してください。
- @ などの記号を入力するには、<記号（*）> ボタンを繰り返し押して、使用可能な記号のリストをスクロールします。記号は *, -, &, ., / (), ', =, #, @, _, !。
- 間違えた場合は、◄ を押してクリアし、それから正しく入力してください。
- 文字の入力が終わったら、< Enter > ボタンを押して入力内容を確定してください。

レポートの印刷

HP Officejet を、エラー レポートを印刷し、かつファクスの送受信のたびに確認のレポートを印刷するよう設定できます。また、必要なときにレポートを手動で印刷することもできます。

> **ご注意：** ファクスのレポートは英語で印刷します。翻訳は **98 ページの「ファクス レポートの理解」**を参照して下さい。

自動的なレポートを生成する

1. ＜メニュー＞ボタンを押します。
2. [3] を押し、次に [6] を押します。

   これで [プリント レポート] が選択され、それから [ジドウ レポート セットアップ] が選択されます。
3. レポートには次のような種類があり、▶ を押すことでスクロールできます。
   - [スベテ ノ エラー]、各種ファクス エラーが発生するたびにレポートが印刷されます（デフォルト）。
   - [ソウシン エラー]、送信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。
   - [ジュシン エラー]、受信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。
   - [スベテ ノ ファクス]、ファクスの送受信が行われるたびに確認のレポートが印刷されます。
   - [ソウシン ノミ]、ファクスが送信されるたびにレポートが印刷されます。
   - [オフ]、ファクス レポートは自動的に印刷されません。
4. 設定したいオプションが表示されたら < Enter > を押してください。

手動でレポートを生成する

1. ＜メニュー＞を押し、次に [3] を押します。

   これで、[プリント レポート] メニューが選択されます。
2. レポートには次のような種類があり、▶ を押すことでスクロールできます。
   - [1：サイゴ ノ ショリ]、最後に行われたファクス送信のステータスが印刷されます。
   - [2：ファクス ログ]、最近行われた、ほぼ 30 件のファクス送受信の一覧が印刷されます。
   - [3：タンシュク ダイヤル イチラン]、個人またはグループのメンバーの短縮番号の一覧が印刷されます。
   - [4：メニュー ノ セッテイ]、メニュー システム全体の概略図、および現在の設定の一覧を印刷します。
   - [5：セルフテスト レポート]、セルフテスト レポートを印刷します。
   - [6：ジドウ レポート セットアップ]、**97 ページの「自動的なレポートを生成する」**で説明されている自動レポート設定の方法が印刷されます。
3. 印刷したいオプションを選択し、< Enter > ボタンを押してください。

ファクス レポートの理解

下記に HP Officejet から利用できるレポートを示します。各レポート中にみられる英語の用語について、以下の表に対訳を掲載します。ご参照ください。

最後の処理

最後の処理のレポートでは、以下の情報を記載しました：

英語	日本語の翻訳
Last Transaction	最後の処理
Date	日付
Time	時刻
Type	種類
Identification	識別
Duration	期間
Pages	ページ
Result	結果

ファクス ログ

ファクス ログのレポートでは、以下の情報を記載しました：

英語	日本語の翻訳
Last 30 Transactions	最後 30 件の処理
Date	日付
Time	時刻
Type	種類
Identification	識別
Duration	期間
Pages	ページ
Result	結果

短縮ダイヤル一覧

短縮ダイヤルエントリを作成するときにカタカナを使用した場合、これらのエントリは［短縮ダイヤルのレポート］に表示しません。

［短縮ダイヤル一覧］では、次の情報が記載されました。

英語	日本語の翻訳
Speed Dial Report	短縮ダイヤル一覧

英語	日本語の翻訳
Individuals	個別
Speed Dial	短縮ダイヤル
Name	名前
Destination	送信先
Groups	グループ
Speed Dial	短縮ダイヤル
Group Name/Members	グループ名 / メンバー
Destination	送信先
One-touch Dialing Overlay	ワンタッチ ダイヤル オーバレイ

メニュー設定

メニュー レポートには、HP Officejet に指定可能なメニュー設定を表示します。前後をアスタリスク (*) で挿まれた設定項目が、現在の設定です。

英語	日本語の翻訳
1:Copy Setup	1: コピーのセットアップ
1:Enhancements	1：強調
Text	テキスト
Photo	写真
Mixed	混在
None	なし
2:Paper Size	2：用紙サイズ
Letter	レター
A4	A4
Legal	リーガル
3:Color Intensity	3：カラー強度
oooXooo	oooXooo
ooooXoo	ooooXoo
oooooXo	oooooXo
ooooooX	ooooooX
Xoooooo	Xoooooo
oXooooo	oXooooo
ooXoooo	ooXoooo
4:Set Copy Defaults	4：コピーのデフォルトとして設定
5:Restore Copy Factory Settings	5：工場出荷時の初期設定に戻す

英語	日本語の翻訳
2: ファクスの機能	2: ファクスの機能
1:Scan and Fax Black Only	1：モノクロのみでスキャンとファクス
2:Send Fax Later Black Only	2：モノクロのみで後でファクス送信
3:Reprint Faxes in Memory	3：メモリ内のファクスを再度印刷
3:Print Report	3：プリント レポート
1:Last Transaction	1：最後の処理
2:Fax Log	2：ファクス ログ
3:Speed Dial List	3：短縮ダイヤル一覧
4:Menu Settings	4：メニューの設定
5:Self-Test Report	5：セルフテスト レポート
6:Automatic Reports Setup	6：自動レポートセットアップ
Every Error	すべてのエラー
Send Error	送信エラー
Receive Error	受信エラー
Every Fax	すべてのファクス
Send Only	送信のみ
Off	オフ
4:Speed Dial Setup	4：短縮ダイヤルの設定
1:Individual Speed Dial	1：個別の短縮ダイヤル
2:Group Speed Dial	2：グループの短縮ダイヤル
3:Delete Speed Dial	3：短縮ダイヤルの削除
4:Print Speed Dial List	4：短縮ダイヤルリストの印刷
5:Basic Fax Setup	5：ファクスの標準設定
1:Date and Time	1：日付と時刻
2:Fax Header	2：ファクス ヘッダ
3:Rings to Answer	3：応答するまでの呼び出し回数
4:Paper Size	4：用紙サイズ
Letter	レター
A4	A4
Legal	リーガル
5:Tone or Pulse Dialing	5: トーンまたはパルス ダイヤル
Tone	トーン
Pulse	パルス

英語	日本語の翻訳
6:Advanced Fax Setup	6：ファクスの高度な設定
1:Automatic Reports Setup	1：自動レポートセットアップ
Every Error	すべてのエラー
Send Error	送信エラー
Receive Error	受信エラー
Every Fax	すべてのファクス
Send Only	送信のみ
Off	オフ
2:Answer Ring Pattern	2：呼び出し音のパターン
All Rings	すべての呼び出し
Single Rings	呼び出し１回
Double Rings	呼び出し２回
Triple Rings	呼び出し３回
Double and Triple Rings	呼び出し２回&３回
3:Busy Redial	3：ビジーリダイヤルする
No Redial	リダイヤルしない
Redial	リダイヤル
4:No Answer Redial	4：応答なしリダイヤルする
No Redial	リダイヤルしない
Redial	リダイヤル
5:Automatic Reduction	5：自動縮小
Off	オフ
On	オン
6:Backup Fax Reception	6：バックアップファクス受信
Off	オフ
On	オン
7:Error Correction Mode	7：エラー訂正モード
Off	オフ
On	オン
8:Silent Detect	8：サイレント検出
Off	オフ
On	オン

英語	日本語の翻訳
7:Maintenance	7：メンテナンス
1:Clean Print Cartridges	1：プリントカートリッジのクリーニング
2:Align Print Cartridges	2：プリント カートリッジの調整
3:Restore Factory Defaults	3：出荷時デフォルト値に戻す
4:Set Language and Country/Region	4：言語と国 / 地域の設定
5:Ring and Beep Volume	5：呼び出し音の音量
Soft	小さい
Loud	大きい
Off	オフ
6:Set Power Save Mode Time	6：省電力の時間を設定
After:12 hours	12 時間後
After:1 hour	1 時間後
After:4 hours	4 時間後
After:8 hours	8 時間後
7:Set Scroll Speed	7：スクロール速度の設定
Slow	遅く
Normal	普通
Fast	速く
8: Set View Angle	8：表示角度の設定
Xoooo	Xoooo
oXooo	oXooo
ooXoo	ooXoo
oooXo	oooXo
ooooX	ooooX

11 ファクス接続オプション

本章では、以下の構成におけるファクスのセットアップ方法について説明します：

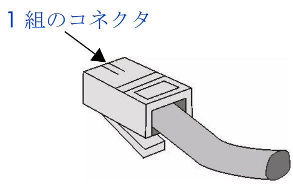
- 専用の電話回線
- モデムに接続されている専用の電話回線
- モデムに接続されている共有回線
- 共有回線に電話が設置されている
- 共有の電話回線に留守番電話が設置されている
- コンピュータのボイスメールに接続されている共有回線
- 着信識別音が設定されている共有の電話回線
- ISDN 回線
- ADSL 回線

定義

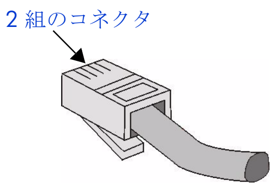
専用の電話回線：データやファクス転送を送信や受信するときに使用する電話回線です。モデムもこの回線につながっている可能性があります。

共有回線：音声とファクスの両方の呼び出しを共有する電話回線です。この線には通常、複数のデバイスが接続されています。たとえば、留守番電話、コンピュータ ボイスメールまたは電話。

1 ペア対 **2** ペアの電話コード：HP Officejet に付属する電話線は、1 ペア (2 線式) の電話コードです。HP Officejet のポート 1 から、壁側のモジュラージャックにコードを接続するときに、このコードを使用してください。

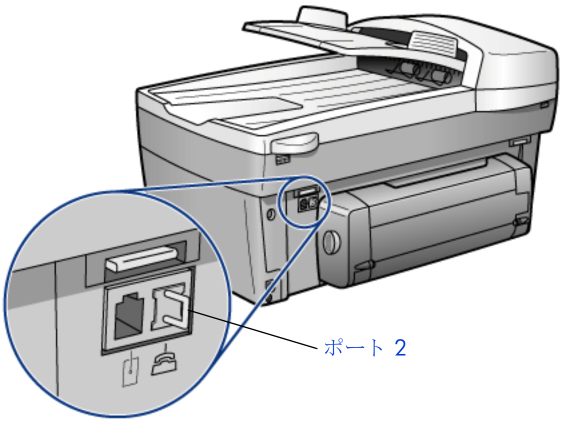


1 ペア電話コード



2 ペア電話コード

次のページの図に示すように、1 ペアまたは 2 ペア電話コードを使って、ほかのデバイスを HP Officejet のポート 2 に接続することができます。



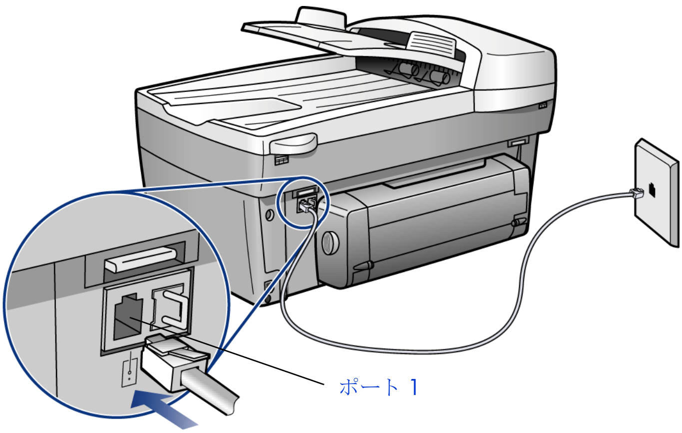
1 ペアまたは **2** ペア電話コードを使って、ほかのデバイスをポート **2** に接続する

ヒント： ポート 2 を使用する場合は、接続が切断されていることを確認してください。

専用の電話回線

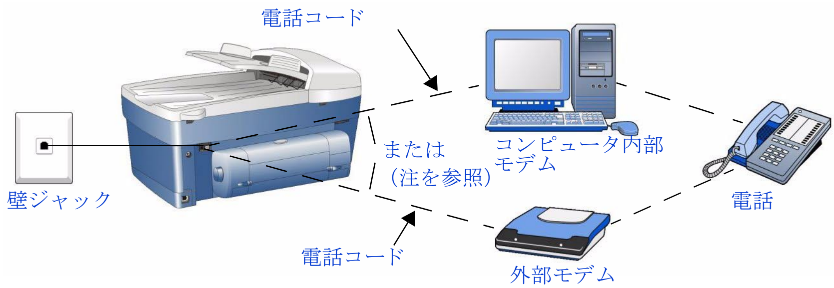
そのほかの機械が接続されていない専用の電話回線と、ご使用の HP Officejet とを接続するには、下の図に示すように、HP Officejet に付属の電話コードの一端を壁側のジャックに差し込み、もう一方の端を HP Officejet の後部にある、壁ジャックのポート（ポート 1）に差し込んでください。左側のポートはポート 1 です。

注意！ 正しく動作させるために、HP Officejet に付属している電話コードを必ずご利用ください。



モデムに接続されている専用の電話回線

内部モデムまたは外部モデムが接続されている専用の電話回線と、HP Officejet とを接続する場合、次の処理を行ってください。



ご注意： 図中の“**または**”という単語は、外付けモデムまたはコンピュータ内部のモデムに接続できることを意味しています。

1 モデムから壁ジャックに接続する電話コードを見つけてください。上の図に示すように、ご使用のモデムは外部モデム**でなければ** コンピュータ内部モデムです。

2 電話コードを壁側のジャックから抜き出し、HP Officejet の後部にある電話ポート（ポート 2）に差し込んでください。右側のポートはポート 2 です。

3 HP Officejet に付属の 1 ペア電話コードを見つけてください。

   注意！ 正しく動作させるために、HP Officejet に付属している電話コードを必ずご利用ください。

4 コードの端を壁ジャックに差し込み、もう一方の端を HP Officejet の背面にある壁ジャックポート（ポート 1）に差し込みます。左側のポートはポート 1 です。

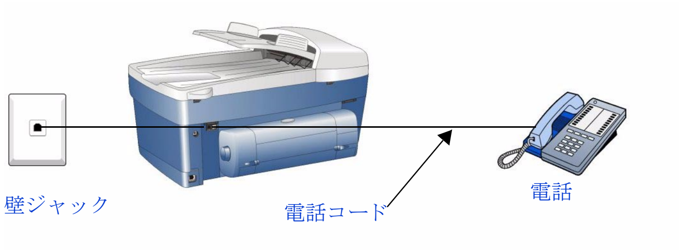
   ヒント： ファクスを正しく受信させるために、モデムのソフトウェアをファクス自動受信に設定しないでください。ファクスを自動的に受信するために、HP Officejet の**自動応答**をオンにする必要があります。

   詳しくは、**82 ページの「ファクスを自動的に受信する」**を参照してください。HP Officejet の呼出回数は、任意に設定することができます。HP Officejet が設定された呼び出し回数で応答して、送信先機器へファクスのトーン信号を送り始めます。

   ヒント： モデムをほかのタスクで使用しているとき、ファクスの送信と受信はできません。ファクスを送信または受信する前に、インターネット接続が切断されていることを確認してください。

共有回線に電話が設置されている

共有の電話回線に HP Officejet を接続するには、次の手順に従ってください。



1 コードを電話から HP Officejet の背面にある電話ポート（ポート 2）に接続してください。右側のポートはポート 2 です。

2 HP Officejet に付属の 1 ペア電話コードを見つけてください。

注意！ 正しく動作させるために、HP Officejet に付属している電話コードを必ずご利用ください。

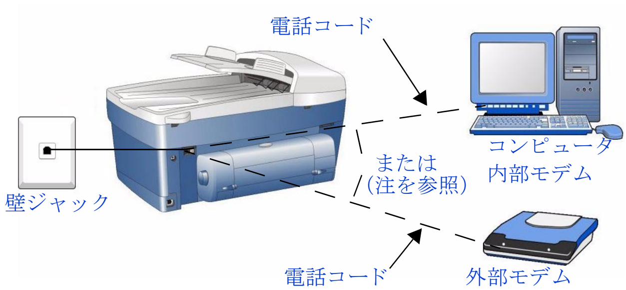
3 コードの端を壁ジャックに差し込み、もう一方の端を HP Officejet の背面にある壁ジャックポート（ポート 1）に差し込みます。左側のポートはポート 1 です。

ヒント： ［自動応答］がオンになっている場合、HP Officejet は自動的に応答します。詳しくは、**82 ページの「ファクスを自動的に受信する」**を参照してください。

［自動応答］がオンになっていない場合、手動でファクスを受信しなければなりません。詳しくは、**82 ページの「ファクスを手動で受信する」**を参照してください。

モデムに接続されている共有回線

内部モデムまたは外部モデムが接続されている共有回線と、HP Officejet とを接続する場合、次の処理を行ってください。



ご注意： 図中の“または”という単語は、外付けモデムまたはコンピュータ内部のモデムに接続できることを意味しています。

1 モデムから壁ジャックに接続する電話コードを見つけてください。前ページの図に示すように、ご使用のモデムは外部モデム**でなければ** コンピュータ内部モデムです。

2 コードを壁側のジャックから抜き出し、HP Officejet の後部にある電話ポート（ポート 2）に差し込んでください。右側のポートはポート 2 です。

3 HP Officejet に付属の 1 ペア電話コードを見つけてください。

注意！ 正しく動作させるために、HP Officejet に付属している電話コードを必ずご利用ください。

4 コードの端を壁ジャックに差し込み、もう一方の端を HP Officejet の背面にある壁ジャックポート（ポート 1）に差し込みます。左側のポートはポート 1 です。

ヒント： ファクスを正しく受信させるために、モデムのソフトウェアをファクス自動受信に設定しないでください。ファクスを自動的に受信するために、HP Officejet の**自動応答**をオンにする必要があります。

詳しくは、**82 ページの**「ファクスを自動的に受信する」を参照してください。HP Officejet の呼出回数は、任意に設定することができます。HP Officejet が設定された呼び出し回数で応答して、送信先機器へファクスのトーン信号を送り始めます。

ヒント： モデムをほかのタスクで使用しているとき、ファクスの送信と受信はできません。ファクスを送信または受信する前に、インターネット接続が切断されていることを確認してください。

共有の電話回線に留守番電話が設置されている

留守番電話が接続されている共有回線と、HP Officejet とを接続する場合、次の処理を行ってください。



1 留守番電話から、HP Officejet の後部にある電話ポート（ポート 2）に、電話回線を接続します。右側のポートはポート 2 です。

ご注意： ファクスを正しく受信させるために、以下に示すように、留守番電話を直接 HP Officejet に接続する必要があります。

2 HP Officejet に付属の 1 ペア電話コードを見つけてください。

注意！ 正しく動作させるために、HP Officejet に付属している電話コードを必ずご利用ください。

ファックス接続オプション

3 コードの端を壁ジャックに差し込み、もう一方の端を HP Officejet の背面にある壁ジャックポート（ポート 1）に差し込みます。左側のポートはポート 1 です。

4 **留守番電話に電話が内蔵されていない場合** 、コードを電話から留守番電話の後部にあるポートに接続してください。

5 留守番電話の呼出回数を、ご使用の HP Officejet に設定された呼出回数以下に設定してください。また、着信時に再生されるメッセージが 10 秒以内であることを確認してください。そうしない場合は、正しくファクスが受信できない可能性があります。

ご注意： ファクスを自動的に受信するために、**自動応答**をオンにする必要があります。詳しくは、82 ページの「ファクスを自動的に受信する」を参照してください。

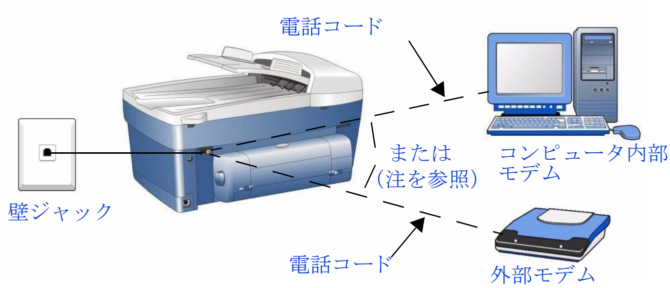
設定した回数の呼出の後、留守番電話が受話します。留守番電話がメッセージを再生する間、HP Officejet は「リッスン」状態になります。HP Officejet はファクスのトーン信号を検出したら、留守番電話を中断し、ファクスを受信します。

ヒント： Officejet を留守番電話と一緒に使用するには：

- 再生するメッセージをできるだけ短くしてください。10 秒以内にしてください。
- 送信メッセージを記録する際には、Officejet がファックスのトーンを検出しやすいように、穏やかにゆっくりと話してください。

コンピュータのボイスメールに接続されている共有回線

コンピュータのボイスメールに接続されている共有の電話回線と、HP Officejet とを接続するとき、次の手順に従ってください。



ご注意： 図中の“**または**”という単語は、外付けモデムまたはコンピュータ内部のモデムに接続できることを意味しています。

1 モデムから壁ジャックに接続する電話コードを見つけてください。下の図に示すように、ご使用のモデムは外部モデム**でなければ** コンピュータ内部モデムです。

2 コードを壁側のジャックから抜き出し、HP Officejet の後部にある電話ポート（ポート 2）に差し込んでください。右側のポートはポート 2 です。

ご注意： 説明に従って、コンピュータ ボイスメール電話コードを直接 HP Officejet に接続しないと、ファクスが正しく受信できない可能性があります。

3 HP Officejet に付属の 1 ペア電話コードを見つけてください。

注意！ 正しく動作させるために、HP Officejet に付属している電話コードを必ずご利用ください。

4 コードの端を壁ジャックに差し込み、もう一方の端を HP Officejet の背面にある壁ジャックポート（ポート 1）に差し込みます。左側のポートはポート 1 です。

5 ボイスメール ソフトウェアの呼び出し回数を、ご使用の HP Officejet に設定された呼出回数以下に設定してください。また、着信時に再生されるメッセージが 10 秒以内であることを確認してください。そうしない場合は、正しくファクスが受信できない可能性があります。

ご注意： ファクスを自動的に受信するために、**自動応答**をオンにする必要があります。詳しくは、**82 ページの「ファクスを自動的に受信する」**を参照してください。

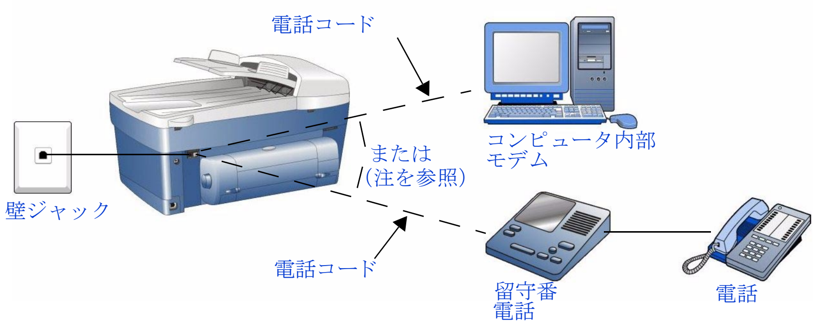
設定した回数の呼出の後、ボイスメールが受話します。ボイスメールがメッセージを再生する間、HP Officejet は「リッスン」状態になります。HP Officejet はファクスのトーン信号を検出したら、ボイスメールを中断し、ファクスを受信します。

ヒント： Officejet をコンピュータのボイスメールと一緒に使用するには：

- 再生するメッセージをできるだけ短くしてください。10 秒以内にしてください。
- 送信メッセージを記録する際には、Officejet がファックスのトーンを検出しやすいように、穏やかにゆっくりと話してください。

着信識別音が設定されている共有の電話回線

電話会社が提供する着信識別音サービスを使用する電話回線と、HP Officejet とを接続する場合、次の手順に従ってください。



ご注意： 図中の“**または**”という単語は、外付けモデムまたはコンピュータ内部のモデムに接続できることを意味しています。

ファックス接続オプション

着信識別音サービスは、一部の地域のみで提供されているサービスで、同一電話回線に 2 つまたは 3 つの電話番号を割り当てることができます。それぞれの電話番号に異なる呼出音を持たせて、着信時にどの電話番号が呼び出されているかの識別を可能にします。

着信識別音のセットアップについて詳しく知りたいときは、**93 ページの「応答呼び出し音のパターン（着信識別音）の変更」**を参照してください。

1 モデム**または**留守番電話（または電話）から壁ジャックに接続する電話コードを見つけてください。

2 コードを HP Officejet の背面にある電話ポート（ポート 2）に差し込んでください。右側のポートはポート 2 です。

3 HP Officejet に付属の 1 ペア電話コードを見つけてください。

   注意！ 正しく動作させるために、HP Officejet に付属している電話コードを必ずご利用ください。

4 コードを壁ジャックから、HP Officejet の背面にある壁ジャックポート（ポート 1）に接続します。左側のポートはポート 1 です。

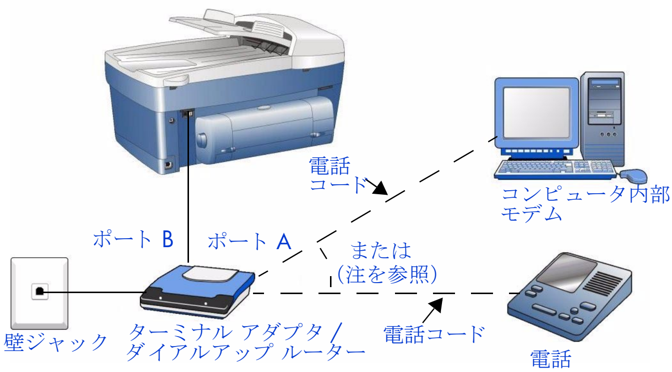
   ご注意： ファクスを自動的に受信するために、**自動応答**をオンにする必要があります。詳しくは、**82 ページの「ファクスを自動的に受信する」**を参照してください。

   この電話回線（別の電話番号）に対して、音声電話受信用の留守番電話が設定されている場合、この留守番電話の呼出回数を HP Officejet に設定されている呼出回数以上に設定してください。そうしない場合、HP Officejet はファクス呼び出しに応答することができません。

   この電話回線（別の電話番号）に内部モデムまたは外部モデムがつながっている場合、モデムのソフトウェアの、ファクスを自動的にコンピュータで受信する設定はオフにしておいてください。HP Officejet で正しくファクスが受信できなくなります。

ISDN 回線

HP Officejet を ISDN 回線に接続するとき、次の操作手順を実行します。



ご注意： 図中の“**または**”はモデムに接続しても、電話に接続してもよろしいことを意味しています。

1 HP Officejet に付属の 1 ペア電話コードを見つけてください。

注意！ 正しく動作させるために、HP Officejet に付属している電話コードを必ずご利用ください。

2 ターミナル アダプタまたはダイアルアップ ルーターのポート B から、HP Officejet の後部にある壁ジャックポート（ポート 1）に、コードを接続します。左側のポートはポート 1 です。

3 他の電話コードをターミナル アダプタまたはダイアルアップ ルーターから壁ジャックに接続します。

4 留守番電話またはモデムも使用する場合は、留守番電話**または**モデムをターミナル アダプタまたはダイアルアップ ルーターに接続してください。

留守番電話またはモデムにはポート A を、HP Officejet にはポート B をご使用ください

オプション設定：留守番電話から、HP Officejet の後部にある電話ポート（ポート 2）に電話回線を接続し、留守番電話を HP Officejet に接続することができます。右側のポートはポート 2 です。

ご注意： 留守番電話を直接 HP Officejet に接続する場合、留守番電話の呼び出し回数を、ご使用の HP Officejet に設定された呼出回数以下にしてください。 また、着信時に再生されるメッセージが 10 秒以内であることを確認してください。そうしない場合は、正しくファクスが受信できない可能性があります。

ご注意： ファクスを自動的に受信するために、**自動応答**をオンにする必要があります。詳しくは、**82 ページの「ファクスを自動的に受信する」**を参照してください。

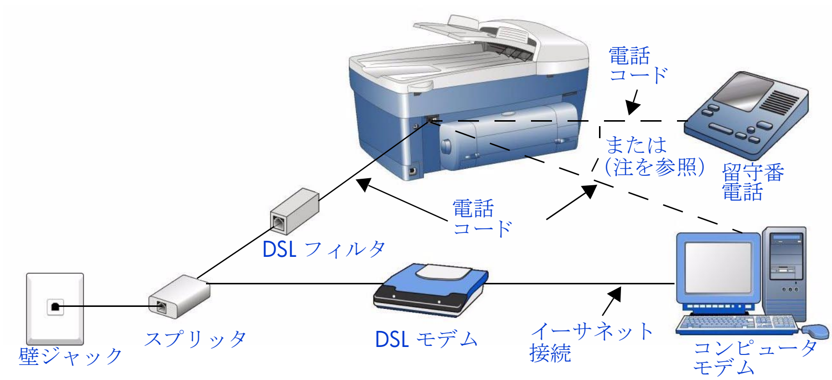
設定した回数の呼出の後、留守番電話が受話します。留守番電話がメッセージを再生する間、HP Officejet は「リッスン」状態になります。HP Officejet はファクスのトーン信号を検出したら、留守番電話を中断し、ファクスを受信します。

ヒント： Officejet を留守番電話と一緒に使用するには：

– 再生するメッセージをできるだけ短くしてください。10 秒以内にしてください。
– 送信メッセージを記録する際には、Officejet がファックスのトーンを検出しやすいように、穏やかにゆっくりと話してください。

ADSL 回線

HP Officejet を ADSL 回線に接続するとき、次の操作手順を実行します。



ご注意： “または” は、モデムに接続しても、留守番電話に接続してもよろしいことを意味しています。

セットアップ オプション

- **オプション 1**：スプリッタを使用して、DSL モデムに接続する（図に示すように）
- **オプション 2**：壁ジャックから直接 DSL フィルタに接続します（スプリッタと DSL モデムなし）。

1 HP Officejet に付属の 1 ペア電話コードを見つけてください。

注意！ 正しく動作させるために、HP Officejet に付属している電話コードを必ずご利用ください。

2 コードの端を DSL フィルタに差し込み、もう一方の端を HP Officejet の背面にある壁ジャックポート（ポート 1）に差し込みます。左側のポートはポート 1 です。

ご注意： ファクスを正しく受信させるために、以下に示すように、留守番電話を直接 HP Officejet に接続する必要があります。

3 コードを壁ジャックから DSL フィルタに接続します。

4 留守番電話も使用している場合、留守番電話から、HP Officejet の後部にある電話ポートに、電話回線を接続します。右側のポートはポート 2 です。

5 留守番電話の呼出回数を、ご使用の HP Officejet に設定された呼出回数以下に設定してください。また、着信時に再生されるメッセージが 10 秒以内であることを確認してください。そうしない場合は、正しくファクスが受信できない可能性があります。

ご注意： ファクスを自動的に受信するために、**自動応答**をオンにする必要があります。詳しくは、**82 ページの「ファクスを自動的に受信する」**を参照してください。

設定した回数の呼出の後、留守番電話が受話します。留守番電話がメッセージを再生する間、HP Officejet は「リッスン」状態になります。HP Officejet はファクスのトーン信号を検出したら、留守番電話を中断し、ファクスを受信します。

ヒント： Officejet をコンピュータのボイスメールと一緒に使用するには：

- 再生するメッセージをできるだけ短くしてください。10 秒以内にしてください。
- 送信メッセージを記録する際には、Officejet がファックスのトーンを検出しやすいように、穏やかにゆっくりと話してください。

6 DSL モデムも使用している場合、スプリッタから DSL モデムに電話回線を接続してください。

7 イーサネット ケーブルの端を DSL モデムに接続し、もう一方の端をコンピュータのイーサネット ポートに接続します。

ヒント： モデムをほかのタスクで使用しているとき、ファクスの送信と受信はできません。ファクスを送信または受信する前に、インターネット接続が切断されていることを確認してください。

12 画像の印刷

ほとんどの印刷設定は、使用する印刷プログラムか HP の ColorSmart テクノロジーにより自動的に調整されます。印刷の品質を変更したり、特定の種類の用紙やフィルムに印刷したり、特殊機能を使用したりする場合にのみ、手動で設定を変更する必要があります。

- お使いのソフトウェアからの印刷
- 印刷設定の表示
- 特別な印刷ジョブの実行
- はがきに印刷する
- 印刷ジョブの中止

お使いのソフトウェアからの印刷

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 特定の用紙の品質設定
- 印刷に推奨する用紙サイズの設定
- お使いの **hp officejet** をデフォルト プリンタとして指定する

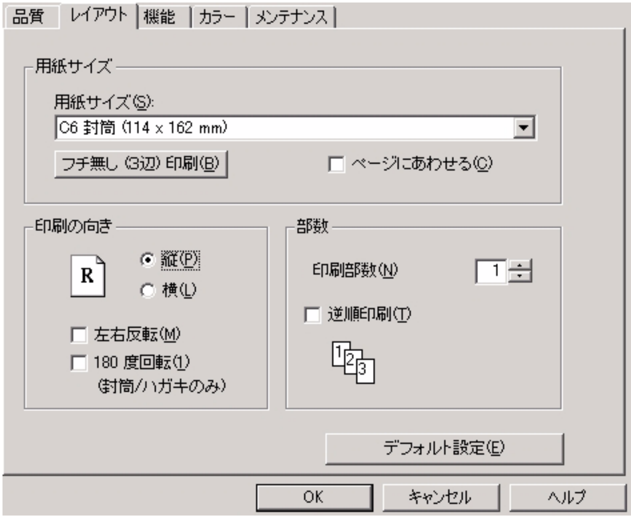
ドキュメントを作成したソフトウェアから印刷するには、次の手順を実行します。

1. 給紙トレイに適切な用紙をセットします。
2. お使いのソフトウェアの［ファイル］メニューで［印刷］を選択します。
3. ［プリンタ名］リストで HP Officejet を選択していることを確認します。



［印刷］ダイアログ ボックスでお使いの **hp officejet** を選択する

印刷設定を変更する必要がある場合、［プロパティ］ボタンをクリックします。［品質］、［レイアウト］、［機能］、および［カラー］の各タブの項目を使って、プリント ジョブに必要なオプションを選択します。



現在のプリント ジョブに対する印刷設定の調整

選択した設定は、現在の印刷ジョブにのみ適用されます。すべてのジョブに印刷設定を設定する場合は、**「印刷設定の表示」**を参照してください。

4 ［OK］をクリックして、［プロパティ］ダイアログ ボックスを閉じます。

5 ［OK］をクリックして、印刷ジョブを開始します。
HP Officejet をデフォルトのプリンタに設定するには（設定済みでない場合）、**117 ページの「お使いの hp officejet をデフォルト プリンタとして指定する」**を参照してください。

特定の用紙の品質設定

選択した用紙タイプは、正しい印刷の品質に自動的に設定されます。HP フォト 関連の用紙の場合、ご使用の HP Officejet が、くっきりと鮮やかな仕上がりとなる［高画質］を自動的に選択します。

用紙タイプ	品質の設定
普通紙	きれい
インクジェット用紙	きれい
フォト用紙	高画質
OHP フィルム	きれい
特殊用紙	きれい
ブローシャ&フライヤ用紙	きれい

印刷に推奨する用紙サイズの設定

以下に、印刷するジョブ別に推奨する用紙サイズの設定を示します。リストを見て、使用する用紙に適した定義済みの用紙サイズがあるかどうかを確認してください。

用紙タイプ	用紙サイズの設定
バナー用紙	バナー (レターまたは A4)
カード	ユーザー定義の用紙サイズ（リストに適切なサイズがない場合）
コピー紙	レターまたは A4
独自サイズの用紙	ユーザー定義の用紙サイズ
封筒	適切な標準の封筒サイズ
インクジェット用紙	レターまたは A4
アイロン プリント紙	レターまたは A4
ラベル	レターまたは A4
レターヘッド	レターまたは A4
フォト用紙	レターまたは A4
10x15cm（4x6 インチ）のフォト用紙 （タブ付きまたはタブなし）	フォト 10x15cm（4x6 インチ）（タブ付き） ふちなし、フォト 10x15cm（4x6 インチ）（タブ付き） ふちなし、フォト 10x15cm（4x6 インチ）
はがき	はがき ふちなし、はがき 往復はがき
OHP フィルム	A4 またはレター

お使いの hp officejet をデフォルト プリンタとして指定する

どのソフトウェアからでも使用できるように、お使いの HP Officejet をデフォルト プリンタとして指定することができます。

デフォルト プリンタとして指定するには

1 Windows のタスク バーで［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントして［プリンタ］をクリックします。

2 HP Officejet のアイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］を選択します。

印刷設定の表示

印刷設定を変更する場合は、現在のジョブに対して変更するか、すべてのジョブに対して変更するかを決める必要があります。印刷設定の表示方法は、設定を固定するかどうかによって異なります。

今後すべてのプリント ジョブに適用される設定値の変更

1 HP フォト イメージング ディレクタで［設定］をクリックし、［プリンタの設定］を選択します。
2 印刷設定を変更し、［OK］をクリックします。

現在の印刷ジョブに対して印刷設定を変更するには

1 お使いのソフトウェアの［ファイル］メニューから［印刷設定］、［印刷のセットアップ］、または［ページ設定］を選択します。
2 ［プリンタ名］リストからご使用の HP Officejet を選択します。
3 ［プロパティ］をクリックします。
4 ［品質］、［レイアウト］、［機能］、および［カラー］の各タブの項目を使って、プリント ジョブに必要なオプションを選択します。
5 ［OK］をクリックして、［プロパティ］ダイアログ ボックスを閉じます。
6 ［OK］をクリックして、印刷ジョブを開始します。

印刷設定の詳細については、次の項目を参照してください。

- **印刷速度を上げる / 印刷の品質を高める**
- **ページ方向の変更**
- **印刷部数の設定**
- **逆順印刷**
- **ドキュメント サイズの調整**
- **彩度、明るさ、または色調の変更**

印刷速度を上げる / 印刷の品質を高める

HP Officejet では、印刷の速度と品質を次のオプションでカスタマイズすることができます。

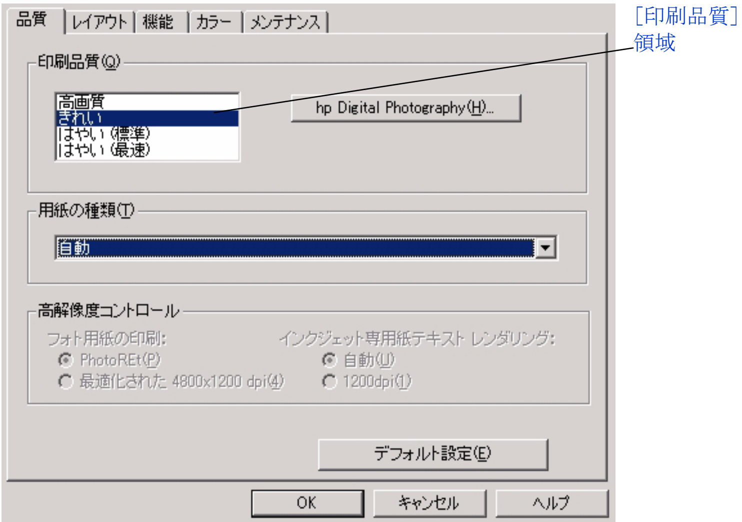
- 高画質 : ［高画質］モードでは、あらゆる用紙を高画質で印刷し、塗りつぶし領域に縞模様が発生しないように仕上げます。ただし、［高画質］の設定では、ほとんどの文書で［きれい］モードより印刷速度が低下します。
- きれい : レターに適した品質で印刷します。［きれい］モードでは、印刷が高品質で仕上がります。このモードは推奨される設定で、高い速度と品質が得られます。［きれい］は、ほとんどの用紙タイプのデフォルト設定となっています。
- はやい (標準) : ［はやい (標準)］モードは、速度と品質のバランスが良く、日常の印刷に適しています。
- はやい (最速) : ドラフト品質で印刷します。［はやい (最速)］モードでは、［きれい］の設定よりも高速に印刷されますが、色が薄く仕上がります。また、［はやい (最速)］モードを使用するとインクの使用量が少なくなるため、プリント カートリッジの交換回数も減ります。

プリンタによっては、2400 dpi 以上で印刷するオプションが備わっている場合があります。このオプションは、使用する用紙や印刷する画像によって出力の品質が左右されます。詳しくは、**126 ページの「4800 x 1200 dpi での印刷」**を参照してください。

HP Officejet は、用紙タイプの設定によって印刷の品質を自動的に設定します。詳しくは、**116 ページの「特定の用紙の品質設定」**を参照してください。

印刷速度を上げたり、印刷の品質を高めるには

1. ［プロパティ］ダイアログ ボックスで［品質］タブをクリックします。
2. ［印刷品質］領域で、次のいずれかの操作を実行します。
   - 印刷の品質を高めるには、［高画質］をクリックします。
   - レターに適した品質のほとんどの印刷ジョブでは、［きれい］をクリックします。
   - ほとんどの印刷ジョブには、［きれい］をクリックします。
   - 印刷速度を上げるには、［はやい (最速)］をクリックします。



［プロパティ］ダイアログ ボックスの［品質］タブで印刷の品質を選択する

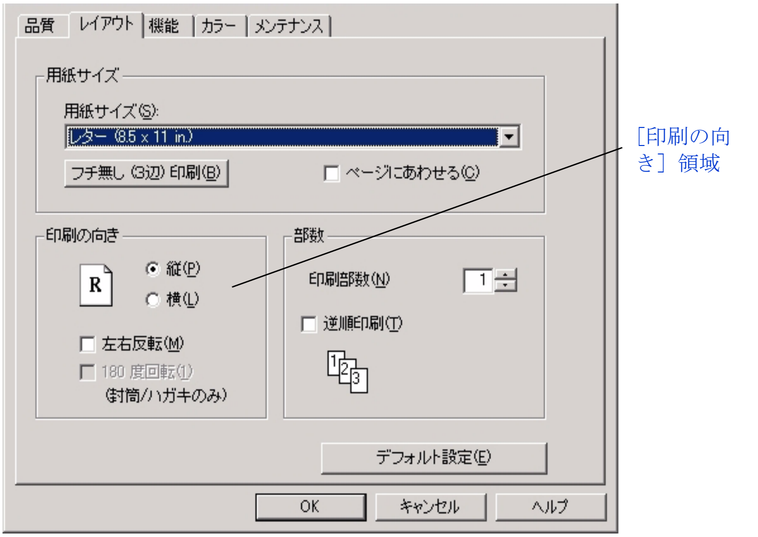
3. ［OK］をクリックします。

   ヒント： あらゆる設定での印刷は、プレミアムやフォトなどの高品質用紙を使うと品質がより向上します。

ページ方向の変更

この操作手順は、特殊な HP 用紙やカスタム サイズの用紙を使用する場合、またはお使いのソフトウェアからページの方向を設定できない場合に実行します。

1. ［プロパティ］ダイアログ ボックスで［レイアウト］タブをクリックします。
2. ［印刷の向き］領域で［縦］か［横］を選択し、［OK］をクリックします。



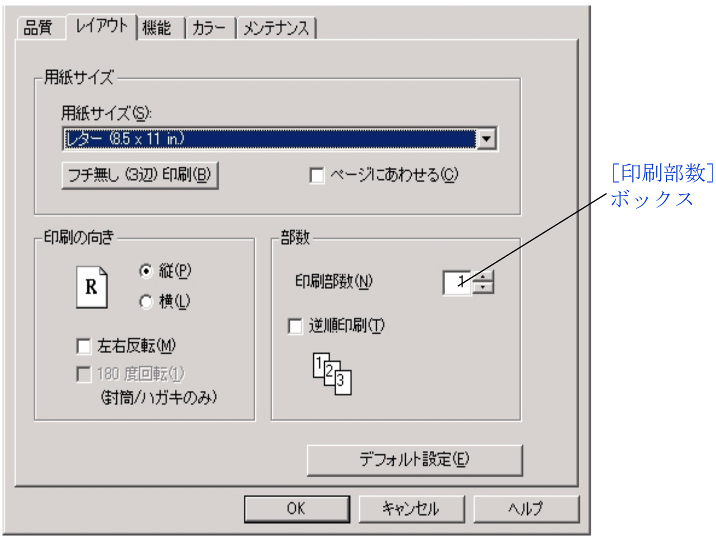
[プロパティ] ダイアログ ボックスの [レイアウト] タブの [印刷の向き] 領域

印刷部数の設定

この機能は、お使いのソフトウェアの [プロパティ] ダイアログ ボックスで、指定した部数を印刷できない場合に使用します。印刷部数は、[プロパティ] ダイアログ ボックスで設定することができます。

1 [プロパティ] ダイアログ ボックスで [レイアウト] タブをクリックします。

2 [部数] ボックスに、印刷する部数を入力または選択し、[OK] をクリックします。



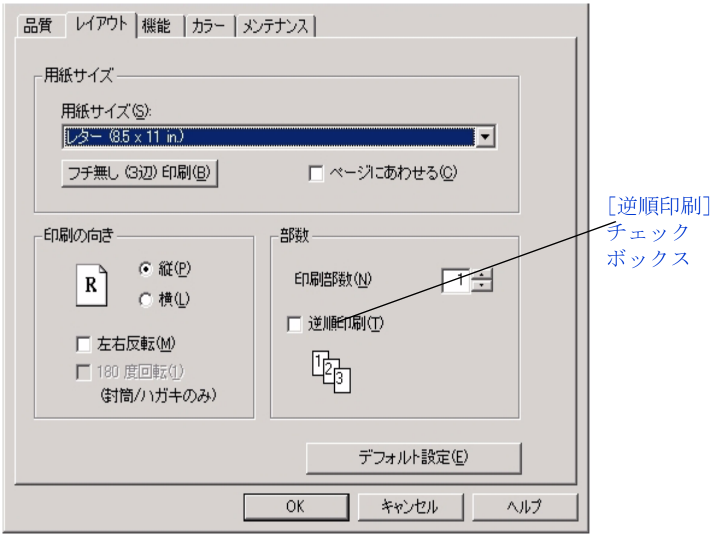
[プロパティ] ダイアログ ボックスの [レイアウト] タブでコピー部数を選択します。

逆順印刷

この機能を使って、ドキュメントを最後のページから最初のページへと印刷します。複数のコピーを印刷する場合は、1 組の印刷が完了してから次のコピーが印刷されます。

1 ［プロパティ］ダイアログ ボックスで［レイアウト］タブをクリックします。

2 ［部数］領域で、［逆順印刷］チェック ボックスをオンにし、［OK］をクリックします。



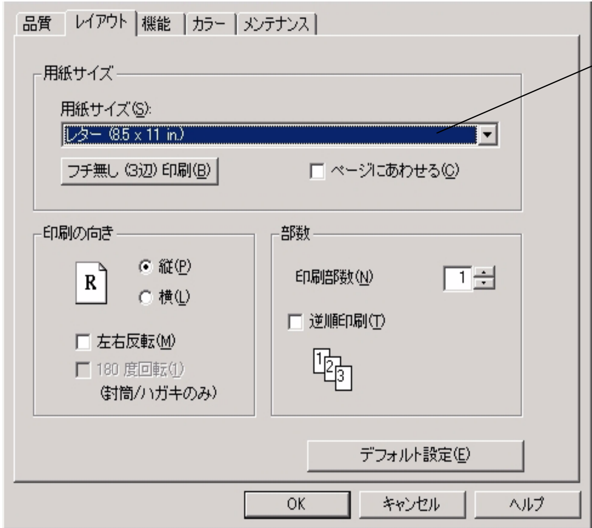
［プロパティ］ダイアログ ボックスの［レイアウト］タブにある［逆順印刷］オプション

ドキュメント サイズの調整

ドキュメントを特定のサイズに調整したり、特定の用紙サイズに合わせるには、次の手順を実行します。

1 ［プロパティ］ダイアログ ボックスで［レイアウト］タブをクリックします。

2 ［ページにあわせる］チェック ボックスをオンにします。

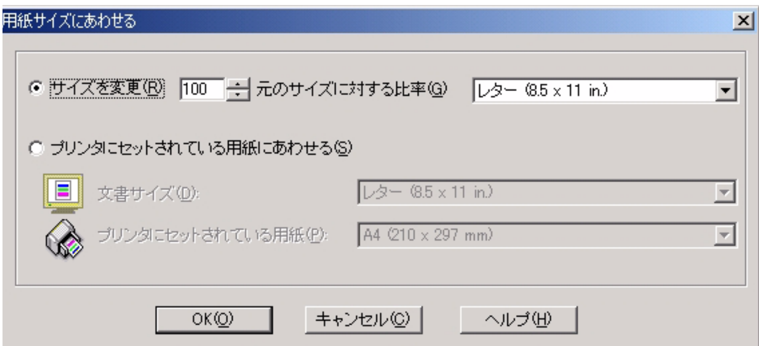


[プロパティ] ダイアログ ボックスの [レイアウト] タブにある [ページにあわせる] チェック ボックス

[用紙サイズに合わせる] ダイアログ ボックスが表示されます。

3 [用紙サイズに合わせる] ダイアログ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。

- ドキュメントのサイズを縮小するには、[サイズを変更] を選択し、原稿のサイズを基準とした縮小率を選択します。
- 特定の用紙にドキュメントをサイズ調整するには、[プリンタにセットされている用紙に合わせる] を選択します。お使いのソフトウェアでドキュメントのサイズに合った用紙サイズと、給紙トレイにセットする用紙サイズを選択します。



4 [OK] をクリックして [用紙サイズに合わせる] ダイアログ ボックスを閉じてから、もう一度 [OK] をクリックして [プロパティ] ダイアログ ボックスを閉じます。

彩度、明るさ、または色調の変更

［彩度］、［明るさ］、または［色調］のオプションを使って、色の濃度や暗さのレベルを変更することができます。*彩度*は、印刷される色の相対的な純度を示します。*明るさ*は、印刷されるドキュメントの明るさまたは暗さを示します。*色調*は、印刷される色の知覚的な暖かさ、または寒さを示します。

1 ［プロパティ］ダイアログ ボックスで［カラー］タブをクリックします。

2 スライダを使って、［彩度］、［明るさ］、または［色調］を調整します。



［プロパティ］ダイアログ ボックスの［カラー］タブ

3 ［OK］をクリックします。

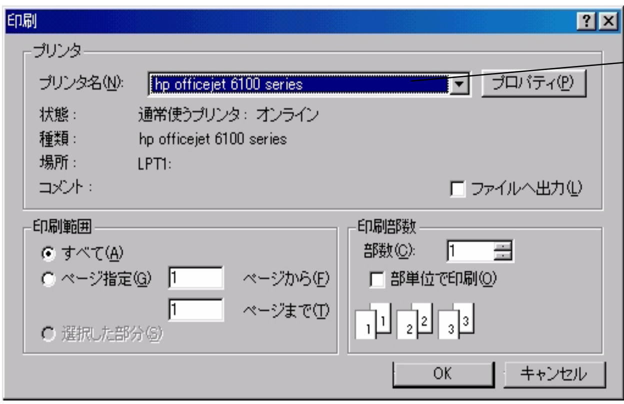
特別な印刷ジョブの実行

お使いの HP Officejet では、標準の印刷ジョブのほかに、Web ページ、写真、バナーの印刷といった特別なジョブを行うことができます。このセクションでは、次の機能を説明します。

Web ページの印刷

お使いの Web ブラウザから HP Officejet に Web ページを印刷することができます。

1. ブラウザの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。
   ［印刷］ダイアログ ボックスが表示されます。
2. HP デバイスが選択されていない場合は、お使いの HP Officejet を選択します。



［プロパティ］ダイアログ ボックスでお使いの **hp officejet** を選択する

3. お使いのブラウザがサポートしている場合は、印刷するアイテムを Web ページ上で選択します。
   たとえば、Internet Explorer では［表示された通りに印刷する］、［リンク ドキュメントをすべて印刷する］などのオプションを選択します。

4 ［OK］をクリックして Web ページを印刷します。

高品質の写真の印刷

カラー フォト プリント カートリッジ (hp 58) を使用することで、HP Officejet で印刷する写真の品質を向上させることができます。モノクロ プリント カートリッジを取り外し、カラー フォト プリント カートリッジを使用します。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジ (hp 57 と hp 58) をセットすることで 6 色インクシステムが実現され、写真の品質が向上します。

詳しくは、裏表紙の **「メディアの注文」**および 143 ページの**「プリント カートリッジの保守」**を参照してください。

フォト用紙に写真を印刷する

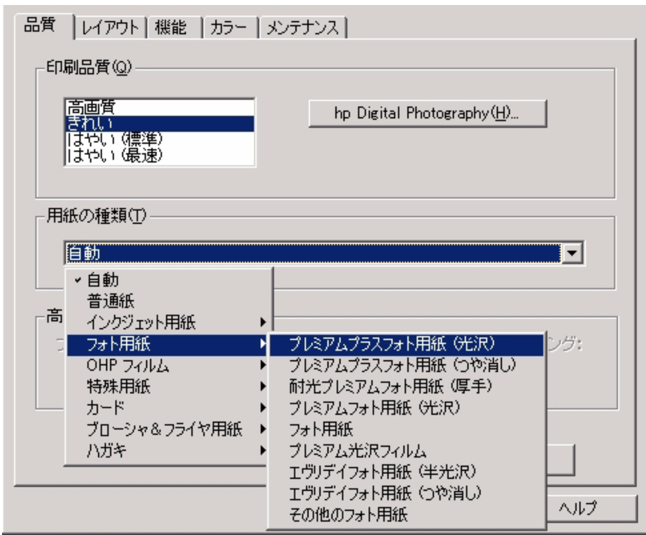
高品質の写真を印刷するには、HP Officejet で HP フォト用紙を使用することをお奨めます。

デバイスによっては、高解像度の写真を 2400 dpi 以上で印刷できる場合があります。詳しくは、**126 ページの「4800 x 1200 dpi での印刷」**を参照してください。

1 給紙トレイからすべての用紙を取り出し、フォト用紙をセットします。

2 ［プロパティ］ダイアログ ボックスで［品質］タブをクリックします。

詳しくは、**118 ページの「印刷設定の表示」**を参照してください。



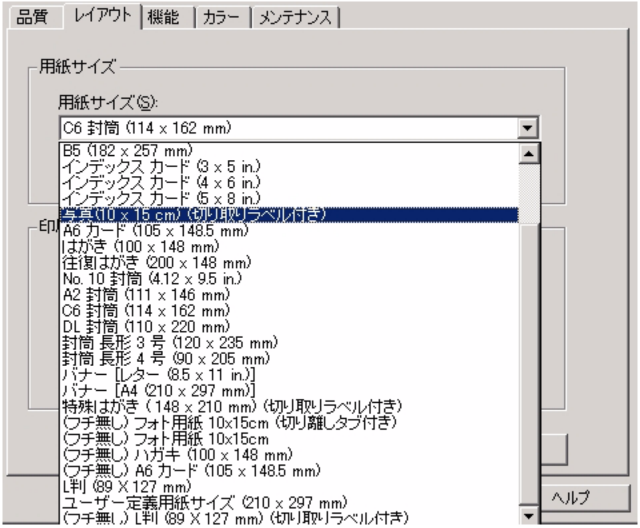
［プロパティ］ダイアログ ボックスで、プレミアム フォト用紙タイプを選択します。

3 ［用紙の種類］リストから［フォト用紙］を指定し、適切なフォト用紙をクリックします。

HP Officejet では、［高画質］が［印刷品質］として自動的に選択されます。

4 ［レイアウト］タブをクリックします。

5 ［用紙サイズ］リストから適切なサイズを選択します。



［プロパティ］ダイアログ ボックスの［レイアウト］タブで用紙サイズを選択します。

10x15cm（4x6 インチ）のフォト用紙に印刷する場合は、フォト用紙が正しくセットされていることを確認してください。

6 ［OK］をクリックしてこのダイアログ ボックスを閉じます。

4800 x 1200 dpi での印刷

フォト用紙に印刷する場合は、高画質に仕上げるために 4800 x 1200dpi で印刷します。この設定では、一時的に大量のディスク容量（400 MB 以上）が使用されるため、HP Officejet の印刷にかなりの時間がかかります。

Windows の最適化された 4800 dpi プリントシステム

写真を最高品質で印刷する場合、最適化された 4800 x 1200 dpi 設定を使用してください。

プリンタ ドライバで最適化された 4800 x 1200 dpi が選択された場合、カラープリントカートリッジは最適化された 4800 x 1200 dpi モードで印刷します。フォト (hp 58) プリントカートリッジも取り付けられていると、印刷品質がさらに向上します。

Macintosh の最適化された 4800 dpi プリントシステム

製品が高解像度印刷に対応しているときは、［高解像度］(OS X) または［高解像度写真］(OS 9.x) オプションがあれば、それを選択すると、グリーティング カードやフォト用紙向けの 4800 x 1200 dpi に最適化された印刷が可能になります。

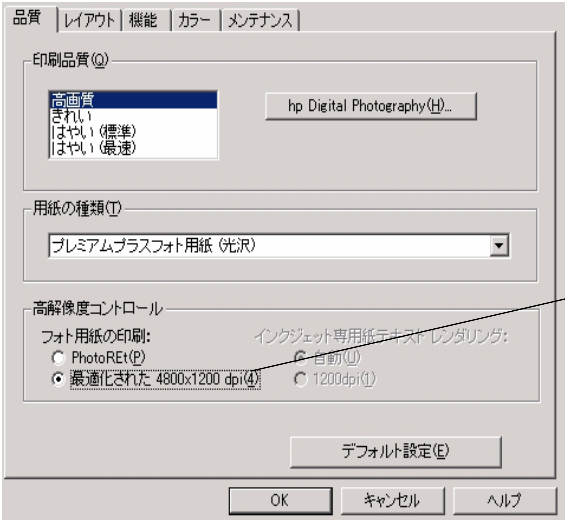
プリンタドライバにこのオプションが選択されていると、カラープリントカートリッジが最適化された 4800 x 1200 dpi モードで印刷します。フォト (hp 58) プリントカートリッジも取り付けられていると、印刷品質がさらに向上します。

単一の印刷ジョブを 4800 x 1200dpi で印刷するには

1 印刷に使うソフトウェアで［プロパティ］ダイアログ ボックスを表示し、［品質］タブをクリックします。

2 ［用紙の種類］リストからフォト用紙タイプを選択します。
HP Officejet では、［印刷品質］は自動的に［高品質］に設定されます。

3 ［高解像度コントロール］領域で、［最適化された 4800x1200dpi］のオプションを選択します。



高解像度の写真の印刷には［最適化された **4800x1200dpi**］を選択してください。

4 ［OK］をクリックしてダイアログ ボックスを閉じ、使用しているプログラムの［プロパティ］ダイアログ ボックスの［OK］をクリックします。

バナーの印刷

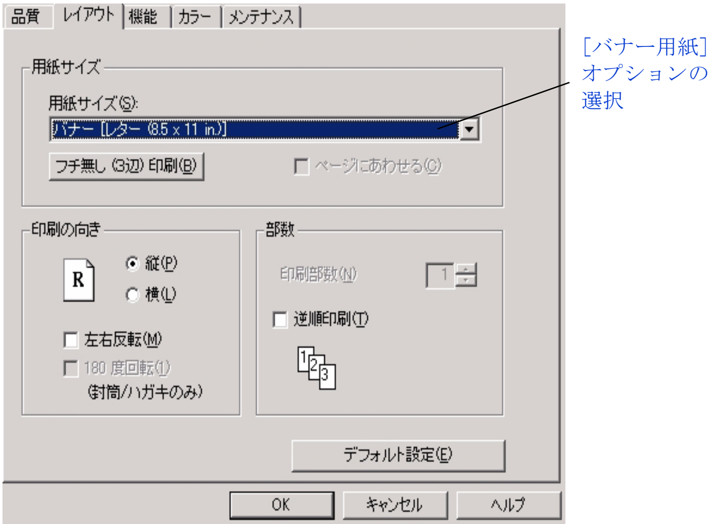
最高品質のプレゼンテーションに仕上げるためには、お使いの HP Officejet で バナー用紙を使用することを推奨します。

1 排紙トレイを取り外します。

2 給紙トレイからすべての用紙を取り出し、バナー用紙をセットします。

3 ［プロパティ］ダイアログ ボックスで［レイアウト］タブをクリックします。

4 ［用紙サイズ］リストから、バナー用紙のオプションを選択します。
お使いの HP Officejet では、バナー用紙でのサイズとしてレターと A4 の両方が使用できます。



［プロパティ］ダイアログ ボックスの［レイアウト］タブでバナー用紙のサイズを選択します。

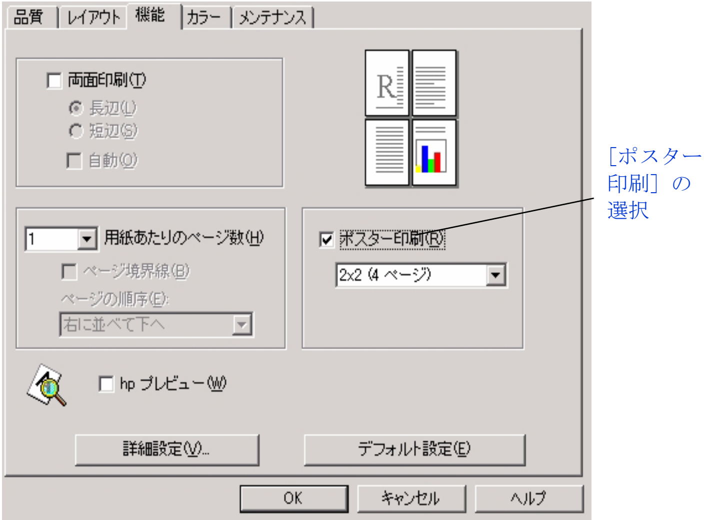
HP Officejet では、［用紙の種類］は、自動的に［バナー用紙］に設定されます。

5 ［OK］をクリックしてこのダイアログ ボックスを閉じ、もう一度［OK］をクリックしてバナーを印刷します。
バナーが印刷された後に、ジョブが完了したというメッセージが表示されるので、残ったバナー用紙を HP Officejet から取り出すことができます。
6 給紙トレイから未使用の用紙をすべて取り出します。
7 フロントパネルの ＜ Enter ＞ ボタンを押して残った用紙を取り出します。
8 印刷された用紙を排紙トレイから取り除きます。
9 通常の用紙を給紙トレイにセットし、排紙トレイを交換します。

ポスター印刷

ドキュメント イメージを複数のページにわたって印刷してポスターを作成することができます。HP Officejet では、ページをつなぐ前に切り取る部分を表示するためにページに点線が印刷されます。

1 ［プロパティ］ダイアログ ボックスで［機能］タブをクリックします。
2 ［ポスター印刷］チェック ボックスをオンにし、［2x2］、［3x3］、または［4x4］のいずれかを選択します。
これにより、4、9、または 16 ページに収まるように文書を拡大するサイズが HP Officejet に指定されます。



［プロパティ］ダイアログ ボックスの［機能］タブから［ポスター印刷］を選択する

オリジナルの文書が複数のページにわたる場合は、これらの各ページが 4、9、または 16 ページに印刷されます。たとえば、オリジナルの文書が 1 ページのみで 3x3 を選択すると 9 ページ、オリジナルの文書が 2 ページで 3x3 を選択すると 18 ページが印刷されます。

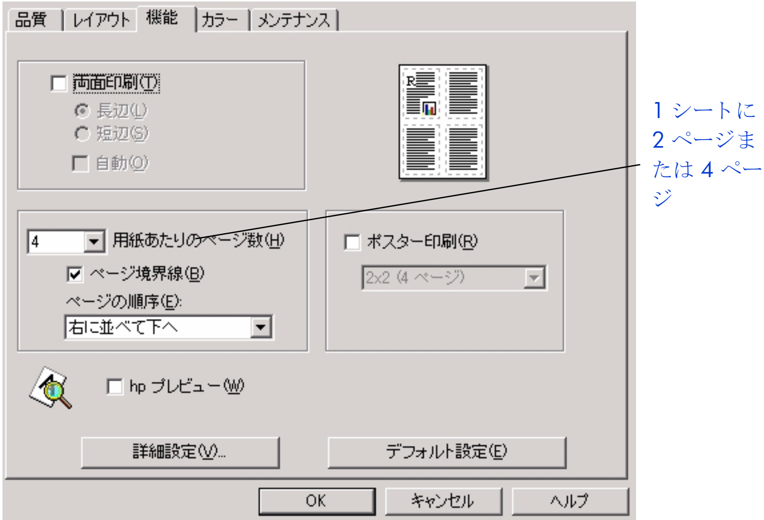
3 ［OK］をクリックしてこのダイアログ ボックスを閉じます。

シート 1 枚に複数のページを印刷する

シート 1 枚に 2 または 4 ページ分の画像を印刷することができます。

1 ［プロパティ］ダイアログ ボックスで［機能］タブをクリックします。

2 ［用紙あたりのページ数］リストで、［2］または［4］を選択します。



［プロパティ］ダイアログ ボックスの［機能］タブで［用紙あたりのページ数］を選択します。

3 ページごとに境界線を表示するには、［ページ境界線］チェック ボックスをオンにします。

4 ［ページの順序］リストで、適切なページ順序のオプションを選択します。

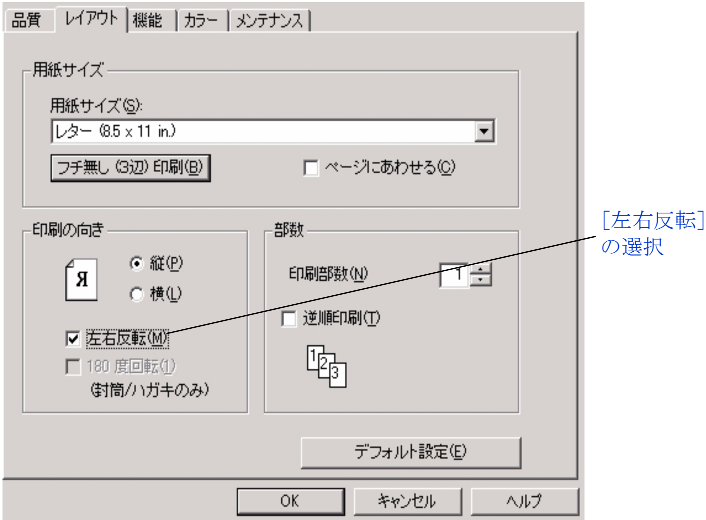
5 ［OK］をクリックしてこのダイアログ ボックスを閉じます。

アイロンプリント紙用に画像を反転する

この機能は、アイロンプリント紙に使用できるように画像を反転させます。この機能は、OHP フィルムの裏面に印を付け、原稿に傷をつけないようにその印を後で消したい場合にも役立ちます。

1 ［プロパティ］ダイアログ ボックスで［レイアウト］タブをクリックします。

2 ［印刷の向き］領域で［左右反転］チェック ボックスをオンにします。



［プロパティ］ダイアログ ボックスの［レイアウト］タブから［左右反転］を選択する

3 ［OK］をクリックしてこのダイアログ ボックスを閉じます。

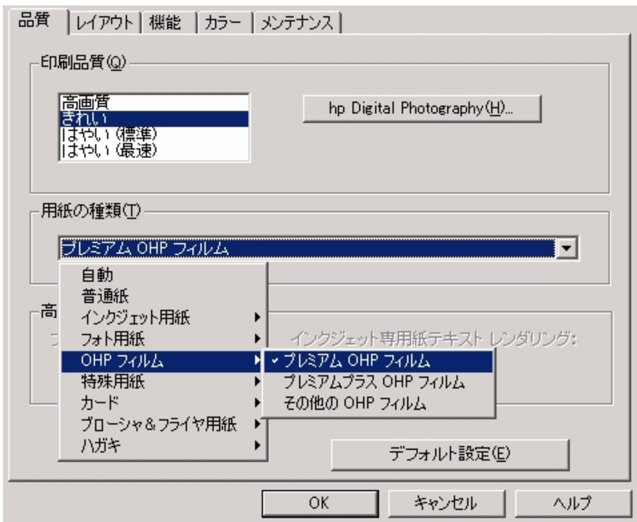
OHP フィルムへのプレゼンテーションの印刷

最高品質のプレゼンテーションに仕上げるためには、お使いの HP Officejet で OHP フィルムを使用することを推奨します。

1 給紙トレイに OHP フィルムをセットします。

2 ［プロパティ］ダイアログ ボックスで［品質］タブをクリックします。

3 ［用紙の種類］リストで［OHP フィルム］をポイントし、用紙タイプをクリックします。



［品質］タブで **OHP** フィルムの用紙の種類を選択する

4 ［レイアウト］タブをクリックし、［左右反転］チェック ボックスをオンにします。

詳しくは、130 ページの「アイロンプリント紙用に画像を反転する」を参照してください。

5 ［OK］をクリックしてこのダイアログ ボックスを閉じます。

お使いの HP Officejet は、出力結果を出力する前に自動的に透明フィルムを乾燥させます。フィルムではインクの乾燥にかかる時間が長くなります。インクが十分に乾くまでしばらく待ってから、OHP フィルムを取り扱ってください。

ラベルや封筒に一連の住所を印刷する

HP Officejet では、1 枚または複数の封筒や、インクジェット プリンタ用のラベル シートに住所を印刷することができます。

1 まずテストとして普通紙に印刷してください。

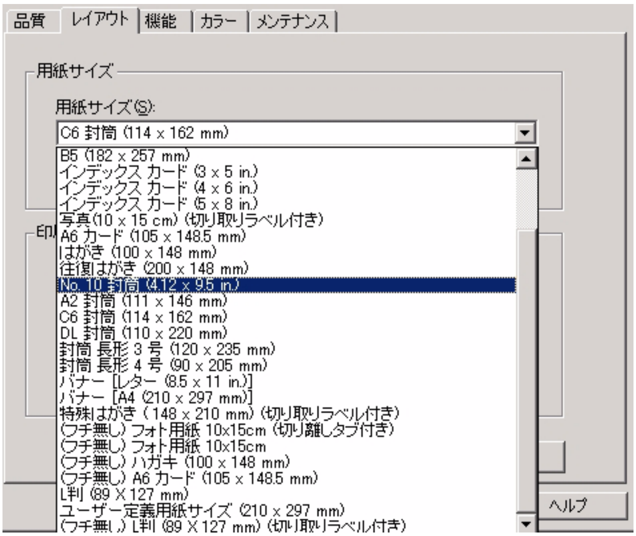
2 このテスト用の普通紙をラベル シートの上に重ね、両方のページを光に透かして見ます。各ラベルのテキストの配置具合を見るために、ラベルの間隔をチェックしてください。必要に応じて調整します。

3 給紙トレイにラベルまたは封筒をセットします。

4 封筒に印刷する場合は、次の操作を行います。

– 印刷設定を表示し、［レイアウト］タブをクリックします。

– ［用紙サイズ］リストから適切な封筒のサイズを選択します。



［用紙サイズ］リストから封筒のサイズを選択する

5 郵便番号用の枠があるはがきや封筒に印刷する場合は、［180 度回転］のオプションを選択して、正しい向きで印刷しなければならないことがあります。

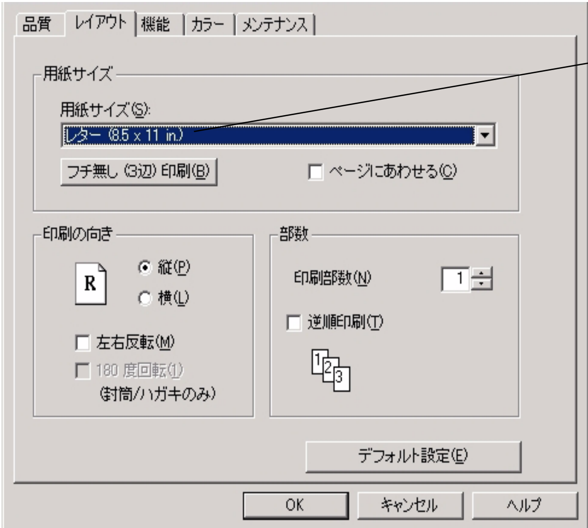
6 ［OK］をクリックしてこのダイアログ ボックスを閉じます。

ふちなしの画像を印刷する

［フチ無し (3 辺) 印刷］では、フォト用紙またははがきなどの、小さな用紙の上または両側のふちに印刷することができます。最良の出力結果を得るには、切り離し可能なタブが付いた用紙を使用してください。タブを切り離すと、印刷された画像にはふちがなく、用紙一杯に印刷されています。

1 給紙トレイからすべての用紙を取り出し、フォト用紙をセットします。

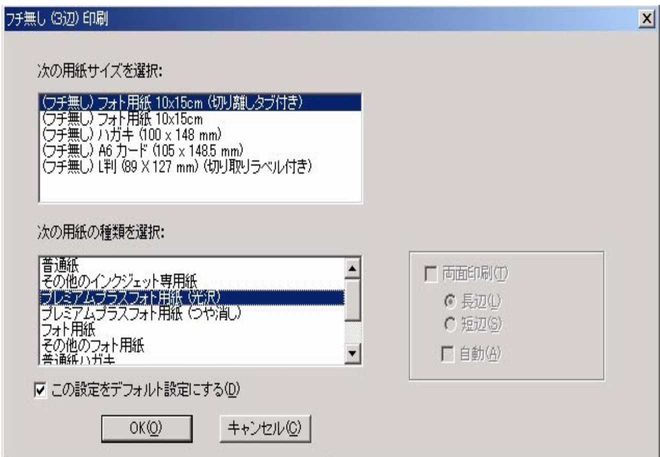
2 印刷設定を表示し、［レイアウト］タブをクリックします。



［フチ無し (3 辺) 印刷］の選択

［プロパティ］ダイアログ ボックスの［レイアウト］タブから［フチ無し (3 辺) 印刷］を選択する

3 ［フチ無し (3 辺) 印刷］をクリックします。



［ フチ無し (3 辺) 印刷］ダイアログ ボックスで、用紙のサイズと 種類を 選択する

4 用紙のサイズを選択します。セットした用紙と選択されている用紙タイプが異なる場合は、用紙タイプを選択します。

5 この設定をデフォルトの印刷設定にする場合は、［この設定をデフォルト設定にする］を選択します。そうしない場合は、チェック ボックスをオフにします。

6 ［OK］をクリックして、［フチ無し (3 辺) 印刷］ダイアログ ボックスを閉じます。

フォト用紙が選択された場合、お使いの HP Officejet では、［印刷の品質］は自動的に［高画質］に設定されます。

7 ［OK］をクリックしてこのダイアログ ボックスを閉じます。

ページの両面に印刷する

HP Officejet を使用して自動的に両面印刷を行うことができます。

ご注意：自動両面印刷については、デバイスは一面を印刷し、インクが乾くまで少し間をおいてから、もう一面を印刷します。両面が印刷された後、デバイスによって完全にリリースされるまで、カードを取らないでください。

1 ［プロパティ］を表示し、［機能］タブをクリックします。

2 ［両面印刷］チェックボックスをオンにします。

– 横に綴じる場合は［長辺］を選択します。
– 縦に綴じる場合は［短辺］を選択します。



［両面印刷］オプションの選択

自動的に両面印刷をする場合、［両面印刷］オプションを選択する

3 ［自動］ボックスを選択してください。

［両面印刷のマージン］ボックスが表示されます。

ご注意：［自動］チェックボックスが選択できない場合は、自動両面印刷が使用可能になっていません。自動両面印刷を有効にする方法については、**135 ページの「自動両面印刷を有効にする」**を参照してください。

4 適切なページ内容オプションを選択した後、［OK］をクリックして、［機能］タブに戻ります。

5 他の印刷設定を必要に応じて変更し、［OK］をクリックします。

6 ［OK］をクリックして印刷を開始します。

デバイスは一面を印刷した後、インクが乾くまでを少し間をおいてから、もう一面を印刷し、リリースします。

自動両面印刷を有効にする

通常、自動両面印刷はデフォルトで有効にされています。すでに使用不可になった場合、両面印刷をする前に、自動両面印刷を有効にする必要があります

1 ［ディレクタ］で、［設定］>［印刷設定］>［プリンタの保守］をクリックします。

［Toolbox］を表示します。

2 ［設定］タブをクリックします。

3 ［自動両面印刷モジュール］チェックボックスをオンにし、［適用］をクリックします。

4 右上隅の "x" をクリックし、ツールボックスを閉じます。

はがきに印刷する

ソフトウェア バージョンによって、メディア タイプおよびメニュー オプションが次のトピックに記述されているものと異なることがあります。

はがきに印刷する場合、標準またはふちなしのはがきに印刷するオプションが備わっています：

- 片面はがき印刷
- 手動両面はがき印刷
- 自動両面はがき印刷

片面はがき印刷

はがきの片面に印刷するには、次の手順に従います。

1 はがきのセットに説明されたいる手順に従って、カードをセットします。

2 ［プロパティ］ダイアログボックスで、［品質］タブを選択し、［用紙の種類］を［はがき］に設定します。

3 ［レイアウト］タブを選択し、はがき、往復はがき、またはふちなしはがきの［用紙サイズ］を選択します。

4 ［はがき］または［往復はがき］を選択した場合、ステップ 5 に進みます。［ふちなしはがき］を選択した場合、次の手順に従ってください。

a. ［フチ無し (3 辺) 印刷］ボタンをクリックします。

［フチ無し (3 辺) 印刷］ダイアログボックスが表示されます。

b. ［用紙の種類］リストで、［普通紙ハガキ］、［インクジェット用官製ハガキ］または［光沢ハガキ］を選択してください。

c. ［両面印刷］チェックボックスがオフになっていることを確認してください。

d. ［OK］をクリックします。

5 ［機能］タブをクリックします。

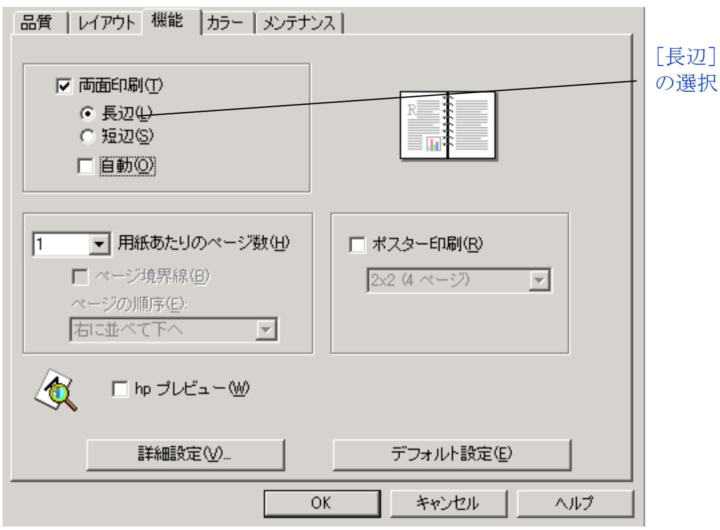
6 [両面印刷] チェックボックスがオフになっていることを確認してください。
7 [レイアウト] タブをクリックし、[180 度回転] チェックボックスをオフにしてください。
8 [OK] をクリックして印刷を開始します。

ご注意 : ふちなし印刷では、印刷画像の下に 12mm マージンが出来ます。

手動両面はがき印刷

はがきの両面に印刷するには、次の手順に従います。

1 はがきのセットに説明されたいる手順に従って、カードをセットします。
2 [プロパティ] ダイアログボックスで、[品質] タブを選択し、[用紙の種類] を [はがき] に設定します。
3 [レイアウト] タブを選択し、はがき、往復はがき、またはふちなしはがきの [用紙サイズ] を選択します。
4 [はがき] または [往復はがき] を選択した場合、ステップ 5 に進みます。[ふちなしはがき] を選択した場合、次の手順に従ってください。
   a. [フチ無し (3 辺) 印刷] ボタンをクリックします。
      [フチ無し (3 辺) 印刷] ダイアログボックスが表示されます。
   b. [用紙の種類] リストで、[普通紙ハガキ]、[インクジェット用官製ハガキ] または [光沢ハガキ] を選択してください。
   c. [両面印刷] をクリックして、[自動] チェックボックスがオフになっていることを確認してください。
   d. [OK] をクリックします。
5 [機能] タブをクリックします。
6 [両面印刷] をクリックして、[長辺] が選択されていることを確認してください。[自動] チェックボックスをオフにしてください。



手動的に両面印刷をする場合、[両面印刷] オプションを選択する

7 ［OK］をクリックして印刷を開始します。

ご注意：ふちなし印刷では、カードの宛名面と画像面の下に 12mm マージンが出来ます。

自動両面はがき印刷

自動的にはがきの両面印刷をするには、次の手順に従います。

ご注意：自動両面印刷については、デバイスは一面を印刷し、インクが乾くまで少し間をおいてから、もう一面を印刷します。両面が印刷された後、デバイスによって完全にリリースされるまで、カードを取らないでください。

1 はがきのセットに説明されたいる手順に従って、カードをセットします。

2 ［プロパティ］ダイアログボックスで、［品質］タブを選択し、［用紙の種類］を［はがき］に設定します。

3 ［レイアウト］タブを選択し、はがき、往復はがき、またはふちなしはがきの［用紙サイズ］を選択します。

4 ［はがき］または［往復はがき］を選択した場合、ステップ 5 に進みます。［ふちなしはがき］を選択した場合、次の手順に従ってください。

   a. ［フチ無し (3 辺) 印刷］ボタンをクリックします。

      ［フチ無し (3 辺) 印刷］ダイアログボックスが表示されます。

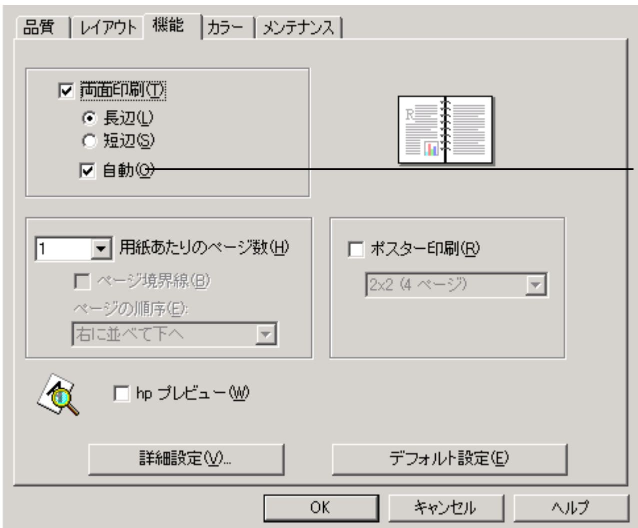
   b. ［用紙の種類］リストで、［普通紙ハガキ］、［インクジェット用官製ハガキ］または［光沢ハガキ］を選択してください。

   c. ［両面印刷］をクリックして、［自動］チェックボックスがオンになっていることを確認してください。

   d. ［OK］をクリックします。

5 ［機能］タブをクリックします。

6 ［両面印刷］をクリックして、［長辺］が選択されていることを確認してください。［自動］チェックボックスをオンにしてください。

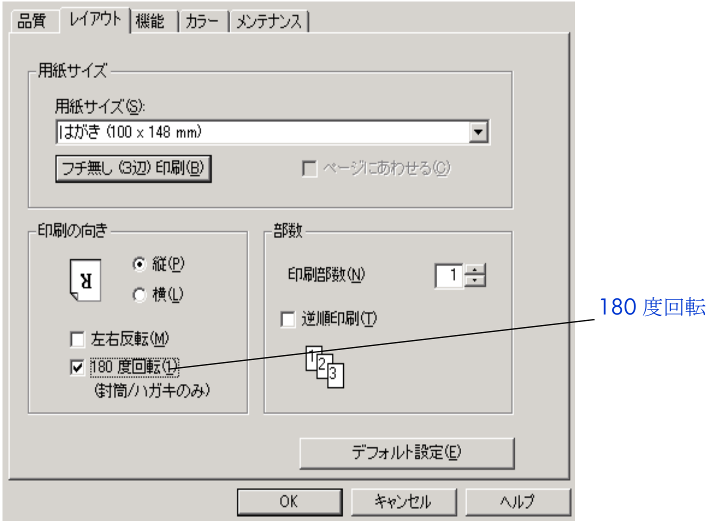


［自動］の選択

自動的に両面印刷をする場合、［両面印刷］オプションを選択する

ご注意：［自動］チェックボックスが選択できない場合は、自動両面印刷が使用可能になっていません。自動両面印刷を有効にする方法について、「自動両面印刷を有効にする」を参照してください。

7 ［レイアウト］タブをクリックし、［180 度回転］チェックボックスがオンになっていることを確認してください。



自動両面印刷のために［180 度 回転］オプションを選択する

8 ［OK］をクリックして印刷を開始します。

デバイスはカードの一面を印刷し、インクが乾くまで少し間をおいてから、もう一面を印刷し、リリースします。

ご注意：ふちなし印刷では、カードの宛名面の上と画像面の下に 12mm マージンが出来ます。

印刷ジョブの中止

プリント ジョブを停止するには、HP Officejet のフロントパネルの<キャンセル>ボタンを押してください。フロントパネル ディスプレイに表示される「プリントがキャンセルされました」というメッセージを確認します。このメッセージが表示されない場合は、<キャンセル> ボタンをもう一度押します。

HP Officejet では、既に印刷が開始されたページをすべて印刷してから、ジョブの残りがキャンセルされます。これにはしばらく時間がかかる場合があります。

高画質に仕上げるためには前述のキャンセル法を推奨しますが、お使いのコンピュータから印刷ジョブを中止することもできます。ほとんどの Windows 対応ソフトウェアでは Windows 印刷スプーラを使用しますが、お使いのソフトウェアによっては使用されない場合があります。たとえば、Microsoft Office 97 の PowerPoint では印刷スプーラは使用されません。次のいずれかの操作手順で印刷ジョブをキャンセルできない場合は、お使いのソフトウェアのオンライン ヘルプでバックグラウンドの印刷をキャンセルする方法を参照してください。

［状態］ウィンドウから印刷ジョブを中止するには

- ［キャンセル］をクリックします。

プリンタ フォルダから印刷ジョブを中止するには

1. Windows のタスク バーで［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントして［プリンタ］をクリックします。
   または、Windows タスク バー上の［プリンタ］アイコンをダブル クリックすることもできます。
2. HP Officejet アイコンをダブルクリックします。
3. キャンセルするジョブを選択します。
4. ［ドキュメント］メニューで［印刷のキャンセル］または［キャンセル］を選択するか、キーボードの Delete キーを押します。
   印刷のキャンセルにはしばらく時間がかかることがあります。

13 hp officejet の保守

このセクションでは、HP Officejet を最高の状態に保つための方法について説明します。必要に応じてこれらの保守手順を実行してください。

コピー ガラス板のクリーニング

指紋や汚れ、髪の毛などでコピー ガラス板が汚れていると、パフォーマンスが低下したり、[ページ ニ アワセル] や [コピー] といった特殊機能の精度に影響が出たりします。

1 本体の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、カバーを上げます。

2 非摩耗性のガラス クリーナで少し湿らせた柔らかい布かスポンジでコピー ガラスを拭きます。

注意! 原稿ガラスをクリーニングするときは、研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素のいずれも使用しないでください。これを守らないと、原稿ガラスに傷が付くおそれがあります。また、液体を直接ガラスにかけないでください。ガラスの下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

3 しみにならないよう、セーム革かセルロース スポンジでガラスを拭いてください。

ADF ガラス板のクリーニング

メインのガラス面の左側にある小さなガラス部分は、ADF から送られてきた原稿を処理するところです。このガラス面が汚れていると、縞模様がはいります。このガラス面の清掃は、他のガラス面の清掃と同様の手順で行ってください。



カバーの裏側のクリーニング

本体のカバーの裏側にある白い原稿押さえの表面に微少な塵がたまることがあります。

1 本体の電源をオフにし、電源ケーブルを抜き、カバーを上げます。
2 刺激性の少ない石鹸とぬるま湯で少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。
3 固まっている塵を徐々に溶かすようにカバー裏を洗ってください。その際にこすらないようにしてください。
4 セーム革あるいは柔らかい布でカバー裏を拭いて乾かしてください。

   注意！ カバー裏を傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

5 これで十分きれいにならない場合は、イソプロピル（消毒用）アルコールを使って上記の手順を繰り返し、その後、湿らせた布で残ったアルコールを完全に拭き取ってください。

外側のクリーニング

柔らかい湿らせた、糸くずの出ない布で外側の塵やしみ、汚れを拭き取ります。本体の内側はクリーニングの必要はありません。フロント パネルはもちろん、本体内側についても液体がかからないように注意してください。

ご注意： 本体の塗装部品を傷めますので、フロント パネルや本体のカバーに対してアルコールやアルコールベースの洗浄液を使用しないでください。

プリント カートリッジの保守

HP Officejet の印刷品質を最高のものに保つには、いくつかの簡単な保守手順を実行する必要があります。また、フロントパネルにメッセージが表示された場合はプリント カートリッジを交換する必要があります。

セルフテスト レポートの印刷

印刷時に問題が発生した場合は、プリント カートリッジをクリーニングしたり交換したりする前にセルフテスト レポートを印刷するようにしてください。このレポートには、ステータス情報など、プリント カートリッジに関する役立つ情報が表示されます。

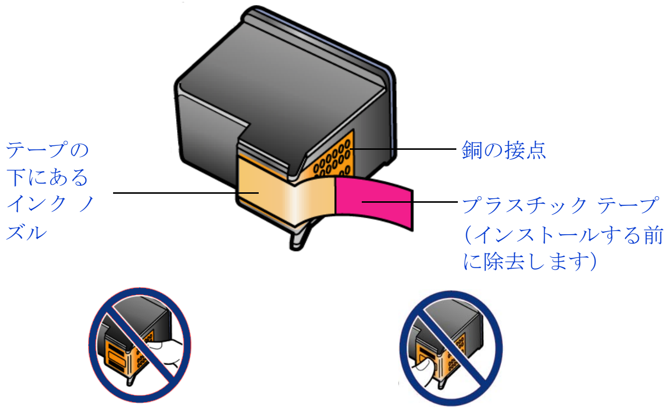
1. ＜メニュー＞ボタンを押します。
2. ［3］を押し、次に［5］を押します。

   これで［プリント レポート］そして［セルフテスト レポート］が選択されます。

   お使いの HP Officejet に関するセルフテスト レポートが印刷されます。

プリント カートリッジの扱い方

プリント カートリッジを交換したりクリーニングしたりする前に、プリント カートリッジの扱い方を知っておく必要があります。



銅の接点やインク ノズルにはさわらないでください。

プリント カートリッジ ケースの使用

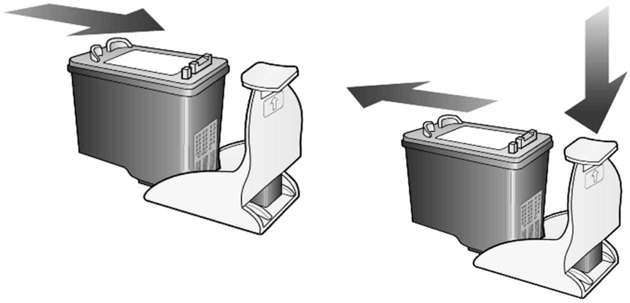
フォト プリント カートリッジを購入するとプリント カートリッジ ケースも付属してきます。プリント カートリッジ ケースは、プリント カートリッジを使用しないときに安全に保護しておくのに使用します。プリンタからプリント カートリッジを取り外したら、いつもプリント カートリッジ ケースに入れておくようにしてください。

> **ご注意：** フォト プリント カートリッジ (#58) を使用することで、写真を印刷する際の印刷品質をさらに高めることができます。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをインストールすることで、6 色インクシステムが実現されます。

ご注意： 高品質の写真を印刷する方法について、HP フォト イメージング オンライン ヘルプを参照してください。

ご注意： 交換用のプリント カートリッジを注文する方法については、裏表紙の **「プリント カートリッジの注文」**を参照してください。

- プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに入れるには、プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに少し角度をずらしてスライドさせ、パチンと音がするまで押し込みます。
- プリント カートリッジ ケースからプリント カートリッジを外すには、プリント カートリッジ ケースの上側を押して戻しプリント カートリッジを固定解除し、プリント カートリッジ ケースからプリント カートリッジをスライドさせて取り外します。



プリント カートリッジの交換

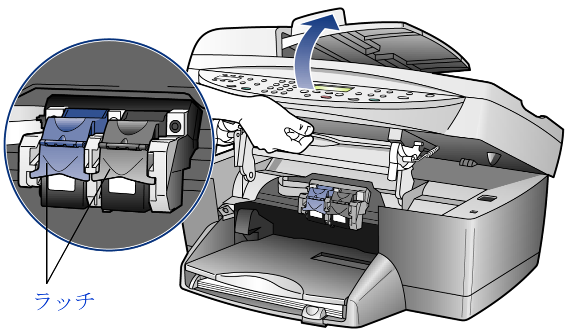
プリント カートリッジを交換する必要があることを知らせるメッセージはフロントパネル ディスプレイに表示されます。

また、高品質の写真を印刷する場合、プリント カートリッジを取り外し、フォト プリント カートリッジを使用する必要もあります。

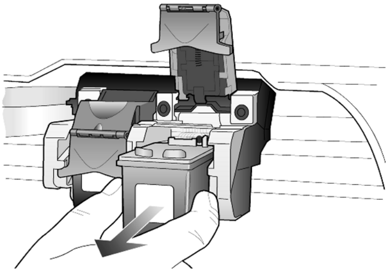
交換用のプリント カートリッジを注文する方法については、**「プリント カートリッジの注文」**を参照してください。

1. 本体の電源をオンにし、それからプリント キャリッジにアクセスする扉を固定するまで持ち上げて開きます。

   プリント キャリッジが本体の中央まで移動します。

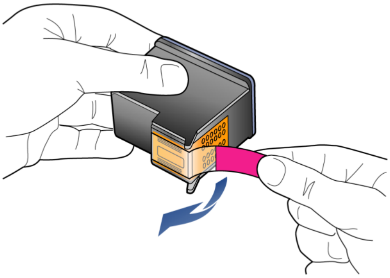


2. キャリッジが止まったら、ラッチを上げてプリント カートリッジを固定解除し、それからカートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。



3 黒プリント カートリッジ (#58) を取り外してフォト プリント カートリッジをセットする場合は、取り外した黒プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに保存しておきます。

4 新しいプリント カートリッジの包装を除去し、黒いプラスチックの部分のみを注意深く持ってプラスチック テープをインク ノズルからゆっくり取り外します（ピンクのプルタブを使用して）。

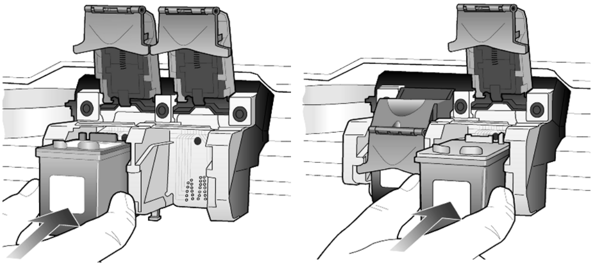


注意！ 銅の接点やインク ノズルにはさわらないでください。

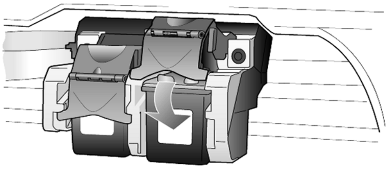
保護テープを付け直さないでください。プリント カートリッジを損傷する可能性があります。

5 新しいプリント カートリッジを適切なスロットに押し込みます。

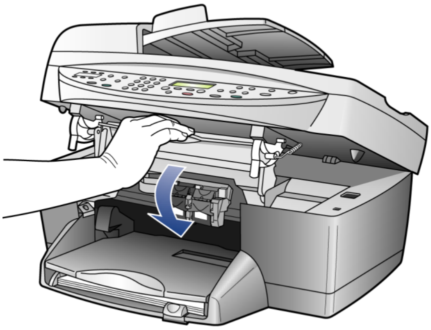
カラー プリント カートリッジは左側、黒プリント カートリッジあるいはフォト プリント カートリッジは右側にセットします。



6 ラッチの端を手前に引いて止まるまで押し、それから手を離します。ラッチが下側のタブに留まっていることを確認してください。



7　ハンドルを手前に引き押し下げ、プリント キャリッジ アクセス ドアを閉じます。



カートリッジの調整

HP Officejet では、プリント カートリッジを取り付けたり取り換えたりするたびに、カートリッジの調整を行うよう求めるメッセージが表示されます。カートリッジを調整することで高品質の出力が得られます。

メッセージが表示されてプリント カートリッジを調整する場合

1　フロント パネルの < Enter > ボタンを押します。

パターン ページが印刷されます。カートリッジは自動的に調整されます。

それ以外のときにカートリッジを調整する場合

1　<メニュー>ボタンを押します。

2　［7］を押し、次に［2］を押します。

これで［保守］が選択され、それから［プリントカートリッジ ノ チョウセイ］が選択されます。

パターン ページが印刷されます。これでカートリッジが正しく調整されます。

プリント カートリッジのクリーニング

この機能は、セルフテスト レポートのカラー バーに縞や白線が表れたときに使用してください。不必要にプリント カートリッジのクリーニングを行わないでください。カートリッジのクリーニングを行うとインクが無駄に使われてカートリッジの寿命が短くなります。

1　<メニュー>ボタンを押します。

2　［7］を押し、次に［1］を押します。

これで［メンテナンス］メニューが選択され、それから［プリントカートリッジ ノ クリーニング］オプションが選択されます。

プリント カートリッジのクリーニング後もコピーあるいは印刷の品質がよくない場合は、問題のあるそのプリント カートリッジを交換してください。

工場出荷時のデフォルト設定に戻す

HP Officejet を購入したときの、工場出荷時の最初の設定に戻すことができます。工場出荷時のデフォルトの設定に戻すよう選択すると、日付情報以外のすべての設定が元に戻されます。

この作業は、フロント パネルでのみ実行することができます。

1. ＜メニュー＞ボタンを押します。
2. ［7］を押し、次に［3］を押します。
   これで［メンテナンス］が選択され、それから［コウジョウ シュッカジ ノ ショキ セッテイ］が選択されます。
   これで工場出荷時のデフォルト設定に戻されました。

省電力時間の設定

印刷要求があったときにすぐに応えられるよう、HP Officejet のバルブは指定された時間の間、オンになっています。その指定された時間の間に HP Officejet が使用されなかった場合は、電力を無駄に消費しないようバルブがオフになり、フロントパネル ディスプレイに［ショウデンリョク オン］と表示されます。（フロントパネルの任意のボタンを押すことでこのモードを終了することができます）。

本体は 12 時間後に省電力モードに入るようになっています。HP Officejet が省電力モードに入る時間をもっと早くしたい場合は、次の手順に従います。

1. ＜メニュー＞ボタンを押します。
2. ［7］を押し、次に［6］を押します。
   これで［メンテナンス］が選択され、それから［ショウデンリョク ノ ジカン ヲ セッテイ］が選択されます。
3. 設定したい時間が表示されるまで ▶ を押し、次に＜ Enter ＞ボタンを押します。

スクロール速度の設定

［スクロール ソクド］オプションを使用すると、フロントパネル ディスプレイにテキスト メッセージが表示される速度を調整することができます。速度は［フツウ］、［ハヤク］、［オソク］のいずれかから選択できます。

1. ＜メニュー＞ボタンを押します。
2. ［7］を押し、次に［7］を押します。
   これで［メンテナンス］が選択され、それから［スクロール ソクド ノ セッテイ］が選択されます。
3. 設定したいスクロール速度が表示されるまで ▶ を押し、それから＜ Enter ＞ボタンを押します。

フロントパネルの表示角度の設定

フロントパネル ディスプレイの文字が読みにくい場合は、表示角度を変更する必要があります。［ヒョウジ カクド］オプションを使用すると、フロントパネル ディスプレイの文字の表示角度を調整することができます。立った場合、あるいは座った場合に見やすくなるよう、文字の表示角度を変更します。

1 ＜メニュー＞ボタンを押します。
2 ［7］を押し、次に［8］を押します。
これで［メンテナンス］そして［ヒョウジ カクド］が選択されます。
3 ＜ Enter ＞ボタンを押し、それからフロント パネルのディスプレイに見やすい角度でテキストが表示されるまで ◄ または ► を押します。それから＜ Enter ＞ボタンを押してください。

14 追加のセットアップ情報

このセクションでは、インストール時にメッセージが表示された場合または表示されない場合の対処法、コンピュータと HP Officejet との接続の設定方法、および HP Officejet ソフトウェアの追加および削除方法について説明します。標準的なインストールの手順についてはセットアップ手順ポスターで説明されています。セットアップ手順ポスターは後で使用できるようにしておいてください。

総合的な情報については、完全検索可能な HP フォト イメージング ヘルプをご覧ください。ただし、これはソフトウェアをインストールした場合にのみ、アクセス可能です。Windows のガイドにアクセスするには、［ディレクタ］から［ヘルプ］をクリックし、［ユーザー ガイド］を選択します。

Macintosh のガイドにアクセスするには、［ディレクタ］から［ツール］をクリックし、［オンスクリーンガイドの表示］を選択します。

インストール時に発生する可能性のある問題

セットアップ手順ポスターで説明されている手順に従えば、HP Officejet のインストール時に問題が発生することはないはずです。手順に従わなかった場合は、次のような問題が発生する可能性があります。

Microsoft の［新しいハードウェア］が検出されたことを示すメッセージが表示されない場合

セットアップ手順ポスターで指示されているとおりにまず HP Officejet ソフトウェアをインストールした場合、Windows 98/2000/ME/XP ユーザーであれば、ソフトウェアをインストールする時、Microsoft の［新しいハードウェア］が検出されたことを示すメッセージが画面に表示されるはずです。

このメッセージが表示されない場合は、次の点を試してみてください。

- 高速 USB ケーブル（12 Mbps）を使用していること、そのケーブルの長さが 3 メートル（9.8 フィート）以内であることを確認してください。
- お使いのコンピュータが USB に対応していることを確認してください。お使いのコンピュータが USB に対応しているかどうかについては、コンピュータの説明書を確認するか、あるいはコンピュータの製造元にお問い合わせください。
- ケーブルが HP Officejet に完全に差し込まれていること、そしてコンピュータの USB ポートに直接接続されていることを確認してください。ケーブルを正しく接続したら、HP Officejet の電源をいったん切ってから入れ直してください。
- HP Officejet の電源を入れ直したら、コンピュータを再起動します。
- 前述の手順で問題が解決しない場合は、ソフトウェアを削除して再インストールしてください。詳しくは、**152 ページの「hp officejet ソフトウェアの削除と再インストール」**を参照してください。

ファクス設定ウィザードが表示されない場合

前述の説明に従ってください。

新しいハードウェアが検出されたことを示すメッセージが表示された場合（Windows 98、2000、XP、ME の場合）

ソフトウェアをインストールする*前に* HP Officejet をセットアップしてコンピュータに直接接続した場合、次のいずれかのメッセージが表示される場合があります。



このようなエラーを防ぐには、HP Officejet をコンピュータに接続する前に HP Officejet ソフトウェアをインストールするようにしてください。このようなメッセージが表示された場合は、［次へ］または［OK］をクリックして、次の手順に従います。

1 キーボードの Esc キーを押して終了します。
2 HP Officejet の電源をオフにします。
3 コンピュータと HP Officejet との接続を外します（USB ケーブルを外します）。
4 HP Officejet に同梱されているセットアップ手順ポスターに示されているソフトウェアのインストール手順に従ってインストールを実行します。

以前のバージョンがインストールされていることを示すメッセージが表示された場合

以前のバージョンがインストールされていることを示すメッセージが表示された場合は、HP Officejet ソフトウェアのインストールを最後まで実行することはできません。

HP Officejet ソフトウェアをインストールするには、インストールされている以前のバージョンのソフトウェアをアンインストールする必要があります。**152 ページの「hp officejet ソフトウェアの削除と再インストール」**を参照してください。

コンピュータが HP Officejet と通信できない場合

コンピュータと HP Officejet との間で通信が確立できない場合（たとえば HP Officejet のステータスアイコンにエラーを示す黄色い三角形が表示されている場合）は、**149 ページの「Microsoft の［新しいハードウェア］が検出されたことを示すメッセージが表示されない場合」**で概説されているのと同じ操作を実行してみてください。

ご注意： インストール時に発生する可能性のある問題についてもっと詳しく知りたい場合は Readme ファイルを参照してください。Windows で、Windows のタスクバーから［スタート］をクリックし、［プログラム］あるいは［すべてのプログラム］（XP の場合）をポイントします。それから［Hewlett-Packard］、［HP Officejet 6100 Series］、［Readme］の順にクリックします。Macintosh で Readme ファイルにアクセスするには、HP Officejet ソフトウェア CD-ROM のトップレベルフォルダにある Readme ファイルのアイコンをダブルクリックします。

言語と国 / 地域の設定

通常、言語と国 / 地域は HP Officejet のインストール時に設定されます。インストール時に国 / 地域や言語を間違って設定してしまった場合は、次の手順に従ってください。

1. ＜メニュー＞ボタンを押します。
2. ［**7**］を押し、次に［**4**］を押します。

   これで［メンテナンス］そして［ゲンゴ & クニ / チイキ ノ セッテイ］が選択されます。

   言語のリストが表示されます。◄ と ► で言語のリストをスクロールさせることもできます。
3. キーパッドを使って、設定したい言語の 2 桁の番号を入力します。
4. メッセージが表示されたら、「はい」の場合は［1］、「いいえ」の場合は［2］を押して、言語を確認します。

   選択した言語に該当する国 / 地域がすべて表示されます。◄ と ► で国 / 地域のリストをスクロールさせることもできます。
5. キーパッドを使って、設定したい国 / 地域の 2 桁の番号を入力します。
6. メッセージが表示されたら、「はい」の場合は［1］、「いいえ」の場合は［2］を押して、国 / 地域を確認します。
7. 言語と国 / 地域は、次の手順に従ってセルフテスト レポートを印刷することで確認できます。
   a. ＜メニュー＞ボタンを押します。
   b. ［**3**］を押し、次に［**5**］を押します。

      これで［プリント レポート］そして［セルフテスト レポート］が選択されます。

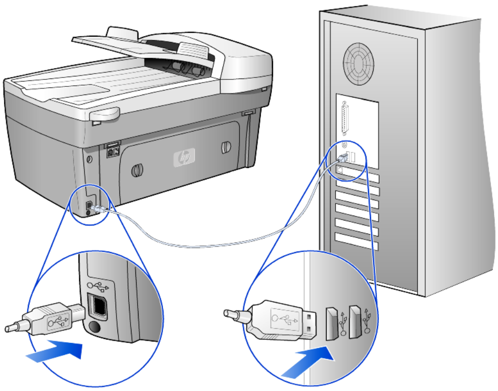
コンピュータへの hp officejet の接続

HP Officejet ではホット スワッピング機能がサポートされているため、コンピュータの電源を入れたままの状態で HP Officejet を接続し、HP Officejet の電源をオンにすることができます。

コンピュータを HP Officejet に USB で接続するのは簡単です。USB ケーブルの端をコンピュータの背面に差し込み、ケーブルのもう一方の端を HP Officejet の背面に差し込むだけです。

動作する	動作しない
コンピュータの USB ポートに差し込んだ場合	キーボードの USB ポートに差し込んだ場合
コンピュータの USB ポートに接続されている、電源が入ったハブに差し込んだ場合	電源の入っていない USB ハブに差し込んだ場合

ご注意： AppleTalk はサポートされていません。



コンピュータの **USB** ポートへの接続

hp officejet ソフトウェアの削除と再インストール

ハード ドライブからいきなり HP Officejet プログラム ファイルを削除することはしないでください。プログラム ファイルは HP Officejet プログラム グループにあるアンインストール ユーティリティを使用して正しく削除するようにしてください。

Windows コンピュータからアンインストールするには

1 Windows のタスクバーで［スタート］をクリックし、［プログラム］または［すべてのプログラム］（XP の場合）を選択します。それから［Hewlett-Packard］、［hp officejet 6100 series］、［ソフトウェアのアンインストール］の順に選択します。

2 画面上の指示に従ってください。

3 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、［いいえ］をクリックしてください。

共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなってしまう可能性があります。

4 プログラムによるソフトウェアの削除が終了したら、HP Officejet を切断し、コンピュータを再起動します。

5 ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブに HP OfficeJet 6150 CD-ROM を挿入し、画面に表示される手順に従います。

Macintosh コンピュータからアンインストールするには

1 ［Applications:HP All-in-One Software］フォルダをダブルクリックします。
2 ［アンインストーラ］をダブルクリックします。
3 画面上に表示される指示に従ってください。

15 技術情報

システム要件

以下の使用は予告なしに変更されることがあります。

Windows PC の要件		
構成要素	**最小**	**推奨**
プロセッサ Windows 98 Windows 98SE Windows 2000 professional Windows Millennium Edition Windows XP	Intel Pentium II、Celeron、またはこれらの互換プロセッサ	Intel Pentium III 以降
RAM Windows 98 Windows 98SE Windows 2000 professional Windows Millennium Edition Windows XP	64 MB	128MB 以上
インストールに必要なディスク容量	600 MB	
スキャンした画像用に必要な上記以外のディスク容量	50MB	
モニタ	SVGA 800 x 600,16 ビット カラー	
メディア	CD-ROM ドライブ	
I/O	使用可能な状態の USB ポート	
インターネット アクセス		推奨
サウンド カード		推奨
その他	IE 5.0 以降 Adobe Acrobat 4 以降	

Macintosh の要件		
構成要素	**最小**	**推奨**
プロセッサ	G3 プロセッサ以上	
RAM Macintosh OS 9 Macintosh OS X	64 MB 128MB	128MB 256MB
インストールに必要なディスク容量	250 MB	
スキャンした画像用に必要な上記以外のディスク容量	50MB	
モニタ	SVGA 800 x 600	
メディア	CD-ROM ドライブ	
I/O	使用可能な状態の USB ポート	
インターネット アクセス		推奨
サウンド カード		推奨

用紙の仕様

用紙トレイの収容枚数

種類	用紙の重さ	給紙トレイ*	排紙トレイ†
普通紙	7.26 ～ 10.89kg（60 ～ 90g/m2）	100	モノクロ 50 枚、カラー 20 枚
リーガル用紙	9.08 ～ 10.89kg（75 ～ 90g/m2）	100	モノクロ 50 枚、カラー 20 枚
カード	49.90kg、はがき大まで（200 g/m2）	40	10
封筒	9.08 ～ 10.89kg（75 ～ 90g/m2）	15	10
バナー	7.26 ～ 10.89kg（60 ～ 90g/m2）	20	20 枚以下
OHP フィルム	N/A	25	25 枚以下
ラベル	N/A	20	20
10x15cm（4x6 インチ）フォト用紙	65.77kg（236g/m2）	30	30

* 最大収容枚数
† 排紙トレイの収容枚数は、用紙の種類および使用しているインクの量によって異なります。HP では、排紙トレイに用紙が溜まらないようにすることをお勧めします。

用紙サイズ

種類	サイズ
用紙	レター：215.9 x 279mm（8.5 x 11 インチ） リーガル：215.9 x 355.6mm（8.5 x 14 インチ） エグゼクティブ：184.2 x 266.7mm（7.25 x 10.5 インチ） A4：210 x 297 mm A5：148 x 210 mm B5：182 x 257mm
バナー	レター：216 x 279mm（8.5 x 11 インチ） A4：210 x 297mm（8.27 x 11.69 インチ）
封筒	US No.10：104.8 x 241.3mm（4.12 x 9.5 インチ） A2：111 x 146mm（4.37 x 5.75 インチ） DL：110 x 220mm（4.33 x 8.66 インチ） C6：114 x 162mm（4.49 x 6.38 インチ）
OHP フィルム	レター：216 x 279mm（8.5 x 11 インチ） A4：210 x 297 mm
カード	76.2 x 127mm（3 x 5 インチ） 101.6 x 152mm（4 x 6 インチ） 127 x 203.2mm（5 x 8 インチ） A6：105 x 148.5 mm はがき：100 x 148 mm
ラベル	レター：216 x 279mm（8.5 x 11 インチ） A4：210 x 297 mm
カスタム	76.2 x 127mm、最大 216 x 356mm（3 x 5 インチ、最大 8.5 x 14 インチ）
自動ドキュメント フィーダ (ADF)	
普通紙	16 ～ 24 ポンド縦目用紙 - 最大 35 枚

種類	サイズ
特殊用紙	HP プレミアム インクジェット インクジェット用上質普通紙（両面）
OHP, フォトメディア , 写真	サポートしていません

印刷仕様

- モノクロ 1200 x 1200dpi（リゾリューション エンハンスメント テクノロジ : REt 使用）
- カラー 1200 x 1200 dpi （HP PhotoREt III 使用）
- 方式 : オンデマンド型サーマル インクジェット
- 言語 : HP PCL レベル 3、PCL3 GUI または PCL 10
- 印刷速度は、文書の複雑さによって異なります。
- 動作周期 : 1 か月あたり 500 枚の印刷（平均）
- 動作周期 : 1 か月あたり 3000 枚の印刷（最大）

モード		解像度（dpi）	速度（ppm）
高画質 / インクジェット /1200	モノクロ	1200 x 1200	2
	カラー	1200 x 1200 （最大 4800dpi に最適化*）	.5
きれい	モノクロ	600 x 600	7
	カラー	600 x 600	4
はやい (標準)	モノクロ	600 x 600	8
	カラー	600 x 600	6
はやい（最速）	モノクロ	300 x 300	最大 19.0
	カラー	300 x 300	最大 15.0

* 最大 4800 x 1200dpi に最適化された、プレミアム フォト用紙へのカラー印刷、入力は 1200 x 1200dpi です。

印刷時の余白の仕様

	上 （先端）	下 （後端）*	左	右
単票用紙				
US レター	1.8 mm (0.7 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	6.4 mm. (0.25 インチ)	6.4 mm. (0.25 インチ)
US リーガル	1.8 mm (0.7 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	6.4 mm. (0.25 インチ)	6.4 mm. (0.25 インチ)
US エグゼクティブ	1.8 mm (0.7 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	6.4 mm. (0.25 インチ)	6.4 mm. (0.25 インチ)
A4（ISO）	1.8 mm (0.7 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	3. 4 mm. (0. 13 インチ)	3. 4 mm. (0. 13 インチ)
A5（ISO）	1.8 mm (0.7 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	3. 4 mm. (0. 13 インチ)	3. 4 mm. (0. 13 インチ)
B5（JIS）	1.8 mm (0.7 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	3. 4 mm. (0. 13 インチ)	3. 4 mm. (0. 13 インチ)

	上 （先端）	下 （後端）*	左	右
封筒				
US No.10：	3.30 mm. (0.46 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	3.30 mm. (0.46 インチ)	3.30 mm. (0.46 インチ)
A2（5.5 角型）	3.30 mm. (0.46 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	3.30 mm. (0.46 インチ)	3.30 mm. (0.46 インチ)
Intnl.DL	3. 2 mm. (0. 13 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)
Intnl.C6	3. 2 mm. (0. 13 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)
カード				
US 3 x 5 インチ	1.8 mm (0.7 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)
US 4 x 6 インチ	1.8 mm (0.7 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)
US 5 x 8 インチ	1.8 mm (0.7 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)
A6（ISO および JIS）	1.8 mm (0.7 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)
はがき（100 x 148 mm）	1.8 mm (0.7 インチ)	11.7 mm. (0.46 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)	3. 2 mm. (0. 13 インチ)
ふちなし、フォト（10x15cm、4 x 6 インチ）	0	11.7 mm. (0.46 インチ)	0	0
ふちなし、A6 カード（105 x 148.5 mm）	0	11.7 mm. (0.46 インチ)	0	0
ふちなし、はがき（100 x 148 mm）	0	11.7 mm. (0.46 インチ)	0	0

* この余白は、LaserJet には該当しませんが、合計の印刷領域は LaserJet にも該当します。印刷領域は、中心から 5.4mm オフセットされています。このため、上と下の余白は同じではありません。

コピーの仕様

- デジタル画像処理
- 原稿からのコピーは 99 枚まで（モデルによって異なります）
- 25 ～ 400% のデジタル ズーム（モデルによって異なります）
- ページに合わせて印刷、ポスター印刷、割り付け印刷
- 最大 19 枚 / 分のモノクロ コピー、最大 14 枚 / 分のカラー コピー（モデルによって異なります）
- コピー速度は、文書の複雑さによって異なります。

モード		速度（ppm）	印刷の解像度（dpi）	スキャンの解像度（dpi）*
高画質	モノクロ	0.8	1200 x 1200†	1200 x 2400
	カラー	0.8	1200 x 1200†	1200 x 2400
きれい	モノクロ	7	600 x 1200	600 x 1200
	カラー	4	600 x 600	600 x 1200

モード		速度（ppm）	印刷の解像度（dpi）	スキャンの解像度（dpi）*
はやい（最速）	モノクロ	最大 19	300 x 1200	600 x 1200
	カラー	最大 14	600 x 300	600 x 1200

* 400% の倍率時の最大値
† フォト用紙またはプレミアム インクジェット専用紙

ファクスの仕様

- Walk-up 方式のカラー ファクス
- 最大 100 件の短縮ダイヤル（モデルによって異なります）
- 最大 100 ページのメモリ（モデルによって異なります）（ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合。より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります）
- 複数ページの自動ファクス
- 自動リダイヤル（最大 5 回まで）
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート
- CCITT/ITU Group 3 ファクス（エラー訂正モード対応）
- 伝送速度 36.6 Kbps
- 36.6 Kbps の場合の伝送速度は 6 秒 / 枚（ITU-T Test Image #1 を標準解像度で送受信する場合。より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります）
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファクス / 留守番電話の自動切り替え

	300 dpi (dpi)	フォト（dpi）	コウヒンシツ (dpi)	標準（dpi）
モノクロ	300 x 300	200 x 200（8 ビット グレースケール）	200 x 200	200 x 100
カラー	200 x 200	200 x 200	200 x 200	200 x 200

スキャンの仕様

- フォト プロジェクトの作成
- イメージ エディタ付属
- OCR ソフトウェアによって編集可能なテキストに自動的に変換（Windows のみ）
- スキャン速度は、文書の複雑さによって異なります。

構成要素	説明
解像度	光学解像度 1200x 2400dpi、最大補間解像度 19200dpi
カラー	48 ビット カラー 8 ビット グレースケール（256 階調の灰色）
インタフェース	TWAIN 互換（Windows のみ）
スキャン領域	US レター、A4

物理的仕様

- 高さ：30 cm. (11.8 インチ)
- 幅：49.6 cm. (19.5 インチ)
- 奥行き：39.4 cm. (15.5 インチ)
- 重量：10.9 kg (24 lb.)

電気的仕様

- 消費電力：最大 60W
- 入力電圧：100 ～ 240VAC、アース済み
- 入力周波数：50/60 Hz
- 電流：最大 1.0A

環境仕様

- 推奨される動作時の温度範囲：15° ～ 32° C(59° ～ 90° F)
- 許容される動作時の温度範囲：5° ～ 40° C(41° ～ 104° F)
- 湿度：15% ～ 85% RH（結露しないこと）
- 非動作時（保管時）の温度範囲：-40° ～ 60° C(-40° ～ 140° F)

その他の仕様

- メモリ：8.0-MB ROM, 16.0-MB RAM

インターネットにアクセス可能な場合は、騒音に関する情報を次の HP Web サイトから入手することができます。

www.hp.com/jp

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

環境の保護

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品は、私たちの環境への影響を最も少なくする特性を備えるように設計されています。

詳細については、以下のアドレスの HP の「環境保護」の Web サイトにアクセスしてください。

オゾン層の保護

この製品では、検出可能なオゾン ガス（O_3）は生成されません。

エネルギーの消費

エネルギーの消費は、省電力モードになっている間は極めて低くなります。このモードでは、天然の資源と費用を節約できますが、この製品の高いパフォーマンスに影響することはありません。この製品は、ENERGY STAR® に適合しています。これは、エネルギー効率の高いオフィス機器の開発を推進するために設立された自主的なプログラムです。

ENERGY STAR は、米国 EPA の登録サービス マークです。ENERGY STAR のパートナーとして、当社ではエネルギーの効率化のため、この製品を ENERGY STAR のガイドラインに適合させせることを決定しました。

ENERGY STAR のガイドラインの詳細については、次の Web サイトにアクセスしてください。

http://www.energystar.gov

用紙の使用

この製品は、DIN 19309 に準拠したリサイクル用紙の使用に適しています。

プラスチック

25 グラムを超えるプラスチック部品は、製品が役目を終えたときにリサイクルするため、プラスチックを識別しやすくする国際規格に従って記号が付けられています。

化学物質等安全データシート（MSDS）

化学物質等安全データシート（MSDS）は、次の HP Web サイトから入手できます。

http://www.hp.com/go/msds

米国またはカナダに居住していて、インターネットにアクセスできない場合は、U.S. HP FIRST のオンデマンドのファクス サービス（800-231-9300）に電話してください。インデックス番号の 7 を押すと、化学物質等安全データシートを入手できます。

インターネットにアクセスできない、その他の国々のユーザーは（404）329-2009 に連絡して、詳細をお問い合わせください。

リサイクル プログラム

HP では、より多くの製品を返却してもらえるよう、リサイクル プログラムを多くの国々で展開しているほか、世界で最大の電子機器リサイクル センターのいくつかと協力しています。また、HP では最も広く使用されている製品のいくつかを再生し、再度販売することによって、資源を保護しています。

規制に関する情報

本セクションには、さまざまな規制機関による製品要件や告示が記載されています。

米国の電話ネットワークのユーザーに対する通知 FCC 用件

この機器は FCC 規則 パート 68 に準拠しています。この機器には、この機器に対する FCC 登録番号および Ringer Equivalent Number（REN）が記載されたラベルが貼付されています。要請があった場合は、この情報を電話会社に伝えてください。

この機器には、FCC 準拠の電話ケーブルおよびモジュラ プラグが付属しています。この機器は、Part 68 に適合するモジュラ ジャックを使用して電話ネットワークおよび構内配線に接続するよう設計されています。この機器は、標準ネットワーク インタフェース ジャックを介して電話ネットワークに接続されます。USOC RJ-11C.

電話線に接続可能な機器の数を決定し、そして自分の電話番号に対する呼び出しがあったときに接続されているすべての機器の呼び出し音が鳴るようにするのに役立つのが REN です。電話回線に接続されている機器が多すぎる場合、着信があったときに呼び出し音が鳴らなくなってしまう場合があります。すべてではありませんが、ほとんどの地域において、すべての機器の REN の合計は 5 を越えてはなりません。回線に接続可能な機器の数を確認するには、地元の電話会社に問い合わせて、その地域の最大 REN 数を確認してください。

この機器が原因で電話ネットワークに障害が発生した場合、電話会社がお客様に対するサービスを一時的に停止することがあります。その際、可能であれば電話会社は事前の通知を行います。事前に通知を行うことが現実的でない場合は、できるだけ早いうちに通知がなされます。また、FCC に異議申し立てをする権利についても通知されます。電話会社は、お客様の機器の正常運用に関係する可能性のある施設や機器、運用方法、手順に変更を加える場合があります。その場合、サービスに支障が出ないようユーザーが措置を講じられるよう事前に通知がなされます。

この機器をお使いの際に何らかの問題が発生した場合は、メーカーに連絡するかこのマニュアルの他の箇所を参照するかして、保証や修理に関する情報を入手してください。電話会社は、問題が解決するか、あるいは機器の誤動作ではないことが確認されるまで、この機器をネットワークから外すよう求める場合があります。

この機器は、電話会社が提供する公衆電話サービスに使用することはできません。共同加入線への接続には州の税率表に基づいた税がかかります。詳しくは州の公共企業委員会や公益事業委員会、法人委員会にお問い合わせください。

この機器には自動ダイヤル機能が備えられています。緊急電話番号の登録やテストを行うときは次の点に気を付けてください。

- 電話をすぐに切らずに、電話をかけた理由を説明する。
- 早朝や深夜など、オフ ピーク時に電話をかける

ご注意： 補聴器に対する電話の適合性に関する FCC の規則はこの機器には適用されません。

1991 年に施行された電話利用者保護法では、送信されたページの一番上か一番下のマージン、あるいは送信する最初のページに、送信日と送信時間、メッセージを送信した企業や団体、あるいはその他個人の名前、そして送信した機器、または企業や他の団体、個人の電話番号を明記せずにコンピュータや、ファクス機などの電子機器を使ってメッセージを送ることを禁止しています。(記載する電話番号は 900 番、あるいはその他、通信料金が地域内電話料金または長距離電話料金を越える番号であってはなりません)。この情報をファクス機にプログラムするには、ソフトウェアで説明されている手順を最後まで実行する必要があります。

FCC の告示

米国連邦通信委員会（47 CFR 15.105 において）は、以下の告知が本製品のユーザーの注意を引くようにすることを指定しています。

適合宣言：この機器はテストの結果、FCC 規定のパート 15 に準拠したクラス B のデジタル デバイスの規制に適合していることが判明しています。動作は、以下の 2 つの条件に従うものとします。(1) このデバイスは有害な干渉を発生させてはなりません。(2) このデバイスは、不適切な動作の原因となる可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受けるものとします。クラス B の規制は、居住用地域に設置した場合の有害な干渉を適切に保護することを目的としています。この機器は高周波エネルギーを生成および使用するほか、高周波エネルギーを放射する可能性があります。さらに、指示に従って設置または使用しない場合、無線通信に有害な干渉を及ぼす原因となることがあります。ただし、個々の設置環境で干渉が発生しないということは保証できません。この機器が原因でラジオまたはテレビの受信に有害な干渉が発生しているかどうかは、この機器の電源のオンとオフを切り替えることによって判断することができます。この機器が干渉の原因である場合は、以下の手段を実行して、干渉しないようにすることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変える。
- この機器と受信機の間隔を広くする。
- 受信機が接続されているコンセントとは別系統のコンセントに、この機器を接続する。
- 代理店に問い合わせるか、熟練したラジオまたはテレビの専門家に問い合わせる。

プロダクト レギュレーション マネージャ、Hewlett-Packard Company、San Diego、(858) 655-4100

米国連邦通信委員会が用意した：『*How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems*』というブックレットがあります。このブックレットは、米国政府印刷局 (Washington DC, 20402. Stock No. 004-000-00345-4) から入手することができます。

注意！ FCC 規定のパート 15.21 により、この機器のいかなる変更または修正も Hewlett-Packard Company では承認していません。この機器への変更または修正は有害な干渉の原因となることがあるほか、この機器の動作に対する FCC の認定が無効になります。

文書による告示 /déclaration de conformité (Canada)

Le présent appareil numérique n'émet pas de bruit radioélectrique dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la classe B prescrites dans le Règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le ministère des Communications du Canada.

このデジタル機器は、カナダ通信省の電波障害規制で規制されたデジタル機器から放射される高周波雑音を対象としたクラス B の制限を越えません。

カナダの電話ネットワークのユーザーに対する通知

「Industry Canada」ラベルは、認定済みの機器であることを示します。この証明書は、この機器が特定の電話通信ネットワークの保護基準、および該当する端末装置の技術基準文書で定められた運用上および安全上の要件を満たしていることを示すものです。この機器がユーザーの期待どおりに動作することをカナダ通信省が保証するものではありません。

この機器を設置する前に、当該地域の電話通信会社の施設に対する接続許可が得られることを確認してください。また、この機器の設置は許可されている接続方法で行う必要があります。上記の条件に従った場合でも、状況によってはサービス低下を防ぐことができない場合がありますのでご了承ください。

承認された機器の修理は、メーカーが指定する販売店にご相談ください。ユーザーがこの機器に対して行った修理や改造が原因で、あるいはお使いの機器の不調ゆえに、電話通信会社がユーザーに対してこの機器を取り外すよう求める場合があります。

安全のために、電気配線、電話線、そして金属管水道管路（もしあれば）の接地接続が相互に接続されていることを確認してください。この予防措置は、機器の設置場所が農村地帯である場合にとりわけ重要となります。

注意！ 接地作業はユーザー自身で行わず、適切な電気検査の専門家や電気技術者に依頼するようにしてください。

ご注意： 各端末機が器に割り当てられている Ringer Equivalence Number（REN）により、電話インタフェースに接続可能な端末の最大数を知ることができます。インタフェース上の終端については、すべての機器の Ringer Equivalence Number の合計が 5 を超えてはならないという点を除けば、任意の機器の組み合わせが可能です。

FCC パート 68 のテスト結果に基づくこの機器の REN は 0.3B です。

欧州経済地域（EEA）の全ユーザーに対する通知

この製品は、下記の国においてアナログ電話ネットワークに接続して使用するよう設計されています。

ドイツ	英国	オランダ
フランス	スペイン	イタリア
ベルギー	ルクセンブルク	スウェーデン
オーストリア	デンマーク	アイルランド
ノルウェー	フィンランド	スイス
ギリシャ	ポルトガル	

ネットワークとの互換性はユーザーの選択した設定に依存します。それで、購入した国 / 地域とは別の国 / 地域の電話ネットワークで使用するには、機器をリセットする必要があります。追加の製品サポートが必要な場合は、ベンダーあるいは Hewlett-Packard Company までお問い合わせください。

この機器は、指令 1999/5/EC (annex II) に基づいて、1 つの端末で全ヨーロッパの公衆電話交換回線網（PSTN）に接続が可能であることが保証されています。しかし、各国で提供されている個々の PSTN には違いがあるため、この認可があるからといって、どの接続地点から PSTN ネットワークへ接続しても無条件に正常動作することを自動的に保証するものではありません。

問題が発生した場合は、まず機器のメーカーにお問い合わせください。

アイルランドの電話ネットワークのユーザーに対する通知

この機器では DTMF トーン ダイヤルおよびループ切断されている状態でダイヤルが使用できるよう設計されています。ごくまれなことですが、ループ切断ダイヤルで問題が発生する場合は、DTMF トーン ダイヤル設定のみを使用することをお奨めします。

ドイツの電話ネットワークのユーザーに対する通知

HP 6150 シリーズ製品は、アナログ公衆電話交換回線網（PSTN）にのみ接続するよう設計されています。hp officejet 6150 series に付属の TAE N 型電話コネクタ プラグを、壁のソケット（TAE 6）の N 型のほうに挿してください。hp officejet 6150 series 製品は単独で使用することもできますし、承認を受けた他の端末機器と（シリアル接続で）組み合わせて使用することもできます。

geräuschemission

LpA < 70 dB
am Arbeitsplatz
im Normalbetrieb
nach DIN 45635 T. 19

VCCI-2（日本）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。
取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

韓国のユーザーへの告知

사용자 안내문 (B급 기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파장해검정을 받은 기기로서, 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

declaration of conformity

According to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name and Address:

Hewlett-Packard Company, 16399 West Bernardo Drive, San Diego, CA 92127-1899, USA

declares that the product

Product Name:	hp officejet 6150 series (Q1636A)
Model Number(s):	officejet 6105 (Q1637A), officejet 6110 (Q1638A), officejet 6110xi (Q1639A), officejet 6110v (Q1640A)
Product Options:	All

conforms to the following Product Specifications:

Safety:	EN60950:1992 +A1, A2, A3, A4 & A11
	IEC60950:1991 +A1, A2, A3 & A4
	UL1950/CSA 22.2 No. 950, 3rd Edn: 1995
	NOM-019-SCFI-1993
	IEC 60825-1:1993 +A1/EN 60825-1:1994 +A11 Class 1 (Laser/LED)
EMC:	CISPR22:1993 +A1 & A2 / EN55022:1994, +A1 & A2 -Class B
	CISPR24:1997/EN55024:1998
	IEC 61000-3-2:1995 / EN61000-3-2:1995
	IEC 61000-3-3:1994 / EN61000-3-3:1995
	AS/NZS 3548: 1992
	CNS13438
	FCC Part 15-Class B / ICES-003, Issue 2 / VCCI-2
	GB 9254-1998
Telecom:	TBR21: 1998, EG 201 121:1998

Supplementary Information

The Product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC, the EMC Directive 89/336/EEC and the R&TTE Directive 1999/5/EC (ANNEX II) carries the CE marking accordingly.

European Contact for regulatory topics only: Your local Hewlett-Packard Sales and Service Office or Hewlett-Packard GmbH.

Department HQ-TRE, Herrenberger Strasse 130, D-71034 Böblingen, Germany (FAX + 49-7031-14-3143)

16 hp officejet 6150 のサポートの利用

ここでは、Hewlett-Packard によって提供されているサポート サービスの情報について説明します。

製品に付属する 印刷マニュアルまたはオンライン マニュアルで必要な答えが見つからない場合は、以下のページに記載されている HP サポート サービスに問い合わせることができます。一部のサポート サービスは米国およびカナダでしか利用できませんが、その他のサポート サービスは世界中の多くの国々で利用できます。お住まいの国または地域のサポート サービスの電話番号が記載されていない場合は、最寄の HP 正規代理店までお問い合わせください。

インターネットからのサポートの利用およびその他の情報の入手

インターネットにアクセス可能な場合は、次の HP Web サイトからヘルプ情報を入手することができます。

www.hp.com/jp

この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、および注文に関する情報が用意されています。

hp カスタマ サポート

HP Officejet には、他社のソフトウェア プログラムが付属している場合があります。このようなプログラムで問題が発生した場合は、その企業の専門家に問い合わせると最適な技術サポートが受けられます。

HP カスタマ サポートに問い合わせる必要がある場合は、連絡する前に以下の作業を行ってください。

1. 以下の事項を確認します。
   a. ユニットが接続され、電源がオンになっていること。
   b. 指定されたプリント カートリッジが正しく装着されていること。
   c. 推奨される用紙が給紙トレイに正しくセットされていること。
2. 以下の手順に従ってユニットをリセットします。
   a. ユニットのフロント パネルにある ＜電源＞ ボタンを使用して、ユニットの電源をオフにします。
   b. 電源コードをユニットの背面から取り外します。
   c. 電源コードをユニットの背面に差し込みます。
   d. ＜電源＞ ボタンを使用して、ユニットの電源をオンにします。
3. 詳細については、次の HP Web サイトを参照してください。
   www.hp.com/jp
4. 問題が解決されず、HP カスタマ サポート担当にさらに問い合わせる必要がある場合は、以下の作業を行います。
   – シリアル番号とサービス ID をメモします。シリアル番号を表示するには、フロント パネルで ＜ Enter ＞ と ＜ START コピー＞、＜モノクロ＞ ボタンを同時に押し、しばらく待つとフロント パネル ディスプレイに情報メニューが表示されます。サービス ID を表示するには、＜ Enter ＞と＜ START コピー＞、＜カラー＞ ボタンを同時に押します。
   – セルフテスト レポートを印刷します。このレポートの印刷方法の詳細については、**143 ページの「セルフテスト レポートの印刷」**を参照してください。
   – カラー コピーを作成します。
   – 発生した問題を詳しく説明するための準備を行います。

5 HP カスタマ サポートに連絡します。連絡するときは、ユニットのそばから離れないでください。

日本の HP カスタマ ケア センタに連絡してください

カスタマケアセンタ 連絡先

TEL ：0570-000511 （携帯電話・PHS からは：03-3335-9800 ）
FAX ：03-3335-8338

・電話受付時間： 平日 9:00 ～17:00
土曜日/日曜日 10:00 ～17:00
（祝祭日、 1月1日 ～1月3日を除く）

・FAX によるお問い合わせは、ご質問内容とともに、ご連絡先、製品名、接続コンピュータ名をご記入ください。

他国のサポートへの問い合わせ

以下に記載されている電話番号は、このガイドの印刷日の時点で現行の番号です。各国向け HP サポート サービスの最新の電話番号一覧については、下記の Web サイトをご覧ください。

www.hp.com/support

韓国の場合は、次のアドレスにアクセスすることもできます。

www.hp.co.kr/

以下の国または地域では、HP サポート センターに問い合わせることができます。お客様の国 / 地域が一覧にない場合は、地元の代理店か、最寄りの HP 営業サポート事務所にお問い合わせください。

ヨーロッパでの電話サポートの場合は、次の Web サイトを参照して、お住まいの国 / 地域での電話サポートの詳細および条件を確認してください。

http://www.hp.com/cposupport/loc/regional.html

あるいは、代理店に問い合わせたり、このブックレットに記載されている電話番号の HP に連絡することもできます。

当社では、電話サポート サービスを向上させるために絶えず努力しています。このため、定期的に当社の Web サイトを確認してサービスの機能や提供方法に関する新しい情報を入手することをお勧めします。

国 / 地域	HP 技術サポート	国 / 地域	HP 技術サポート
アルジェリア*	+213 (0) 61564 543	マレーシア	1-800-805405
アルゼンチン	0810-555-5520	メキシコ	01-800-472-6684
オーストラリア	+61 3 8877 8000 1902 910 910	メキシコ（メキシコ市）	5258-9922
オーストリア	+43 (0) 810 00 6080	モロッコ*	+212 22404 747
バーレーン（ドバイ）	800 728	オランダ	+31 (0) 20 606 8751
ベルギー（オランダ語）	+32 (0) 2 626 8806	ニュージーランド	0800 441 147
ベルギー（フランス語）	+32 (0) 2 626 8807	ノルウェー	+47 22 11 6299
ブラジル (Grande Sao Paulo)	(11) 3747 7799	オマーン	+971 4 883 8454
ブラジル (Demais Localidades))	0800 157751	パレスチナ	+971 4 883 8454
カナダ（保証期間内）	(905) 206 4663	パナマ	001-800-7112884

サポート

国 / 地域	HP 技術サポート	国 / 地域	HP 技術サポート
カナダ（保証期間後、1 回ごとに料金が発生）	1-877-621-4722	ペルー	0-800-10111
カリブおよび中央アメリカ	1-800-711-2884	フィリピン	632-867-3551
チリ	800-360-999	ポーランド	+48 22 865 98 00
中国	86 10 6868 7980	ポルトガル	+351 21 3176333
コロンビア	9-800-114-726	プエルトリコ	1-877-2320-589
コスタリカ	0-800-011-0524	カタール	+971 4 883 8454
チェコ共和国	+420 (0) 261307310	ルーマニア	+40 1 315 44 42 または最寄の HP カスタマ サポートの電話番号 01 3154442
デンマーク	+45 39 29 4099	ロシア連邦、モスクワ	+7 095 797 3520
エクアドル	1800-711-2884	ロシア連邦、サンクト ペテルブルグ	+7 812 346 7997
ヨーロッパ（英語）	+44 (0) 207 512 5202	サウジアラビア	+800 897 14440
エジプト	02 532 5222	シンガポール	65 6272 5300
フィンランド	+358 (0) 203 47 288	スロバキア	+421 (0) 2 682 08080
フランス（0.34 ユーロ / 分）	0892 69 60 22	南アフリカ (RSA 以内)	086 000 1030
ドイツ（0.12 ユーロ / 分）	+49 (0) 180 52 58 143	南アフリカ (RSA 以外)	+27-11 258 9301
ギリシャ	+30 1060 73 603	スペイン	+34 902 321 123
香港 (SAR)	+85 (2) 3002 8555	スウェーデン	+46 (0)8 619 2170
グアテマラ	1800-995-5105	スイス†	+41 (0) 84 880 1111
ハンガリー	+36 (0) 1 382 1111	台湾	+886-2-2717-0055 0800 010 055
インド	1-600-112267 91 11 6826035	タイ	+66 (2) 661 4000
インドネシア	62-21-350-3408	チュニジア *	+216 1891 222
アイルランド	+353 (0) 1 662 5525	トルコ	+90 216 579 7171
イスラエル	+972 (0) 9 8304848	ウクライナ	+7 (380-44) 490-3520
イタリア	+39 (0) 226410350	アラブ首長国連邦	+971 4 883 8454
日本	0570 000 511 +81 3 3335 9800	イギリス	+44 (0) 207 512 52 02
ヨルダン	+971 4 883 8454	ベネズエラ	0800-47468368 もしくは 800-477-7777
韓国 (ソウル)	+82 (2) 3270 0700	ベネズエラ（カラカス）	(502) 207-8488
韓国 (ソウル市外)	080 999 0700	ベトナム	84 (0) 8 823 4530
クウェート	+971 4 883 8454	イエメン	+971 4 883 8p454
レバノン	+971 4 883 8454		

* このコール センターでは、次のフランス語を使用するユーザーをサポートしています。モロッコ、チュニジア、アルジェリア

サポート

† このコール センターでは、スイス国内のドイツ語、フランス語、およびイタリア語を使用するユーザーをサポートしています。

ユニットの発送準備

HP カスタマ サポートに問い合わせた後、または購入時の状態に戻した後、ユニットを発送して修理することを要求された場合は、HP 製品の損傷を防ぐため以下の手順に従って電源を切り、再梱包を行ってください。

1 ユニットの電源をオンにします。
ユニットの電源がオンにならず、プリント キャリッジがホーム ポジションにある場合は、ステップ 1 から 6 までを省略します。この場合、プリント カートリッジを取り外すことはできません。ステップ 7 に進みます。

2 インク カートリッジのアクセス ドアを開きます。

3 プリント カートリッジをホルダーから取り外し、ラッチを下げます。プリント カートリッジの取り外し方法の詳細については、**144 ページの「プリント カートリッジの交換」**を参照してください。

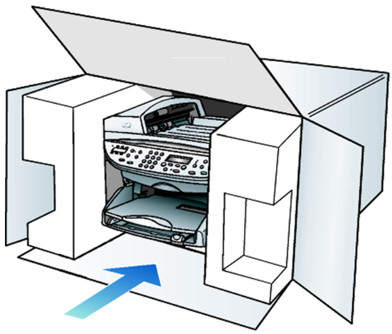
注意！ 両方のプリント カートリッジを取り外し、両方のラッチを下げてください。こうしないと、ユニットが損傷する可能性があります。

4 プリント カートリッジの内部が乾燥しないようにカートリッジを気密性の高い袋に入れて保管します（HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、カートリッジはユニットと一緒に発送しないでください）。

5 ユニットの電源をオフにします。

6 インク カートリッジのアクセス ドアを閉じます。

7 可能な場合は、元の梱包用材料を使用するか、交換ユニットに付属した梱包用材料を使用してユニットを梱包して発送します。



元の梱包用材料がない場合は、ほかの適切な梱包用材料を使用してください。不適切な梱包や運送によって発生する損傷は、保証の対象にはなりません。

8 返送用のラベルを箱の外側に貼ります。

9 箱には、以下のものを追加してください。
- サービス担当に宛てた、症状の簡単な説明（印刷品質の問題のサンプルが役に立ちます）。
- 保証が適用される期間内であることを証明する売り上げ票、またはその他の購入証明書のコピー。
- 氏名、住所、および日中に連絡可能な電話番号。

プリンタの交換が必要な場合 ...（HP Quick Exchange Service）

製品に問題がある場合は以下に記載されている電話番号に連絡してください。ユニットが故障している、または欠陥があると判断された場合、HP Quick Exchange Service がこの製品を正常品と交換し、故障した製品を回収します。保証期間中は、修理代と配送料は無料です。また、お住まいの地域にも依りますが、プリンタを次の日までに交換することも可能です。

HP Quick Exchange Service

電話番号 : 0570-000511 （自動応答）

:03-3335-9800 （自動応答システムが使用できない場合）

サポート時間 : 平日の午前 9:00 から午後 5:00 まで

土日の午前 10:00 から午後 5:00 まで。

祝祭日および 1 月 1 日から 3 日は除きます。

サービスの条件

- サポートの提供は、カスタマ ケア センターを通してのみ行われます。
- カスタマ ケア センターがプリンタの不具合と判断した場合に、サービスを受けることができます。

  ご注意： ユーザの扱いが不適切であったために故障した場合は、保証期間中であっても修理は有料となります。詳細については保証書を参照してください。

その他の制限

- 運送の時間はお住まいの地域によって異なります。詳しくは、カスタマ ケア センターに連絡してご確認ください。
- 出荷配送は、当社指定の配送業者 (日本通運株式会社) が行います。
- 配送は交通事情などの諸事情によって、遅れる場合があります。
- このサービスは、将来予告なしに変更することがあります。

索引

メモ

メモ

メモ

メモ

メモ

メモ

サプライの注文

ここでは HP OfficeJet 6150 用のサプライを注文する方法について説明します。

メディアの注文

プレミアムインクジェット用紙や プレミアム OHP フィルム、インクジェット アイロンプリント紙、グリーティングカードなどのメディアを注文するには、次のような方法があります。

- 米国およびカナダから注文する場合は www.hpshopping.com を利用してください。
- それ以外の国から注文する場合は、まず www.hpshopping.com に移動してください。

  そして ［other countries］（ほかの国）を選択し、それから ［Yes］（はい）をクリックして hpshopping.com からその国のサイトに移動します。

  この Web サイトから、お客様の言語あるいは地域向けの hpshopping.com にアクセスできます。

  日本では、www.hp.com/jp を利用してください。

プリント カートリッジの注文

HP OfficeJet 6150 で使用可能なプリント カートリッジのリストを次の表に示します。HP フォト プリント カートリッジ (#58) は、HP モノクロ プリント カートリッジの代わりに使用するもので、それによって、通常の 4 色印刷から 6 色印刷にできます。

プリント カートリッジ	hp 再注文番号
黒プリントカートリッジ	#56、19 ml 黒プリント カートリッジ #27、10 ml 黒プリント カートリッジ
カラープリントカートリッジ	#57、17 ml カラー プリント カートリッジ #28、8 ml カラー プリント カートリッジ
カラープリントカートリッジ	#58、17 ml カラー プリント カートリッジ

インターネットにアクセス可能な場合は、次の HP Web サイトから情報を入手することができます。

www.hp.com/jp

hp の ウェブサイトへどうぞ

ここには HP Officejet を最大限に利用するために必要なものがすべてそろっています。

- テクニカル サポート
- サプライおよび注文情報
- プロジェクトのヒント
- 製品を最大限に利用する方法

www.hp.com/jp

アメリカ、メキシコ、ドイツ、シンガポールまたは中国で印刷

Q1643-90157